

テ左マテ多カラサルカ如キ是レナリ

傳染病院ノ新築ニ取リ掛リタルカ、其建物中ノ或ルモノハ年ヲ通シテ利用セラル、コト、ナリ居レリ、此病院ニハ事務所ニ充ツヘキ建物アリ、四階立ノ建物五棟アリテ寢臺都合七百臺ヲ備ヘ付ケルニ足ルヘキナリ

此新築病院ニシテ全ク整頓シテ患者ヲ收容スルコト、ナリタランニハ、猩紅熱及實布埤里亞患者ニシテ(い)項及(ろ)項ノ檢疫法ニ從ツテ離隔スルコト能ハサルモノヲ收容スヘキモノトス、時ニ或ハ此病院ニ就テ反對論ヲ唱フルモノアリ、然レトモ此病院ニシテ完全ナル規則ヲ設ケ、幼童ノ入院スル場合ニハ其母親ノ附添ヲ許シ其入院ノ當日一日カ若クハ幾時間カ病院ニ留マリテ其病兒カ適當ナル看護ヲ受クルコトヲ實見セシムルコト、シタランニハ、其反對論モ自カラ消滅スヘキナリ

(い)項及(ろ)項ノ檢疫法カ善ク發達シ且ツ此檢疫法ニ關セサル患者ヲ收容スルコト、ナシタランニハ、衛生局ハ此病院ニ於ケル傳染病ノ取扱ヲ或ル市區ノ其レト比較スルモ更ニ恐ル、所ナカルヘキナリ

傳染病ノ記録

今左ニ掲グル所ノ表ハ市俄古市ニ於テ五ケ年ニ發生シタル五種ノ傳染病如何ヲ示シタルモノ是レナリ
 一、千九百十年、一、千九百十一年、一、千九百十二年、一、千九百十三年及一、千九百十四年ノ數年ヲ月別ニシテ、其間ニ發生シタル實布埤里亞、猩紅熱、痘瘡、窒扶斯熱及結核病ノ比較及數

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	患者全數	死亡全數	
實布埤里亞	四六八	四四三	四七〇	五三七	四六八	四八四	四〇六	三九四	四七〇	七六九	一、二五五	一、九〇七	七九六二	八三三	
猩紅熱	七三八	六一一	六三四	五六八	六一一	五三六	四八四	三七三	五六〇	八七三	六四一	七五三	七六六九	八七八	
痘瘡	六二七	五〇六	五三六	五三五	四七三	五三八	五三六	三四六	三八九	八三三	一、〇七七	一、〇三五	七三八八	九五〇	
窒扶斯熱	一、七五五	八九〇	八三三	六七六	七〇九	七三三	四九三	三三〇	四三九	七三〇	八一三	八一三	八五九三	九六九	
結核病	七四四	五四三	六七六	五五五	五三八	四四九	四四三	三七三	四七八	六七九	八〇六	八三九	七〇七一	七六四	
實布埤里亞	六八八	六七二	六九三	六〇〇	六八〇	五九五	二九八	二七一	二六九	三六四	五八三	七二六	六四三七	四〇四	
猩紅熱	八六四	七三六	八六七	九六三	一、〇五〇	六二三	三三八	二八〇	三〇九	三六〇	五〇六	五二六	七四三三	四七六	
痘瘡	六二二	六七二	九三二	一、〇三八	一、〇四六	八四八	四八一	四一八	二九三	五三七	七九九	一、〇四〇	八七〇三	六〇三	
窒扶斯熱	一、七九七	一、五九六	一、八二八	一、四三二	一、二四九	八七三	三七〇	二〇六	一七四	二八六	四三六	四六四	一、〇六〇	九〇六	
結核病	四七七	四一八	五一二	四五八	四一七	三三二	一六三	八三	一〇七	一三六	二四三	二七六	三、五一八	二二八	
實布埤里亞	一四	一九	六	三六	二六	三	〇	〇	一	一	〇	〇	一〇五	三	
猩紅熱	三	一	一	三	一〇	二	〇	二	一	一	〇	六	三一	一	
痘瘡	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年

年	室扶斯熱	結核病
一九一二年	一	三
一九一三年	五	一〇
一九一四年	一五	二一
一九一〇年	九三	七
一九一一年	八九	五六
一九一二年	八六	六二
一九一三年	六六	四五
一九一四年	九八	七三
一九一〇年	三九三	四七三
一九一一年	七三七	五九七
一九一二年	六八五	七四八
一九一三年	一、〇三八	一、〇四三
一九一四年	七八八	六七九
一九一〇年	四七二	四五〇
一九一一年	四七三	四七一
一九一二年	六六二	七三三
一九一三年	七三七	六八二
一九一四年	八二五	八二五
一九一〇年	五三三	六〇七
一九一一年	五二二	四九三
一九一二年	六六三	六七〇
一九一三年	八二五	五五九
一九一四年	八二五	六八三
一九一〇年	四九	四九
一九一一年	七六	七六
一九一二年	五二	九三
一九一三年	八六	一八二
一九一四年	六一	一七六
一九一〇年	四九	四九
一九一一年	五七	五七
一九一二年	一〇五	一〇五
一九一三年	一〇五	一〇五
一九一四年	一〇五	一〇五
一九一〇年	四九	四九
一九一一年	五七	五七
一九一二年	一〇五	一〇五
一九一三年	一〇五	一〇五
一九一四年	一〇五	一〇五
一九一〇年	三六三	三六三
一九一一年	三六三	三六三
一九一二年	三六三	三六三
一九一三年	三六三	三六三
一九一四年	三六三	三六三
一九一〇年	三六三	三六三
一九一一年	三六三	三六三
一九一二年	三六三	三六三
一九一三年	三六三	三六三
一九一四年	三六三	三六三
一九一〇年	一六〇	一六〇
一九一一年	一六〇	一六〇
一九一二年	一六〇	一六〇
一九一三年	一六〇	一六〇
一九一四年	一六〇	一六〇
一九一〇年	二、〇五〇	二、〇五〇
一九一一年	二、〇五〇	二、〇五〇
一九一二年	二、〇五〇	二、〇五〇
一九一三年	二、〇五〇	二、〇五〇
一九一四年	二、〇五〇	二、〇五〇
一九一〇年	二〇〇	二〇〇
一九一一年	二〇〇	二〇〇
一九一二年	二〇〇	二〇〇
一九一三年	二〇〇	二〇〇
一九一四年	二〇〇	二〇〇

右ノ統計ニ據リテ之ヲ考フレハ左記ノ如キ事實ハ自カラ明カナルヘキナリ、曰ク實布埜里及猩紅熱患者ノ

數ハ季候如何ニ依リテ著シキ差アルコトヲ見ルヘシ、尙ホ之ヲ詳言センニ年ノ九月ニ於テ小學校ノ授業始マルト共ニ此等ノ疾病ニ罹ルモノ増加シ十月ニ至リテ大ニ其數ヲ増シ、十二月若クハ翌年一月ニ至リテ最モ甚タシク増加スルヲ例トス、然レトモ春ノ月ニ入リテ以來此等ノ患者漸時ニ減シ行クヲ見ルヘキナリ、而シテ其減少スル度合ハ實布埜里亞ノ方カ猩紅熱ヨリ一層多キモノナリ、又七八兩月マデハ其減少スル度合甚ハタ僅少ナルモ、其時季ニ至リテ最モ著シク減少スルモノト知ルヘシ

痘瘡、市俄古市ニ痘瘡患者ノ甚タ少ナキハ實ニ幸福ト云フヘキナリ、同市ハ旅人集合ノ中心點ニシテ又タ移住民ノ來ルコト甚タ多キニモ拘ラス、痘瘡患者ノ甚タ少ナキハ之ヲ幸福ト云ハスシテ何トカ言ハン、然レトモ是レ決シテ偶然ニアラス、種痘ノ盛ニ行ハレタルコト其重モナル原因ト云ハサルヘカラス、其他諸ロノ會社工場等モ大ニ與カリテ力アリト云ハサルヘカラス、今實例ヲ擧ケテ之ヲ言ハンカ、此等ノ會社工場等ノ多數ハ人ヲ雇ヒ入ル、ニハ既ニ種痘シテ好結果ヲ得タルヤ否ナヲ調査シ未種痘ノ者ハ雇入レサルコト、セリ、且ツ一千九百四年及一千九百五年ノ痘瘡流行ニ際シテ市民ノ大半ハ種痘ヲ爲シタルヲ以テ天然痘ニ罹ルモノ自カラ少ナクナレリ
今マ左ニ掲クル所ノ表ハ十五年間ニ亘レル痘瘡患者、種痘ノ有無及之カ爲メニ死亡シタル者ノ數ヲ示セルモノ是レナリ

年次	痘瘡患者	死亡者	種痘セサル者	種痘セシ者
八年	二五	二	二四	一
九年	五二	四	四八	四
〇年	二七六	五	二三七	三九
〇年	三三九	四	三一八	二一
〇年	三八九	七	三三九	五〇
〇年	三五八	二八	三一	四七
〇年	五四六	六一	四〇二	一四四
〇年	二二	〇	二一	二
〇年	九四	〇	八二	二
〇年	八二	〇	七四	八
〇年	二五	〇	二九	二
〇年	三一	〇	九六	二
〇年	一〇五	三	六〇	九
〇年	六八	七	二四	八
〇年	一三六	一七	二四	二
計	二、五四九	一三六	二、一八八	三六一

注意 種痘セシ者ノ内ニハ一人ノ死亡者ナク又種痘者三百六十一名ノ内再種痘セタシモノハ一人モアラザリシナリ

腸窒扶斯、前ニ示シタル表ニ據リテ之ヲ考フルニ、市俄古ニ於ル腸窒扶斯患者數ヲ他ノ大市邑ニ於ル同患者數ト比較センカ、市俄古ノ方甚ダ少ナキコトヲ知ルヘキノミ、又表中ノ五ケ年間ニ衛生狀態著シク發達セルヲ證スルニ足ルヘキナリ

尙ホ右ノ表ノ示ス所ニ依レハ左記ノ如キ事實自カラ明ラカナルベシ、曰ク腸窒扶斯患者數七月ニ於テ稍ヤ増加シ、八月ニ至リテ著シク増加シ、九月ニ至リテ最モ甚タシク増加シタルナリ、而シテ十月ニ於テハ稍ヤ減退シ、十一月及十二月ノ間ニハ漸次ニ減少シ、翌年一月ニ至リテ甚タシク減少シ、三月ニ至リテハ恒例トシテ最モ甚タシク減退スルヲ見ルベキナリ

今マ衛生局ノ記事ヲ見ルニ左ノ如キ事實自カラ明ラカナリ、曰ク市俄古ニ發生シタル腸窒扶斯患者ノ二五%乃至三〇%ハ市外ニ限ラレタルモノナリ、而シテ七八ノ兩月間ハ暑中休暇ノ時期ニ相當スルモノニシテ、恒例トシテ毎年秋季ノ月ニ斯ル疾病ノ多クナレルハ、主トシテ此暑中休暇ノ結果ニ外ナラサルヘシ、又七八九ノ三ヶ月間ハ到ル所ニ甚タ多キ蠅モ斯ル疾病傳播ノ小媒介者ト云フヘキナリ、一千九百十三年十月十一月頃此等ノ疾病増加シタルハ二地方ニ發病シタルニ原因セスンハアラス、所謂其二地方トハ牛乳ヲ運輸スヘキ二道路是レナリ、而シテ其一ハ馬車ノ御者カ輕症ノ腸窒扶斯ニ罹リタルカ原因トナリ、他ノ一ハ牛乳運搬者ノ發病ニ基ケルモノナリ、腸窒扶斯ニ罹レルモノ、大半ハ患者ノ糞便中ニ細菌ノ居ルヤ否ナラカメン爲メニ、適當ナル細菌學的試驗ヲ施コサス其儘ニシテ終熄シタリト見做サル、コトアリ、一千九

百十四年中患者ノ五六・四%カ病院ニ入りテ治療ヲ受ケタルニ過キサカ故ニ、適當ナル細菌學的試験ヲ爲シタル上ニアラスンハ其病ノ終熄シタルモノト見做サ、ルコトコソ望マシケレ

結核病、一千九百十四年ニ於テ結核病患者ノ衛生局ヘ報告セラレタルモノ一萬人ニ及ヘリ、而シテ之カ爲メニ死亡シタルモノ、報告セラレタルハ三千九百九人ニ及ヘリ、是レニ由リテ之ヲ見レハ其患者ノ報告セラレタルハ能ク知レ亘リタルモノニ限ラレタルコト明ラカナリ、市俄古ニ於ル結核病患者ノ總數ハ恐ラク二萬人ナルヘシト評定スルモ決シテ過言ニアラサルヘシ

決シテ輕視スヘカラサル此傳染病取締ノ事ハ全ク衛生局ニ一任サレタルモノニアラサルナリ、然レトモ此傳染病ト衛生局トハ其間最モ親密ナル關係ヲ有スヘキモノニシテ決シテ相離ルヘキモノニアラス、抑モ衛生委員ナルモノハ市俄古市結核衛生取締局ノ臨時役員トモ云フベキモノニシテ、結核病取締及結核療養所問題ニ就テハ此取締局ノ顧問相談役ト視ルヘキモノナリ、結核病ト衛生局トノ親密ナルヘキコト得テ知ルヘキノミ

衛生局タランモノハ右ノ結核衛生取締局カ結核患者ノ死亡後其家屋ニ消毒法ヲ施行シ、若クハ結核患者ヲ療養所或ハ病院ヘ送付セントスル場合ニ補助ヲ爲サンコトヲ要ス、此外衛生局ハ結核患者及其發生シタル家屋ノ報告「カード」ヲ備ヘ置クヘク、又此等ノ患者ノ唾液ハ試験室ニ於テ試験スヘク、之カ試験ニ従スル細菌學士ノ俸給ハ結核衛生取締局ヨリ仕拂フヘキモノトス

市立衛生局ノ活動

市俄古市ハ結核豫防取締ニ於テ最近僅カ數年間ニ著シキ長足ノ進歩ヲ爲シ、此事ニ就テハ米國數多ノ市府中第一位ヲ占メタルモノト云フモ決シテ不當ニアラサルナリ、試ミニ見ヨ一千九百十五年ニ於テハ市俄古ニ於ル結核患者ノ爲メニ設備セラレタル寢臺ハ全部ニテ僅カニ二百臺ニ過キサリシナリ、而シテ其内百五十臺ハ救貧院内ニ備ヘ付ケラレタルモノナリ、其他該病豫防法若クハ初期患者ニ對スル設備等秩序立チタルモノ更ニ之レナカリシナリ、然ルニ一千九百十五年ニ至リテハ全ク其面目ヲ改メタリ、即チ同年末ニ至リテハ療養所及病院ニテ二千三百臺ノ病床アリ、秩序整然タル藥局アリ、其他結核退治ニ關スル諸設備行キ届キ居ラサルナシ

一千九百十六年ニ於テ市俄古結核豫防會ナルモノ始メテ具體的ニ組織セラレタリ、此豫防會ノ目的トスル所如何ト云フニ結核豫防ニ關スル方法手段ヲ講究シ其主意ヲ一般ニ普及シ、結核病ノ治療看護等ニ關スル事柄ヲ研究シ、之ニ關スル教育ヲ施コシ、生活狀態ヲ改良シ、結核病ニ罹レル貧民治療等ヲ實行スルコト是レナリ、而シテ此目的ヲ達センガ爲メニ結核療養所ヲ設立シテ市俄古地方ニ於ル結核患者ヲ收容シテ充分ナル手當ヲ爲スコト、セリ、斯クテ翌年ニ至リテ結核治療ニ關スル施藥所カ新設セラレ市俄古結核豫防會ノ保護ノ下ニアリテ結核患者カ充分ナル看護治療ヲ受クルニ至レリ、且ツ此豫防會ノ重要ナル事業ト云フヘキモノハ公衆ニ正當ナル生活法ノ何モノタルヤ、新鮮ナル空氣ノ必要ナルコト恰カモ家庭内ニ於ケル結

核患者ノ看護ト同一ナル事ヲ訓諭スルカ如キコト是レナリ

斯クテ一千九百八年ニ至リテイリノイ州ノ立法部ニ於テハ一ノ法律ヲ議定シタリ、市町村ニ一種ノ權能ヲ與ヘタルコト是レナリ、即チ自治體公衆ノ意見ヲ以テ結核療養所ヲ建設シ之ヲ維持セント欲スル場合ニハ、「一ミリ」(一弗ノ千分ノ一)稅ヲ賦課シテ以テ之カ資金ヲ調達シ得ヘキ權能ヲ與ヘタルモノ是レナリ、次テ一千九百九年ニ至リテ市俄古市モ亦タ是レ此規定ヲ設ケタリ、然レトモ收稅法ノ從來ノ規定アルヲ以テ一千九百十一年一月マテハ、結核療養所設立ノ目的ヲ以テ新稅ヲ賦課スルコトヲ爲サ、リシナリ、然レトモ結核療養所ニ關スル法律ハ一千九百十三年ノ改正法律ニテ一層其範圍ヲ擴張シタリ、今マ其改正法律上ノ許ス所如何ト云フニ市ニ左ノ如キ權能ヲ與ヘタルコト是レナリ、曰ク市ハ結核療養所支部、施藥所ヲ維持シ、結核患者ノ看護治療ニ關スル其他ノ補助機關ヲ維持スル事、結核患者ノ發生シタル家庭内ニモ亦タ相當ノ利便ヲ與フル事、醫藥、看護婦、附添人等ニ關スル事、治療上ニ必要ナル幫助ヲ與フル事、其他結核退治ニ必要ナルアラユル事ヲ爲スヘキ事等皆ナ是レ市ノ權能ニ屬スルカ如キコト是レナリ、

市俄古結核療養所ノ活動ハ左記ノ四部ニテ仕遂ケラル、モノト知ルヘシ、(一)施藥部、(二)家庭内療養所的便法部、(三)教育部、(四)療養所本部是レナリ

施藥部、市政ノ施行上市ヲ種々ノ區畫ニ分チテ夫々便利ヲ計ルコトナルカ、中ニ就テ施藥部ナルモノアリ、但シ施藥部ハ全市ニ亘リテ都合十ヶ所アリ、其各部ニ何レモ醫員三十五名ト看護婦五十名宛アリテ其

管轄區域ヲ擔任セリ、而シテ當部ノ重モナル業務如何ト云フニ結核患者ヲ見顯シ、其患者ノ療養所ニ收容スヘキモノナルヤ否ナヲ鑑別シ、及家庭内ニ於ケル結核患者ノ狀態ヲ監督スル等はレナリ、中ニ就テ看護婦タランモノハ醫師ト互ニ聯絡ヲ保チテ其業務ニ從事センコトヲ要ス、看護婦ノ主トシテ勤ムヘキ事ハ患者ノ家庭ヲ數々訪問シ、必要ナル誠戒、正當ナル生活法、新鮮ナル空氣ノ必要ニシテ且ツ價値多キコトヲ知ラシムル等はレナリ、此施藥部ノ發達進歩ノ情況ハ左ノ表ニ依リテ自カラ判明スヘキナリ

監視ノ下ニアル人員	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
實際ノ患者數	四、九四三	九、一五九	一一、五九三	一四、九七二
施藥部ニ來レル患者數	一、九一一	二、一九六	二、七二七	三、五三八
看護婦ノ患者家庭ノ訪問數	二二、三三三	四二、三三五	四三、九八九	五二、二四四
	三一、九八〇	三二、六七八	三九、三七七	四〇、一八三

家庭内療養所的便法部、當便法部モ亦是レ本療養所事業中最モ重要ナル部分ノ一タリ、今其業務ノ概要ヲ述ヘンニ結核患者カ其家庭ノ事情ノ爲メニ療養所ニ入ルコト能ハサル場合アランカ、斯ル場合ニ於テ其患者ハ家庭ニアリナカラ療養所ニ收容サレタルト同様ナル有様ニアラシメント欲スルモノ是ナリ、尙ホ之ヲ細言センニ醫師看護婦等其家庭ヲ訪問シテ治療看護ノ勞ヲ取り、左マテ費用ノ掛ラヌ廊下ヲ造リテ患者ノ寢所トナシ、戶外就眠ニ就テ必要ナル設備ヲ爲シ、回轉椅子同寢臺、寢具、垂幕等ノ設備ヲ完カラシムル

モノ是レナリ

教育部、此教育部ナルモノハ今ヨリ四年前ニ創造セラレタルモノニシテ、主トシテ結核豫防ニ關スル簡易ナル事柄ヲ一枚摺若クハ短篇物トナシテ患者ニ知ラシムルノ方法ヲ立テタルモノ是レナリ、今其一枚摺等ニ記載セラレタル事柄如何ト云フニ、結核豫防上適當ナル生活法ハ爾カ、結核病ノ早期徵候、同診斷法、患者ノ警戒注意スヘキ事柄等是レナリ、其他公立小學校及他ノヶ所ニ於テ結核豫防ニ關スル講演ヲ爲スカ如キモ矢張り此教育部ニ屬スルモノト知ルヘシ

療養所本部、市立ニ係ル新設療養所ハ一千九百十五年三月一日ヲ以テ開所セラレタリ、其位置ハ市ノ北西部ニアリテ其敷地坪數ハ百六十「エーカー」ハ凡ソ我四反餘ニ當ルナリ、而シテ此療養所新築及諸ロノ設備ニ要スル資金ハ皆ナ税金ニ基ケルモノニシテ其總費額ハ(敷地代ヲ含ム)二百四十萬弗ニ達セリ抑モ此療養所ノ建築ハ一千九百十一年ニ起工サレタリシカ、其設計建築ハ云フヲ要セス諸ロノ設備ニ至ルマテ最モ深キ注意ノ結果ニ外ナラサルナリ、而シテ今日ニテハ六百五十臺ノ寢臺ヲ据ヘ付ケルニ足ルヘキナリ、然レトモ尙ホ十二棟ノ小屋ヲ増築シタレハ本年中ニハ三百ノ寢臺ヲ増加スルコトヲ得ヘキナリ此療養所ノ位置ハ市内電車ノ終點ニ接近シ居ルカ故ニ患者ノ朋友カ見舞ニ行クモ甚ハタ便利ナリト云フヘキナリ、即チ公衆一般トノ交通便利ナルカ故ニ結核豫防法ヲ普及セシムル上ニモ得ル所ナクンハアラス此療養所ハ獨リ初期結核病ノ治療看護上ニ益アルノミナラス、其病勢大ニ進ンタルモノニモ亦益スル所ナクンハアラス、兎ニ角結核病防止上ニハ其効力大ナルモノト云ハサルヘカラス

此療養所中本館ノ第一ニ屬スル部分ニハ左記ノ如キ諸室夫々配置セラレタリ、曰ク所長室、次長室、事務室、鼻喉試驗室、中央試驗室、「エツキス」光線室及評議室等是レナリ、又タ階上ハ之ヲ醫務室ニ充テ下層部ハ諸種ノ物置ニ使用シ居レリ

右ノ建物ニ次キテ患者ノ衣服室、食堂、臺所、冷蔵庫室、麵包燒所等アリ、尙ホ斯ル建物中ニ附添人ノ居室ニ充ツヘキヶ所アリ、病氣平癒シタル者ニ諸種ノ職業ヲ與フルノヶ所アリ、此外患者寢所ニ充ツヘキ廊下ニシテ常ニ外氣ニ曝サルヘキヶ所特ニ設ケアランコトヲ要ス

右建物ノ左右兩翼ハ之ヲ患者ノ治療所トナシ、之ト聯絡セル中央部ハ治療所ト關聯ヲ要スヘキ附添人ノ居所ト定メラル、茲ニモ亦外氣ニ曝サルヘキ寢所の廊下ノ設ケアリ、此等ノ建物ハ日光ノ射入及新鮮ナル空氣ノ流通最モ豊カナルヘキ設備アリ、此外結核患者ノ病床ノ看護等總テ完全ニ行届キ居ラサルハナシ、寢臺ハ左右翼各々百五十臺ヲ据ヘ置クニ足ルヘク、即チ左右翼ヲ合セテ三百臺ノ寢臺アリ、而シテ左翼及右翼共ニ尙ホ之ヲ小分シテ十臺乃至十二臺ノ寢臺ヲ据ヘ付ケルコト、ナシ、且ツ一臺乃至二臺ヲ据ヘ付ケル私室ノ設ケアリシ

右ノ治療所中ニ尙ホ重要ナル二ヶ所ノ設ケアリ、産婦部及乳育部是レナリ、即チ前者ハ結核病ニ罹レル産婦ヲ收容シ、後者ハ結核患者タル女子ノ生ミタル嬰兒ヲ收容スル所トス、且ツ前者ハ補助及私室ノ設備モ

アリテ如何ナル所要ニモ應スルコト、ナリ居レリ、又後者ノ乳育部ナルモノハ最重要ナル問題ト云ハサルヘカラス、結核病ニ罹レル母ノ産ミタル嬰兒ノ看護及結核病傳染ノ虞アル境遇ニアル嬰兒ニシテ抵抗力微弱ナラン場合ニハ、如何ニ之ヲ保育シテ可ナルヤノ問題ハ極メテ重大ナル問題ナレハナリ、而シテ乳育部ニ送致シ來レル嬰兒ニ二種アリ、其一ハ産婦部ニテ新タニ生レタルモノ、他ノ一ハ家庭ノ周邊ノ有様結核病傳染ヲ豫防スルコト能ハサルヨリ送致シ來レルモノ是レナリ、但シ二者共ニ其親タルモノ、許諾ヲ得ルニアラスンハ之ヲ收容スルコトヲ得ス

小屋立收容所ハ各二十五臺乃至三十臺ノ寢臺ヲ据ヘ置クニ足ルヘキモノニシテ、諸所ヘ移轉スル患者ヲ收容スル所トス、既ニ斯ル寢臺ノ數三百五十臺アリ、之ニ加フルニ前段ニモ述ヘタル如ク本年中ニ十二棟ノ小屋出來スヘキニ付總計六百五十ノ寢臺トナルヘキナリ、又中央ノ建物中ニハ衣服室、化粧室、洗濯所、看護婦室、坐談室及其兩端ニ十二臺乃至十五臺ノ寢臺ヲ据ヘ付ケルニ足ルヘキケ所アリ、是レハ外氣ニ曝サルヘキ設備ニナリ居レリ、

幼兒收容ノ小屋アリ此小屋ノ内ニ屋蓋ナクシテ外氣ニ曝サルヘキ小學校アリ、且ツ此療養所全體ノ内ニテ兒童ノ寢臺ニ屬スルモノ二百四十臺アリ、但シ此等ノ兒童ハ二十名乃至三十名ツ、一團トナリ居ルモノト知ルヘシ

看護婦ノ居ル所ハ別館ニ設ケラレタルモノナリ

コック郡(此内ニ市俄古市アリ)ニ於ル結核療養所ニハ病勢進ミタル患者ノ爲メニ九百臺ノ寢臺備ヘ付ケラレタリ

既ニ記載セラレタル寢臺ハ一千八百五十臺アリシカ、尙ホ之ニ加フルニ市俄古新鮮ノ空氣流通病院ニ於ル九十七臺ノ寢臺及エドワード療養所ニ於ル百臺ノ寢臺ヲ以テセリ、而シテエドワード療養所ニテハ患者ヨリ、入所料ヲ徴收スルコト、セリ、即チ移轉患者ナランニハ一週間ニ付キ十弗、治療患者ナランニハ一週間ニ付十五弗ト定メラル、尙ホ其他ニモ結核患者療養所アリ、一千九百十五年中ニハ殆ント二千三百臺ノ寢臺アリシ

市俄古市カ年々結核病ノ豫防救治ニ就テ費ス所ノ金額ハ殆ント九十萬七百弗ノ多キニ達セリ、故ニ結核退治ニ關シテ最モ花々シキ活動ヲ見ルニ至レリ

予カ結核病ノ豫防救治ニ關スル事蹟ヲ叙述スルニ就テハ、市立結核療養所取締局長ドクトル、カチス氏ノ報告ニ負フ所少ナカラサルナリ

屋蓋ナキ小學校及室、結核患者收容ノ療養所及病院ニ尙ホ附ケ加フヘキモノアリ、即チ私設ニ係ル「エリサベス、マツコルミツク資金」ナルモノ是レナリ、蓋シ此計畫タルヤ兒童ニシテ結核病ニ罹ルモ其病勢左マテ進マス靜止セル症狀ニアルモノヲ收容スル所ナリ、乃チ屋蓋ナキ小學校及室内ニ於テ結核病ノ豫防救治ニ關シテ適當ノ訓諭ヲ與フヘキモノトス、而シテ此等ノ學校及室内ニ收容セルモノ平均五百五十名アリ、然

レトモスル屋蓋ナキ小學校ノ原則カ新タニ設立セラレタル市立結核療養所ニ於テ繼承セラレタルカ故ニ、
之カ豫防救治ニ關スル事業上一層多クノ利便ヲ得ルコト、ナレリ

此等ノ小學校ノ事業ハ他ノ合力ノ加ハリ來リテ實行セラレ、モノナリ、即チ彼ノエリサベス資金中ヨリ醫師、雇人等ノ俸給、臨時彼服費及食費ノ大半ヲ支給セラレ、コト。教育局ヨリ屋蓋ナキ室、學校ノ諸設備及教員ヲ補給セラレ、コト。市立結核療養所ヨリ看護婦及食費ノ幾分ヲ負擔セラレ、コト。市民及慈善團體ヨリ學校ノ敷地ヲ寄附セラレタルカ如キコト是レナリ

日々生徒ノ學校ヘ來ルト共ニ食物ヲ給與セラレ、モノトス、其食物ハ穀類、麵包、牛乳等ヨリ成レルモノニシテ、正後ニハ肉食ヲ給與セラレ、モノトス、又毎日一時間ツ、休息ヲ與ヘラル、コトヲ例トナシ、其休息時間ハ概シテ午後零時三十分ヨリ同シク一時三十分マテトス、其他體重ヲ計リテ其増減表ヲ調製セリ

衛生局事務取扱ノ手續

衛生局事務取扱ノ手續ハ左ノ如ク區分シテ叙述スル所アラントス、(い)、傳染病及傳染病ノ疑ヒアル疾病ノ報告ヲ受クル事、(ろ)、斯ル報告ヲ衛生官及檢疫官ニ回送スル事、(は)、要求ニ應シテ衛生官及檢疫官ヨリ差シ出スヘキ報告ノ事、(に)、或ル傳染病ノ發生ケ所ヲ指點スヘキ局所地圖ヲ用フル事、(ほ)、特別ノ書類及普通ノ書類綴込順序ノ事等はレナリ

報告ノ事、傳染病發生ノ報告ハ醫師ヨリ郵便端書ニテ爲スヘキモノトス、但シ此端書ナルモノハ衛生局ノ調製シタルモノニシテ、醫師ヲ此端書ノ相當欄ニ夫々記入シテ郵便局ヲ經由シテ其筋ヘ差シ立テ送ルコトヲ要ス、今一族中傳染病ニ罹ルモノノ續々之レアリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ其傳染病發生スル度毎ニ一々之ヲ報告センコトヲ要ス、醫師タランモノ或ハ電話ニテ傳染病發生報告ヲ爲スモ妨ケナキモノトス、但シ衛生局ノ書記カスル報告ヲ受ケタラン場合ニハ、成規ノ端書ニ記入シテ書類綴込ノ中ニ挿入センコトヲ要ス、又時トシテハ醫師以外ノ者ヨリ郵便若クハ電話ニテ報告スル場合アリ、斯ル場合ニ於テハ之ヲ疑似傳染病トシテ他ニ回送スヘキモノトス、又成規以外ノ端書ニテ傳染病發生ノ事ヲ報告シ來リタル場合モ、『疑似患者』ト表書シテ他ニ送附センコトヲ要ス

衛生局ニハ常ニ絶ヘス何人ノ責任アルモノカ居ルヘキ筈ナルヲ以テ、晝間ニテモ夜間ニテモ共ニ他ヨリ來レル報告ヲ受ケサルヘカラス、若シ規定ノ執務時間後臨時突發ノ事件起リタル場合アラシカ、斯ル場合ニ於テハ其事件ノ起リタル管轄區内ノ衛生官ニ電話ニテ其旨報告センコトヲ要ス、若シ其衛生官ノ不在ナラン場合ニハ此等ノ事實ヲ併セテ衛生監督官ニ通報スベキモノトス

書類回送ノ事、報告ノ一纏リニナリタルモノカ郵便ニテ午前七時三十分ニ衛生局ニ達シタランカ、既ニ執務時間ニ達シ居レハ書記モ概ネ出揃ヒ居ルヘク、從ツテ此等ノ郵便物ヲ開キテ夫々分類スヘキナリ、斯クテ傳染病及疑似傳染病ニ關スル總テノ報告ハ衛生官ノ管轄區域ニ從ツテ夫々整理センコトヲ要ス、蓋シ衛

生官ノ管轄區ナルモノハ大ナル地圖ヲ壁間ニ掲ケテ一日ノ下ニ瞭然ナラシムルコト、ナリ居レリ、尙ホ之ヲ詳言センカ壁間ニ掲ケタル大ナル市ノ地圖ヲ五十區ノ衛生管轄區ニ分チテ其一區々々ニ受持衛生官及檢疫官ノ姓名ヲ記入シアリテ一覽スルニ便ナラシム、而シテ此等ノ報告書ハ全ク新タナルモノナルヤ或ハ第二回目ニ屬セサルヤ否ナヲ判別セシメシメガ爲メニ地圖ニ照シ合センコトヲ要ス

既ニシテ右ノ手續ヲ終ヘタランニハ電話ニテ衛生官ヲ呼ヒ出シテ其受持區ニ於ル傳染病患者ノ姓名住所ヲ一々通知シ、疑似傳染病患者モ亦然カ爲サンコトヲ要ス、斯クノ如ク衛生官ノ管轄區ニ夫々通知ヲ爲スヘキ書記四名アリテ其日ノ午前八時三十分頃マテニハ全ク之ヲ結了スルモノトス、是レ第一ノ通知ニシテ第二ノ通知ハ午後一時ニ爲スヘク其手續ハ第一ト異ナル所ナク、但シ午前ノ分ヲモ併セテ通知センコトヲ要ス、斯クテ第三ノ通知ハ午後五時ヨリ六時マテノ間ニ爲サンコトヲ要ス、然レトモ第三ノ通知後到達シタル報告ハ之ヲ適當ナル箱ニ藏メ置キテ翌日ノ第一通知ト併セテ通知スヘキモノトス

報告「カード」ハ疾病ノ種類ニ從ツテ夫々之ヲ區別シ其員數ヲ計算シテ之カ表ヲ作成シ日々ノ増減ヲ一日ノ下ニ判明ナラシメンコトヲ要ス、斯ク報告セラレタル疾病ハ之ヲ複寫版ニ付シテ夫々揭示センコトヲ要ス但シ複寫版ニシテ揭示スヘキ事項ハ患者ノ姓名住所、之ヲ報告シタル醫師ノ姓名、疾病ノ發生シタル管轄區及衛生官ノ姓名等はレナリ、而シテ此揭示版ハ毎朝調製スヘキモノニシテ前日ノ午後ノ分ト當日第一ニ受付タル分トヲ併セテ報告スヘキモノトス、斯ク調製セラレタル複寫版ハ各衛生官、檢疫官及學校衛生官

等へ一部ツ、送付センコトヲ要ス、既ニシテ衛生官等カ此表ヲ通覽シテ先キニ電話ニテ通知ヲ受ケタル事實ト對照スヘク、若シ其間相違アルコトヲ見出シタランニハ電話ニテ其理由ヲ聞糺ササルヘカラス檢疫官ハ一日二回ノ通報即チ午前八時三十分ト午後零時三十分トノ二回通報ヲ受ケルコトナルカ、其午前ノ通報ハ消毒、疾病ノ終熄、揭示札ノ取替及檢疫怠慢等ノ事ニ關スルモノ是レナリ、既ニシテ檢疫官ハ此等ノ通報ヲ夫々管轄區別ニシテ一々封筒ニ入レ置カンコトヲ要ス、又檢疫官ヨリ其筋ヘ報告スヘキ事ハ電話ニテ報告シテ苦シカラス、但シ其手續ハ衛生官ノ其レト異ナル所ナシ、又午後通報手順ハ午前ノ通報ト異ナラサルナリ、且ツ檢疫官ハ此等ノ管轄區ニ發生シタル傳染病ノ複寫表ヲ能ク調査シテ、衛生官ノ視察及檢疫シタル事ニ善ク適應シ居ルヤ、適當ナル檢疫法ヲ實行シタルヤ否ナヲ確カメンコトヲ要ス

要求ニ應ジテ衛生官及檢疫官ヨリ差シ出スヘキ報告ノ事、衛生官ハ自カラ視察シタル各傳染病患者ニ關スル報告ヲ二十四時間内ニ衛生局ヘ差シ出サンコトヲ要ス、而シテ其報告「カード」ニハ成規ニ從ツテ遺漏ナキ様記入セサルヘカラス、且ツ此視察報告ハ當日業務ノ終末ニ作成スヘキモノニシテ、其投函ノ時間ハ翌朝ノ第一便ヲ以テ衛生局ヘ到達スヘキ様見計ラハンコトヲ要ス、既ニシテ此等ノ報告カ衛生局ニ到達シタランカ、衛生局ニ於テハ先キニ衛生局ヨリ此等ノ衛生官ヘ通報シタル事柄ト對照比較スヘク、而シテ其結果不分明ナル事アラシ場合ニハ直チニ其旨ヲ衛生官ニ照會シテ之カ回答ヲ求メンコトヲ要ス、又タ衛生官ニシテ疑似患者ヲ調査シタル場合アラシカ、斯ル場合ニ於テハ其調査シタル結果ヲ規定ノ視察報告ト共ニ

差シ出サンコトヲ要ス

檢疫官モ亦是レ日々其行動ノ結果ヲ報告セサルヘカラス、其報告スヘキ事柄ハ自カラ調査ニ赴キタルケ所ト時間トニ關スルモノニシテ、其投函ノ時間ハ翌朝ノ第一便ヲ以テ衛生局ヘ到達スヘキ様見計ラハンコトヲ要ス

點畫地圖 左記ノ疾病ニ罹レル患者ハ一々點畫地圖ニ示サンコトヲ要ス、曰ク實布埤里亞、猩紅熱、腸窒扶斯及下痢症ノ如キ是レナリ、而シテ此點畫地圖ハ斯ル傳染病ノ一ツ一ツニ就テ一枚ツ、ヲ調製シ置キテ、毎週ノ患者數ヲ色分ケニシテ一ヶ月間ニテベメ切ランコトヲ要ス、又タ同圖中ニ病毒傳播ノ媒介トナレルモノヲ諸種ノ形狀ヲ以テ示サンコトヲ要ス、又前月分ノ點畫圖ヲ竝ヘ置キテ本月分ト容易ク比較シ得ラル、様爲シ置カン事ヲ要ス

腸窒扶斯患者ノ記號ヲ付スヘキ點畫圖ハ尙ホ二種ヲ調製シ置カンコトヲ要ス、而シテ此二種ノ内一ニハ給水ノ方面ニ基ケル地方別ヲ示シ何レノ方面ノ給水ヨリ發病セシカヲ知ルノ便ヲ與フルコト、シ、他ノ一ハ一層大ニシテ且ツ完全ナルモノ是レナリ、此分ハ各地方ノ衛生部長ノ手許ニ備ヘ付ケラル、モノニシテ人口ト發病數トノ百分比例等ヲ見ルノ用ニ供セラル、モノ是レナリ、又月々ノ患者數ヲ示スニ種々ノ色ナル紙ヲ圖面ニ刺シ込ムコトアリ、例之ヘハ一月發生ノ患者ニハ黃色ノ紙、二月ニハ赤色ノ紙ト云ヘルカ如キ是レナリ、且ツ普通ノモノヨリ一層大ナル紙ヲ刺シタルハ重症患者タルコトヲ示シ、又タ其紙ノ下ニ種々

ノ色分ノ一小紙片ヲ敷ケルハ發病初期トカ或ハ市外ニ傳染シタルコトヲ示スノ記號トナスモノアリ
右ノ外點畫地圖ヲ六大牛乳商ノ許ヘ置クコト、ナシ、而シテ其圖面ニハ牛乳製造所ノ數及其牛乳ヲ配達スヘキ地方ヲモ印シ置クコト、セリ、斯クテ實布埤里亞、猩紅熱及腸窒扶斯等ノ患者發生ツタランニハ一々其圖面ニ記號ヲ付サンコトヲ要ス、若シ牛乳ヲ配達スル道スカラ右ニ述ヘタル傳染病ノ何レカ一週間内ニ二回發生シタル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ發病ノ原因牛乳ニアラサルカラ調査セサルヘカラス

又各小學校所在地ヲ示スヘキ地圖ヲ備ヘ置カンコトヲ要ス、蓋シ發病毎ニ其圖面ニ記號ヲ付スヘキモノニシテ、若シ一週間内ニ同一ノ學校ニ猩紅熱若ハ實布埤里亞ノ患者カ二名發生シタリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ之ニ關シテ特別ノ調査ヲ爲サンコトヲ要ス

腸窒扶斯及痘瘡患者ニ關スル帳簿ヲ備ヘ置カンコトヲ要ス、中ニ就テ腸窒扶斯患者ニ關シテハ最モ詳細ニ其發病等ノ模様ヲ記載シ置キテ一見明瞭ナランコトヲ要ス、又牛乳商ノ氏名住所ハ一々帳簿ニ記載シ置クヘク、而シテ實布埤里亞、猩紅熱若クハ腸窒扶斯ノ發生シタルハ牛乳商ニ關係アルモノト云フヘシ、乃チ牛乳配達ノ道スカラニ於テ此等ノ傳染病ニ罹ルモノ二名若クハヨリ以上發生シタランカ、斯ル場合ニ於テハ直チニ其牛乳ヲ検査セサルヘカラス

書類綴込手續 傳染病患者ニ關スル一切ノ證據書類ハ特別ナル封筒内ニ貯ヘ置カンコトヲ要ス、而シテ斯

ル報告ヲ受クルト共ニ之ニ關スル記録ヲ整成スヘキモノトス、即チ此記録ニハ醫師届出ノ當初ヨリ其病ノ終末ニ至ルマテノ事實ヲ洩レナク記載センコトヲ要ス、且ツ患者ノ家族中ニ患者ニ觸接シタルカ爲メ感染シタル者アリテ之カ報告ニ接シタランニハ、最初ノ患者ノ報告書類ト共ニ之ヲ一纏メニシテ保存シ置カンコトヲ要ス、又タ疾病ノ異ナルニ從ツテ之ニ關スル書類モ別々ニナシ置カンコトヲ要ス、之ヲ別々ニ爲シ置カンニハ各種ノ書類ヲヘル入キ封筒ヲ色分ニナシテ、某種ノ書類ハ爾カノ色ノ封筒ニ入ル、コト、定メンコト然ルヘキナリ、而シテ今マ其書類ノ認メ方如何ト云フニ概ネ左ノ如クナランコトヲ要ス、曰ク患者ノ氏名、年齢、住所、發病届出ヲ爲セル醫師ノ氏名、患者ノ始メテ發病セシ模様、其疾病ノ終末ノ事實等はレナリ、又タ病名ハ封筒ノ表面ノ片隅ニ深く印刷シ置クヘキモノトス、實布埜里亞、猩紅熱、麻疹及百日咳ニ關スル書類ハ之ヲ一纏メニシテ取り置クヘシト雖モ、結核病、腸窒扶斯、痘瘡及嬰兒痲痺症ノ如キハ其書類ヲ一々別ニ爲シ置カンコトヲ要ス、而シテ其書類ハ一々「A、B、C」順ニナシ置カンコトヲ要ス

患者ニシテ何トカ終末ヲ告クルニアラスンハ、之ニ關スル書類ハ尙未決ノモノトシテ取り置カンコトヲ要ス、苟クモ書記タランモノハ麻疹及百日咳ニ關スル書類ハ、日々注意シテ何等カノ變化起ラザリシヤ否ナヲ觀察センコトヲ要ス、今茲ニ一ノ麻疹患者アリテ成規ノ届出アリタル場合、其患者ノ家族中之ニ感染スルモノ曾テ之レナク、二十四時間内ニ其家族中體温ニ變動ヲ起シタルモノ之レナシトセンカ、斯ル場合

ニ於テハ醫師タランモノ其疾病終熄セリト申告スルモ然ルヘキナリ、若シ之ニ接觸シタルモノカ感染シタル場合ニ於テハ十四日間ヲ經テ終熄セルモノト謂フヘキナリ、是レ麻疹患者ノ場合ニシテ若シ百日咳ノ場合ナランニハ六週間ヲ經テ初メテ終熄ヲ告クヘキモノトス、實布埜里亞及猩紅熱ニ關スル書類ハ一週間ニ二回調査スヘク、又四週間及五週間ヲ經テ終熄ヲ告ケサル疾病ハ、其掛リ醫師ニ向ツテ爾々ノ疾病ハ尙ホ未タ終熄セサルヤヲ問ヒ合サンコトヲ要ス、然ルニ三日間ヲ經過スルモ其醫師ヨリ何タル回答モ之レナシトセンカ、斯ル場合ニ於テハ其病ハ最早ヤ終熄シタルモノト見做サルヘキモノトス

實布埜里亞、猩紅熱、腸窒扶斯、結核病及嬰兒痲痺症等ノ疾病發生シタラン場合ニハ、其家屋ニ關スル記録「カード」ヲ調製センコトヲ要ス、而シテ此等ノ記録「カード」ハ一ノ疾病ニ就テ市街ノ「A、B、C」順ニナシ置カン事ヲ要ス

抗毒素 實布埜里亞抗毒素ハ州ヨリ供給セラル、モノニシテ其高一千萬三千個ニシテ其單位ヲ五千トナス、市俄古市ヲ通シテ到ル所各所ニ此抗毒素供給所アリテ、患者ハ何人ニテモ無代價ニテ之ヲ乞ヒ受クルコトヲ得ヘシ、又醫師カ之ヲ申シ受ケテ使用スル場合ニハ二重ノ書面ヲ認メンコトヲ要ス、乃チ此書面ト云ヘルハ規定ノ用紙二種アリ、其一ニハ患者ノ氏名、年齢、住所等ヲ記入シテ之ヲ抗毒素供給所ヘ回送シ、他ノ一ハ州立衛生局長ノ方ヘ送付センコトヲ要ス

破傷風抗毒素ハ醫師ヨリ破傷風免疫ノ爲メ若クハ破傷風患者治療ノ目的ヲ以テ要求スル場合ニハ下ケ渡サ

ルヘキモノトス

腸窒扶斯豫防液モ亦是レ醫師ニ供給セラル、モノトス、但シ一ヶ月ニ就キ患者一名ニ對シテ三服ツ、ノ割合ニテ百名分ヲ限リトス

痘菌モ矢張り要求ニ應シテ供給セラル、モノトス、但シ臨時種痘者ノ多カルヘキ場合アルヲ以テ新鮮ナル痘苗ヲ充分ニ下ケ渡サルヘキモノトス

凡ソ抗毒素及免疫豫防液等ヲ下渡ニ就テハ成規ノ帳簿ニ記入センコトヲ要ス

巡回衛生隊ノ事 衛生官ニシテ或ル患者ヲ病院ニ收容セシメタル場合アランカ、斯ル場合ニ於テ其入院セシメタル事情ヲ衛生局ヘ報告セサルヘカラス、即チ其患者ヲ入院セシメタルハ掛醫師若クハ患者ノ家族ノ要求ニ基クカ検査上ノ必要ニ出テタルカ等ヲ報告スルコト是レナリ、衛生官ハ尙ホ電話ニテ患者ノ氏名、男女別、年齢、住所及病名等ヲ報告センコトヲ要ス、而シテ衛生局ノ書記カ斯ル報告ニ接シタランニハ、矢張り電話ニテ患者ニ關スル諸口ノ手當ハ充分行キ届キ居レルカ、又其患者ヲ特別ナル病院ヘ移スノ必要如何等ヲ確カメンコトヲ要ス、蓋シ此巡回衛生隊ノ行動、届出、患者ヲ入院セシメタル日時等夫々規定ノ帳簿ニ記載センコトヲ要ス

書記局ノ事

書記局ニ於テ事務員カ日々從事スル業務ハ、同局ノ職務章程ニテ既ニ明ラカナル事ナレハ、今更贅スルノ

必要ナキナリ

凡ソ書記局ノ事ハ何事ニヨラス書記長ノ指導ノ下ニ行動センコトヲ要ス、即チ其部下ナル年少書記ニ特別ナル任務ヲ與ヘテ夫々事ニ當ラシムルモノナリ、斯クテ數多ノ書記其事務ヲ執ルニ就テ追々熟練スルヲ以テ事務多端ニナルモ更ニ澁滞スル所ナク益々敏活ニ之ヲ處理スルコト、ナレリ、書記長ハ數多ノ書記ヲ督勵シテ其事務ニ鞅掌セシムルノミナラス、其物置等ヲモ能ク監督シテ抗毒素及豫防液等何時ニテモ要求ニ應ジ得ラルヘキ様夫々準備セシメ置カン事ヲ要ス

書記長ハ右ニ述ヘタル業務ノ外尙ホ爲スヘキ事少ナカラサルナリ、即チ毎月末ニ至リテ各所ニ揭示スヘキ疾病ノ統計表ヲ作成スル事、學校衛生掛、齒科醫及看護婦等ノ成シタル行動ニ關スル記録ヲ整理スル事、同局ノ事務員全部、他局ノ局長及監督等ノ氏名住所ニ關スル簿冊ヲ整理スル等はレナリ

勤惰簿ノ事 局員ニ交付スヘキ給料ハ失態、缺勤及過誤等ニ依リテ幾分カ減少セラルヘキモノトス、又出張所ノ雇員ノ給料ハ事務ノ難易、勤惰ノ模様、業務ノ遲速巧拙等ニ從ツテ多少ノ増減アルヘキモノトス、書類整理ノ事 各種ノ事件ニ從ツテ夫々書類ヲ整理スルコトナルカ其書類ノ整理方如何ニモ善ク實行サレテ日々之カ整理ニ最モ善ク注意シテ、一旦受付ケタル書類ハ必ラス其日ノ内ニ整理セサルヘカラス、決シテ其儘ニ打テ棄テ置クヲ許サス

衛生局ノ組織ハ最モ完全ニシ毫モ非難スヘキ點ナク、從ツテ其成シ遂ケタル事業モ亦々稱讚スルニ足ルヘ

幼兒衛生課

幼兒衛生課ノ爲スヘキ事業ハ之ヲ四項ニ分チテ叙述スルコト最モ然ルヘキナリ、即チ(一)、醫學的ニ學童ヲ診察スル事、(二)、保齒課及齒科施療所ニ關スル事、(三)、看護婦課ノ事、(四)、嬰兒保健課是レナリ、醫學的ニ學童ヲ診察スル事、抑モ市俄古市ニハ公立小學校三百三十校、宗教ニ關スル小學校二百二十校アリ、而シテ學童ノ實數四十萬ナルカ學齡兒童ノ數ハ之レヨリ尙ホ一層多カルヘキナリ、故ニ斯ル多數ノ學童ヲ醫師ノ日々診察センハ決シテ一小問題ニアラサルナリ、今一千九百十四年發布ノ法令ニ依レハ此等ノ學童ヲ診察スルハ、報告サレタル傳染病患者ヲ診察スル衛生官ノ任務トナレリ、故ニ此衛生官ナルモノハ其當時ニ在リテ二様ノ任務ヲ帶ヘルモノト謂フヘキナリ、尙ホ之ヲ詳言センニ一千九百十四年三月ニ於テ醫務局ナルモノカ再興サレ、且ツ幼兒衛生課モ創設セラレタリ、蓋シ幼兒衛生課ノ業務ハ右醫務局ノ次長ノ擔任ナルコト、ナレリ斯ル次第ナルカ故ニ學童診察ノ事ハ既ニ六年前ニ規定サレタリト雖モ、其實行ヲ見ルハ僅カニ此十二ヶ月間ニ過キサリナリ

今マ學童診察ノ事ヲ實行セント欲セハ現況ノ儘ニテハ甚タ困難ナリト謂ハサルヘカラス、此ニ於テカ全市ヲ百五學區ニ分チテ之カ實行ノ便ヲ計ルニ至レリ、斯ク學區ニ分チタル結果トシテハ一學區ニ平均五小學校ヲ包容シ其學童數殆ント四千人ノ割合ニ當レリ、尙ホ精密ニ之ヲ云ハシカ一學區ノ學童數四千人乃至四千五百人ニシテ、百五名ノ學校衛生官ニテ其一學區ツ、ヲ受持ツノ手筈ナリト知ルヘシ、尙ホ其外九名ノ監督官ヲ任命スルノ法令出テタリ、而シテ其内八名ハ各學區ヲ監督シ他ノ一名ハ本局ト聯絡ヲ保チ且ツ特別ノ任務ヲ帶ヘルモノトス、復タ百五學區ヲ更ニ八大區ニ分チテ右八名ノ監督官ヲシテ其一區ツ、ヲ擔任セシムルコト、セリ、故ニ一監督官ニシテ十三名ノ學校衛生官ヲ監督スル結果ヲ生スルモノト知ルヘシ

小學校新築ノ場合ニハ學校衛生官ノ業務上ニ便利ヲ與ヘンカ爲メニ待合室及協議室等ヲモ設クルコト、ナリ居タルカ、舊來ノ小學校ニテハ斯ル設備更ニ之レ無キカ故ニ、僅カニ教頭室ノ一部分ヲ利用スルニ過キサリナリ

學校衛生官 學童診察ヨリ得ラルヘキ重モナル目的ハ何ノ邊ニアルヤト云フニ學童間ニ傳染病及寄生蟲的皮膚病發生シ居ルヤ否ナヲ見顯ハスコト是レナリ、而シテ傳染病ニ罹レル學童ハ直チニ休校セシメ、又或ル場合ニ於テハ皮膚病ニ罹レルモノヲ休校セシムルコトアルヘキナリ、日々衛生官カ最モ嚴重ニ診察シタランニハ尙ホ未タ大事ニ至ラサル傳染病ヲモ見顯ハスニ至ルヘク、而シテ斯ル患者ヲ休校セシメテ他ノ學童ト接觸スルノ機會ナカラシメンカ、傳染病ノ猖獗ヲ極ムルカ爲メ閉校スル杯ノ虞ナカルヘキナリ、實布埤里亞若クハ猩紅熱患者モ亦然カナサン事ヲ要ス

學校衛生官タルモノハ開校期ノ來ルト共ニ要求ニ應シテ學童全部ヲ診察セン事ヲ要ス

凡ソ傳染病ト名ノツクモノハ其何病タルヲ問ハス之ニ罹レルモノハ皆ナ是レ登校ヲ禁セラル、モノトス、苟クモ傳染病ノ發生シタル場合ニハ衛生官ハ其患者ノ氏名、住所及教場等ヲ書面ニ認メテ校長ヘ差シ出サシコトヲ要ス、而シテ患者タル學童ハ登校禁止ノ書面ヲ持セテ其親元ヘ送り返サシコトヲ要ス、而シテ其登校禁止ノ書面中ニハ其學生ノ病名及衛生官ノ許可スルマテ學校ヘ來ルコトヲ得サル旨記載スヘキモノトス、又之ニ關スル書面ヲ適當ニ綴リテ衛生局ヘ差シ出サ、ルヘカラス

或ル小學校ニ於テ一週間内ニ實布埜里亞患者二名若クハヨリ以上發生シタル場合アラシカ、學校内ニ咽喉ヲ痛メル學生アルカ、若クハ同一ノ教室内ニ二名若クハヨリ以上ノ患者發生シタル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ同一ノ教室内ニアル所ノ學生全部ノ咽喉及鼻ヲ検査センコトヲ要ス、若シ此検査ノ際同學級ノ生徒ニシテ同教室ニ在ラサリシ場合アラシカ、斯ル生徒ハ其検査ノ全ク終了スルマテハ此教室内ニ入ルコトヲ許サス、又或ル格段ナル小學校ニ於テ猩紅熱患者二名一週間内ニ發生シタル報告アリタリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ衛生官タルモノ其患者ノ發生シタル教室内ノ學生全部ヲ一週間ヲ通シテ日々診察セシコトヲ要ス、尙ホ此際校長ハ輕症ノ猩紅熱ニ罹レル學生アラサリシヤト深ク警戒スル所ナクンハアルヘカラス

接觸者登校禁止ノ事 一 家族内ニ傳染病患者ノ發生シテ治療ヲ受ル場合ニハ、其家族ノ者ハ接觸者トシテ離隔スルノ必要アル事ハ既ニ前段ニ於テ述ヘタル所ナルカ、學校ノ教室内ニ於テ傳染病患者ノ發生シタル場合モ亦是レ其接觸者ヲ離隔スルノ必要ナクンハアラス、今マ學校ノ教室内ニテ一ノ學生カ、麻疹、耳下腺炎、百日咳、假痘、若クハ日耳曼麻疹ニ罹リタル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ同教室内ニアル所ノ學生皆ナ是レ此等ノ疾病ニ感染シ易キモノト見做シテ之ヲ「接觸者」ト名ケテ登校ヲ禁スヘキモノトス、其登校禁止ノ日數等ハ左ノ如クナランコトヲ要ス

病名	患者ニ接觸シタル後學校ニ留置セラルヘキ期間	登校禁止期間
麻疹	一週	二十日
百日咳	同上	二週
耳下腺炎	二週	一週
假痘	十日	同上
日耳曼麻疹	二週	同上

教室内ニ於ル一學生カ實布埜里亞若クハ猩紅熱ニ罹リ居レルコトカ分明ナランニハ、充分ナル警戒ヲ加ヘテ學生一同ヲ退場セシメテ消毒法ヲ行ハンコトヲ要ス

以上掲ケタル傳染病取扱法ニ依リテ之ヲ考フレハ左記ノ如キ事ハ自カラ明カナルヘキナリ、曰ク患者ト同室ニアリテ其病毒ニ感染シ得ヘシト見做サル、學生ハ、發病ノ恐レナク安全ナリト思惟セラル、期間内學校ニ留置シ置キテ後、夫々家ニ歸ラシメ尙ホ感染發病ノ恐レアリト思惟セラル、期間内登校ヲ禁止セラル、コト是レナリ

右ノ如キ計畫ハ固ヨリ安全ナルモノニ相違ナシト雖モ、茲ニ一種ノ疑問起ラスンハアラス、曰ク特ニ患者ニ接觸スルノ度合甚タ輕微ニシテ、衛生官及看護婦カ日々此等ノ學校ニ來リテ、彼ノ患者ニ接觸シテ其病毒ニ感染スヘキ虞アル學童ノ尙ホ未タ教室ニ入ラサルニ先ンシテ之ヲ診察スルトセンカ、斯ル場合ニ於テモ尙ホ且ツ登校ヲ禁スヘキノ必要アリヤト云ヘル疑問是レナリ、斯ル疑問モ全ク排斥スヘキモノニアラス、學童ノ登校禁止ニ就テハ須ラク熟慮スルナクンハアルヘカラス

學校衛生官ノ職責、苟クモ學校衛生官タルヘキモノハ學校開始ノ季節ニ際シテハ一般ニ廣ク學童ヲ診察スヘキハ今更云フヲ要セス、尙ホ其外日々其受持區ノ各學校ヲ訪問センコトヲ要ス、其日ノ第一ニ訪問スヘキ學校ハ午前九時十五分ナルヘク、其日ノ最後ニ訪問スヘキ學校ハ正午十二時ナランコトヲ要ス、蓋シ學校衛生官ハ終日其業務ニ従事スヘキモノニアラス、日々僅カニ三時間勤ムレハ足ランノミ

此等ノ衛生官ハ其業績ノ一覽表ヲ作成シテ其筋ヘ差出サ、ルヘカラス、即チ其表中ニハ其受持區ニ於ケル各學校ヲ訪問シタル日時等ヲ精密ニ記載センコトヲ要ス、又傳染病視察ノ爲メ其管轄區内ノ學校ヲ訪問セント欲スル場合ニハ、其訪問豫定ノ日時ヲ各校長マテ通知シ置カサルヘカラス、其他其筋ヘ差出スヘキ表中ニハ最近訪問シタル學校ニ於テ學童ノ身體検査ヲ行ヒ且ツ種痘杯爲シタル事實ヲ記入センコトヲ要ス

身體検査ノ事、學校ノ學生ニ就テハ皆ナ是レ出來得ヘキ丈ケ充分ノ身體検査ヲ爲サ、ルヘカラス、此身體

検査ハ固ヨリ重要ナルコトニ相違ナキモ、其父兄タルモノ、同意ヲ得ルノ必要アルヨリ之ヲ實行スルニ困難ナクンハアラス、而シテ之ヲ行フノ有様數多ノ學校ヲ通シテ皆ナ同一ノモノニアラス、各異ナル所ナキ能ハス、是レ他ナシ校長ノ協力父兄ノ盡力及看護ノ能力等皆ナ是レ異ナル所アレハナリ、此身體検査ヲ行フニ就テ最モ注意ヲ要スヘキ大切ナル事柄ハ、學童ノ健康ヲ害シ其學藝ノ進歩ヲ妨クヘキ缺點ノ有無ヲ見顯ハスコト是レナリ、學校衛生官カ學童ノ身體検査ヲ行フニ當リテ校長及教師ノ協力ヲ得ルト否ナラサルトハ、重モニ其衛生官ノ人格如何ニ關スルモノト知ルヘシ

身體検査ヲ受ル者ノ數ハ學校ニ依リテ甚タシキ差ナクンハアラス、宗教ニ關スル學校中ノ或ル學校ニハ曾テ一人モ之レナキニ、公立學校中ノ或ル學校ニ至リテハ身體検査ヲ受ケタル學童七五%ノ多キニ達シタルカ如キコト是レナリ、然レトモ日今ニ至リテハ僅カニ全數ノ半ハニ過キサレナリ、然レトモ年々進歩發達ノ徵候ナクンハアラス、殊ニ著シキハ宗教上ノ學校ニ於テ之ニ關スル協心戮力ノ精神大ニ發達シタルヲ見ルヘキナリ

學生ノ身體検査ヲ開始スヘキ時日ニ先ンシテ豫シメ承諾「カード」ヲ其父兄ノ許ヘ配布スルハ巡回看護婦ノ職責ナリトス、而シテ父兄ヲシテ出來得ヘキ丈ケ多ク其承認「カード」ニ調印セシメンコトヲ要ス、是レ他ナシ父兄カ其承諾「カード」ニ調印シテ差シ出スニアラサレハ學生ノ身體検査ヲ爲スコト能ハサレハナリ

衛生官ハ一週ニ就キ學生五十名ノ身體検査ヲ爲サンコトヲ要ス、但シ種痘杯ニテ繁忙極マル場合ハ此限ニ

アラス、又タ學生ノ身體検査ヲ爲シタラン場合ニハ一名毎ニ検査「カード」ナルモノヲ作成スヘク、而シテ此「カード」ニ記入スヘキ事項ヲ舉レハ概ネ左ノ如シ、曰ク學生ノ氏名、検査當時ノ年齢、初メテ入學セシ時ノ年齢、就學以來ノ年數、身長、體重、何等カノ疾病ニ罹リタル事、若クハ身體中何レノ部分カ不具ナル等是レナリ、尙ホ其後身體検査ヲ爲シタラン場合ニハ其結果如何ヲ書キ加ヘンコトヲ要ス、而シテ此等ノ検査「カード」ハ學校内ノ一小室ニ保存シテ「A、B、C」順ニ整理シ置カンコトヲ要ス、又身體検査ノ際何等カ著シキ缺點アルカ若クハ容易ナラサル疾病ニ罹リ居ルコトヲ見出シテ、尙ホ一層完全ナル検査ヲ爲スノ必要アリト思惟シタル場合アラシカ、斯ル場合ニ於テハ特種ノ検査ヲ爲サンカ爲メニ其兩親ノ承諾ヲ得サルヘカラス

身體検査ノ結果現在ノ病勢容易ナラス決シテ忽カセニスヘキモノニアラス、到底治療セサルヘカラサル有様ナランカ、斯ル場合ニ於テハ衛生官タルモノ其父母ノ許ヘ一ノ「カード」ヲ發送センコトヲ要ス、但シ其「カード」ニハ此幼兒ハ醫師ノ治療ヲ受ケサルヘカラス、其家族ノ得意醫師ノ診察ヲ受ケンコト然ルヘシトノ趣意ヲ記入スルモノト知ルヘシ、又其醫師ノ許ヘモ爾カノノ患者ト認ムルニ依リ相當ノ手當ヲ爲サンコトヲ要ストノ書面ヲ送ランコトヲ要ス、且ツ其兩親ノ許ヘ送りタル「カード」ノ寫ヲ看護婦ニ交付シテ右病者ノ看護ニ當ラシメンコトヲ要ス

種痘ノ事 秋季ノ初メニ當リテ兩親ノ承諾「カード」ヲ夫々分配シ置キテ、十月十五日ヨリ種痘ヲ開始スヘキモノトス、但シ兩親ヨリ承諾「カード」ヲ得タル幼童ニ種痘センコトヲ要ス、而シテ總テノ「カード」之ヲ衛生局ヘ送付シ不承諾ノ「カード」ハ其日時ヲ附記シテ之ヲ「A、B、C」順ニシテ學校ノ一室内ニ保存シ置カンコトヲ要ス、又タ痘瘡大ニ流行シテ一般ニ種痘ヲ奨励スル場合ニハ毎ニ此等ノ學生ニモ種痘セシメンコトヲ要ス

報告ノ事 衛生官ハ前日成シ遂ケタル業績ヲ衛生局ヘ報告センコトヲ要ス、但シ其之ヲ報告スルハ郵便ニ付シテ其日ノ第一便ヲ以テ衛生局ニ到達スル様時間ヲ見計ラツテ投函センコトヲ要ス、而シテ此報告書ニハ左ノ如キ事項ヲ包容スヘキモノトス、曰ク成シ遂ケタル検査ノ模様、検査人員、種痘、見顯ハシタル疾病、登校禁止及其禁止日數、巡回訪問シタル學校、其各學校ニ於テ費シタル時間等ヲ報告スルカ如キコト是レナリ

協議日ノ事 數校ノ衛生官カ一團トナリテ一ヶ月ニ一回協議會ヲ開催センコトヲ要ス、是レハ込ミ入りタル事件及重大ナル事柄ニ關シテ相談打合ヲ爲スヘキ會合ニシテ、其管轄區ノ監督、巡回看護婦、出來得ヘクハ學校教員、學生ノ父兄等列席センコトヲ要ス、蓋シ此會議ニ於テハ衛生上ニ關スル特別ナル處分方法及衛生事務ノ概況ニ就テ商議討論以テ事宜ニ適セシメンコトヲ要ス

監督衛生官ノ事 此等ノ役員ハ終日其業務ニ従事スヘキモノニアラス、其日々業務ニ服スヘキ時間ハ彼ノ衛生官ト同一ナリトス、抑モ監督衛生官ノ主トシテ司トル所ハ衛生官及巡回看護等ノ行動ヲ監督スルニア

リ、管轄内ニ於ル關係役員ノ職責ヲ怠リ不都合ナル行動アリトテ不平苦情ノ起リタル場合ニ於テ其事實如何ヲ調査スル事、校長及教員等會議ヲ開クノ際其議場ヲ整理スル事、學校事業ニ關スル衛生局ノ活動如何ヲ觀察スル事、或ル學校ニ於テ學生ノ身體検査ヲ爲スニ際シテ衛生官ノ失態ナキヤ等ヲ監査スルカ如キコト是レナリ

保齒課及齒科治療所ノ事

近年ニ至リテ學校衛生機關中ニ保齒課及齒科治療所ナルモノ新設セラレ、貧民ノ子弟ハ無報酬ニテ治療ヲ受クルコトトナレリ、所謂齒科治療所ハ都合十ヶ所ニ設ケラレタリ、是レ醫事上從來ノ缺點ヲ補フタルモノト謂フヘキナリ、從來ハ齒科醫ノ有志團體ナルモノアリテ學生ノ齒ヲ治療スルノ有様ナリシカ、今日ニ至リテハ學生ノ身體検査上保齒課ヲ置クノ必要ヲ感シ且ツ齒科治療所ヲモ設クルコト、ナレリ

學生ノ齒ニシテ治療ヲ必要ト認ムル場合ニ於テハ直チニ其旨ヲ通知「カード」ニ認メテ父兄ノ許ヘ送付シ、且ツ其賸本ヲ看護婦ノ方ヘ回送センコトヲ要ス、而シテ學生ノ父兄ニ於テ學校附屬ノ齒科治療所ニテ相當ノ手當ヲ受ケンコトヲ要求シ來ランカ、斯ル場合ニ於テハ看護婦カ其家庭ヲ訪問シテ其父兄ヨリ治療費ヲ徴收シ得ヘキヘ否ヲ視察センコトヲ要ス、既ニシテ其父兄カ貧困ニシテ治療費ヲ支拂フコト能ハサルコト判明シタランニハ齒科治療所ニテ治療センコトヲ要ス、或ハ看護婦カ其學生ヲ最近ノ齒科治療所ニ携ヘ行キ自カラ助力シテ治療ヲ受ケシムルコトアルヘシ、學生ノ齒科治療ニ就テハ保齒課カ自カラ保證ノ地位

ニ立ツカ故ニ、父兄ノ承諾ヲ得ンニハ左マテ困難ヲ感セサリシナリ、現在ノ齒科治療所十ヶ所ニテハ尙ホ不十分ナル所アリ、其倍數以上ニアラスンハ要求ニ應スルコト能ハサルヘキナリ

監督齒科醫ノ事、監督齒科醫ノ職責トシテ其管内ノ業務ヲ遂行センカ爲メニ其力ヲ盡スコト之ヲ他ノ監督官ニ比スレハ二倍ナリト云フヘキナリ、其管内齒科醫ノ行動、齒科治療所ノ實況ヲ監督スルコト、新任ノ屬僚ニ訓諭ヲ興フル事、其他監督官トシテ爲スヘキ調査及規定ノ報告ヲ爲ス事等皆ナ是レ其職責ニ歸スヘキナリ、而シテ其業務ニ從事スヘキハ二六時中午前九時十五分ヨリ正午十二時マテ僅カニ三時間弱ニ過キサルナリ

齒科醫ノ事、保齒課ニ任用セララル、齒科醫ハ都合十名アリテ各齒科治療所一ヶ所ツ、ヲ受ケ持チ居レリ、蓋シ此齒科治療所ナルモノハ市内各所ニ散在セル小學校構内ニ設ケラレタルモノ是レナリ、而シテ此齒科醫ハ専ラ其業務ニ從事スヘキモノニシテ、其執務時間午前ハ九時ヨリ十二時マテ、午後ハ十二時三十分ヨリ同シク三時三十分マテト定メラル、是レ學年間毎日開校時間ナレハナリ

齒科醫ハ衛生官ノ手ヨリ差シ回サル、幼童ヲ受ケテ適當ノ治療ヲ施コシ、而シテ其治療シタル各幼童ニ就テハ之ニ關スル書類ヲ三通調製センコトヲ要ス、既ニシテ全ク其治療ヲ結了シタランニハ其三通ノ内第一ヲ衛生局ヘ回送シ、第二ヲ幼童ヲ送り越セル學校ヘ送付シ、殘レル第三ヲ治療所ヘ備ヘ置クヘキモノトス

尙ホ其他ノ職責トスル所如何ト云フニ施療所ノ資産及諸物品等ノ保管ヨリ諸ロノ書類ノ保管ニ至ルマテ皆ナ其職責ニ歸セラルヘカラス、所謂ル其書類トハ傳染病ニ關スル報告書若クハ學生ノ身體検査ニ係ル書類ノ如キモノ是レナリ、又タ其筋ヨリノ要求ニ應シテ或ル報告書ヲ差シ出スカ如キモ其職責中ノ一タラスンハアラス

看護婦課ノ事

看護婦監督ノ事 看護婦課ハ看護婦監督ノ指導ノ下ニアリテ行動スヘキモノトス、蓋シ看護婦監督ノ權能ナルモノハ其地方長官ノ承認ヲ經テ適當ナル行動ヲ取ランカ爲メ部下ノ看護婦團ヲ統治スルモノ是レナリ、尙ホ此監督ハ巡回看護婦ヲシテ自カラ適當ナリト思惟スル行動ヲ取ラシムルコトヲ得ヘシ、然レトモ從來ノ習慣以外ノ突飛ナル行動ヲ取ラシメント欲スル場合ニハ其地方長官ノ承認ヲ經サルヘカラス

巡回看護婦監督ノ事 此種ノ監督ハ都合五名アリテ各々一管轄區ヲ受ケ持テテ之カ監督ヲ爲スモノトス、而シテ此一管轄區ニハ二十名乃至ヨリ以上ノ巡回看護婦アリテ監督ノ指導ノ下ニ行動スヘキモノトス、此監督等ハ毎日一學校若クハヨリ以上ノ學校ヲ巡回シテ、其監督ノ下ニアル巡回看護婦ノ行動ヲ視察センコトヲ要ス、又此等ノ監督ハ其部下ノ看護婦ノ勤惰ヲ視察シ、衛生官及校長等ノ協力ナキ場合ニ於テハ如何シテ其協力ヲ缺キタルヤヲ調査シ、且ツ宗教學校ノ協力ヲ得ンコトニ盡力センコトヲ要ス、其他新任ノ看護婦ニ對シテハ看護上ニ就テ訓諭スル所ナクンハアルヘカラス、又看護婦杯ヨリ差出シタル報告類ヲ仔

細ニ調査セサルヘカラス

巡回看護婦ノ事 此種ノ看護婦ハ總計一百五名アリ、内九十九名ハ學校衛生官ノ管轄區ニ於テ學校ト聯絡シテ行動スヘク任命サレ、二名ハ嬰兒保健課ノ業務ニ從事スヘク任命サレ、残り四名ハ特別ノ任務ヲ帶ヒ且ツ救濟事業ニ從事スヘキモノトス、此等ノ看護婦ハ皆ナ其業績ノ表ヲ作成シテ監督ノ許ヘ差シ出シテ検査ヲ受ケサルヘカラス、此等ノ看護婦カ其管轄區内ニ於ル諸學校ニテ行動スルニ就テハ其時間割ヲ最モ精密ニ整定シ置カサルヘカラス、即チ學校衛生官カ學生ノ身體検査ヲ行ヒ若クハ種痘ヲ爲スニ際シ助手ノ任務ヲ果スニ差シ支ヘナキ様豫メ其日時ヲ定メ置カサルヘカラス、又此等ノ看護婦タランモノハ其受持學校ノ學生全部ノ身體検査ヲ三ヶ月ニ一回検査センコトヲ要ス

又此等ノ看護婦ハ切疵、火傷及擦過傷等ニ罹レルモノアル時ハ、差シ當リ繃帶ヲ施コスヘク、又傳染性皮膚病即チ輪癬、疥癬、及小膿疱癬ニ罹レルモノヲ治療シ、又生虱病ニ係ル患者ニ對シテ適當ナル手當ヲ爲サンコトヲ要ス

其他巡回看護婦ノ職責トスヘキハ或ル學生ノ登校セサリシ場合ニ於テ、其學生ノ家庭ニ就テ其理由ヲ取リ糺スコト、此等ノ學生ノ傳染病ニ罹レル疑ヒアラン場合ニ其徑路ヲ取リ糺スカ如キコト是レナリ、又學生中麻疹ノ疑似患者トシテ學校ヨリ其家庭ニ送り歸ヘサレタル場合アランカ、斯ル場合ニ於テ看護婦ハ即日其家庭ヲ訪問シテ其幼童ヲ離隔センコトヲ其親達ニ忠告シ、而シテ三日以内ニ再ヒ訪問シ、其患者ノ容體

ヲ視ルニ麻疹ノ症候充分ナランニハ、其旨衛生局へ報告センコトヲ要ス

嬰兒保健課

嬰兒保健ノ事ハ最重要ナル事業ナルニモ拘ラス、市俄古市ハ此事業ヲ發達セシメンカ爲メニ必要ナル資金ヲ調達スルコトニ就テ、後レヲ取レルハ實ニ遺憾ト云フヘキナリ、是レマテ嬰兒保健事業ヲ成シタルモノハ概シテ市ノ力ニ依ルニアラス、嬰兒保健協會ノ力ニ依ラスンハアラス、蓋シ是レ公共心ニ富メル市民ノ寄贈ニ係ル資金ヨリ成リ立ルモノナリ

今此事業ヲ實行セシメタル機關ノ概略ヲ舉レハ左ノ如シ

い、衛生局

一、豫防、嬰兒アルヲ知リタランニハ其健康ヲ保全センカ爲メニ其母タルモノニ適當ナル心得ヲ訓諭スル事

ろ、其他ノ機關、豫防及救護

一、い、嬰兒保健協會

二、救護

(い)、郡醫

(ろ)、巡回看護婦協會

三、治療

(い)、天幕治療

(ろ)、施療所

(は)、衛生法

(に)、病院

四、補助機關

(い)、郡立機關

(ろ)、聯合慈善會

(は)、婦人俱樂部

衛生局 衛生局ノ嬰兒保健事業ニ力ヲ盡スコトハ實ニ微々タルモノト謂フヘキナリ、蓋シ之ニ關スル適當ナル手段方法ヲ得ルコト甚タ困難ナレハナリ、一千九百十四年ニ於テ衛生局カ此事業ニ利用シタル資金ハ僅カニ六千弗ニ過キス、翌年ニ至リテ其資金僅カニ増シタルモ尙ホ七千二百四十弗ニ過キサリシナリ、而シテ此等ノ資金カ如何ニ支出セラル、ヤトイフニ、夏季ニ於テ四ヶ所ノ嬰兒保健所及冬季ニ於テ二ヶ所ノ嬰兒保健所ヲ維持スルニ外ナラサルナリ、但シ今日ニ於テハ年ヲ通シテ三ヶ所ノ保健所ヲ開キ居レリ、而シテ此等ノ嬰兒保健所ニ於テハ一週間ニ一回午後三時相談會ヲ開キテ幼兒ノ身體検査ヲ行ヒ、而シテ何等

カノ異狀ヲ呈シ居ランニハ一々之ヲ備ヘ付ケアル帳簿上ニ記入シ、又此等ノ幼兒ニ給與スヘキ適當ナル衣食等ノ事ニ關シテ其親達ニ訓諭スヘキモノトス、而シテ此等ノ嬰兒保健所ノ掛員如何トイフニ、醫師、經驗ニ富メル看護婦及婦人付添人等是レナリ、中ニ就テ醫師ハ右相談會ノ開催中其職務ニ從事シ且ツ臨時患者ノ發生シタル場合ニ於テ、之カ通知ニ接スルト均シク出頭シテ其事ニ當ランコトヲ要ス、次ニ看護婦タランモノハ幼童ヲ夫々其家庭マテ連レ行キテ幼童ニ關スル衣服浴湯杯ニ就テ其親達ニ訓諭スル所アルヘク、且ツ嬰兒ニ適當ナル牛乳變造法ヲ教ヘ置カンコトヲ要ス

巡回看護婦カ小學校ト相聯絡シテ其任務ニ從事スヘキ年ノ七八月ノ交ナリトス、而シテ看護婦支部ナルモノカ六ヶ所ニ設ケラレ、各々看護婦長アリテ之ヲ取締ルモノトス、復此等ノ支部ト相聯絡シテ七十二ヶ所ノ團體アリテ何レモ看護婦之ヲ受ケ持チ居レリ、而シテ此等ノ看護婦カ嬰兒保健事業ニ最モ忙殺セラル、ハ夏季炎熱ノ候ニシテ、其功ヲ奏スルコト決シテ減少ナラサルナリ、今此嬰兒保健ノ好結果如何ト云フニ、下層人民中ニテ嬰兒ノ死亡率僅カニ一七%ニ過キササルナリ、之ヲ嬰兒保健事業ノ行ハレサル個所ニ比較センニ甚タ少ナキコトハ云フマテモナク、稍ヤ上流ナル階級ノ嬰兒死亡率ニ比スルモ尙ホ且ツ少ナキモノナリ

右ノ總論ニ據リテ之ヲ考フレハ看護注意ヲ要スヘキ患者ハ、重モニ嬰兒保健協會、巡回看護婦協會及衛生局等ノ行動ニ係ル部所ノ保護ニ屬スルコト知ルヘキナリ、然レトモ醫療ヲ要スヘキ患者ニ至リテハ郡醫、

施療所若クハ病院ノ力ヲ仰クモノト知ルヘシ

看護婦ノ訪問シタル各幼童ニ關スル記録「カード」ハ都合三枚ニ認ムヘク、而シテ其第一ハ之ヲ衛生局ニ送付シ、其第二ハ嬰兒保健協會最近ノ支部ヘ送付シ、其第三ハ看護婦自身ノ手元ニ保存スヘキモノトス

抑モ嬰兒保健事業ノ實行ヲ要スヘキ患者ノ大多數ハ下層貧民中ニ屬スルモノトス、此等ノ貧民ハ借家住居ニシテ多クハ狹隘ナル所ニ充溢スル程群居シ、其周邊ノ不衛生ナルコトハ固ヨリ論ナキナリ、且ツ嬰兒ノ餌食タル牛乳ハ不良ニシテ疾病ヲ醸成スヘキ原動力トモ云フヘキモノナリ、此ニ於テカ衛生局ナルモノハ斯ル兒童ノ保健事業ヲ實行スルノ機關タラスンハアラスト云フモ敢テ過言ニアラサルヘシ、蓋シ衛生局ハ不衛生ノ状態及牛乳供給等ノ事ニ關シテ嚴重ニ取締ルヘキハ今更云フヲ要セサルナリ、是レ一方面ヨリ觀察ヲ下シテ然ルニアラス、多方面ヨリ觀察ヲ下スモ亦是レ策ノ得タルモノト云ハサルヘカラス

嬰兒保健事業ヲ充分ニ實行セシメンニハ衛生局ヨリ豊カナル資金ヲ供給セサルヘカラス、私立慈善團體ヨリハ僅カニ之カ補助ヲ仰ク位ニシテ然ルヘキナリ、然ントモ斯ル要求ニ應スヘキ端緒既ニ開カレタレハ、此方面ニ向ツテ今ヨリ一層大ナル活動ヲ見ルハ遠キ將來ニアラサルヘキヲ信ス

今左ニ掲タル所ノ表ハ衛生局カ一千九百十四年中ニ於テ或ル限ラレタル範圍内ニ在リテ成シ遂ゲタル事蹟ヲ示セルモノ是レナリ

調査シタル新患者(二歳未満ノ幼兒)

再三訪問シタル者

見顯ハサレタル患者(二歳未満)

之ヲ細別スレハ左ノ如シ

- 急性腸炎 二四五
- 臨床的腸炎 二七
- 消耗症 六
- 尙 儂 八四
- 氣管炎及肺病 七一
- 皮膚病 五七三
- 眼病 二〇
- 判別セラレサルモノ 三六二

左ニ掲クル所ノ統計表ハ嬰兒ノ餌食ニ關スル衛生局ノ報告ニシテ一種ノ趣味アルモノナリ

母	乳	健康者	病者	計
		九、二三四	四四七	九、六八一

混和食餌	爲的食餌	生牛乳	消毒牛乳
六、六三七	四、九五七	六、三四九	二、七〇二
五、八五六	三、五五五	一、八四四	八五
七、二二三	五、三一二	六、五三三	二、七八七

嬰兒保健協會 嬰兒ノ健康ヲ保全スルニ就テ最モ與カリテ力アルモノハ此協會ノ雇人ノ行動ニ歸セスンハアラス、抑モ此協會ハ有志者ノ義捐金ヨリ成レル一ノ私立團體ナレトモ、既ニ其基礎鞏固ニシテ幼兒保健ノ事ニ就テハ貢獻スル所少ナカラサルナリ、此協會ニハ二十二ノ支部アリテ夫々活動ヲ爲シ居レルカ、一週間ニ二回若クハ三回ノ會議ヲ開キテ諸ノ事務ニ關シテ商議討論ヲ爲セリ、而シテ其重モナル目的ハ幼兒ノ疾病ヲ豫防スルニアリテ、其收容スルハ健全ナル幼兒ニ限ルコトナシ、若シ疾病ニ罹リタル幼童アラシニハ之ヲ郡醫、施療所及病院ヘ引キ渡スヘキモノトス、母タルモノカ其嬰兒ヲ携ヘテ此協會ノ支部ヘ來リタランニハ、之ヲ檢査シテ普通衛生上ニ關スル事、及幼兒ノ適當ナル養育方法等ヲ訓諭シ、且ツ支部ノ看護婦ハ其幼兒ニ附キ添フテ其家庭ニ入りテ幼兒ノ生活上諸ノ必要條件即チ衣服、浴湯及新鮮ノ空氣ノ必要ナルコト又食餌等ニ就テ母タルモノニ注意ヲ與ヘンコトヲ要ス、而シテ此等ノ母タルモノハ其幼兒ノ健康状態ニ就テ適當ナル各期間ニ斯ル支部ヘ報告センコトヲ要ス

此協會ノ重モナル目的ハ貧民社會ノ嬰兒ノ疾病ヲ豫防シ及死亡率ヲ減少セシメント欲スルニアリ、然レトモ是レ畢竟スルニ直接卑近ノ目的ニ過キス、尙ホ間接遠大ノ目的ト云フヘキモノハ嬰兒ノ母及姉妹ヲ訓誨

教諭シテ適當ナル嬰兒ノ保育看護法ヲ知ラシムルコト是レナリ、世ノ母タルモノ、無智ニシテ其子ノ適當ナル養育法如何ヲ知ラサルモノ多ケレハ、之ヲ訓誨教諭スルハ莫大ナル價值アルモノト謂フヘキナリ、僅々四ヶ年間ニ此機關ノ進歩發達シタルコトハ左ニ掲クル所ノ表ニ依リテ自カラ明ラカナルヘシ

年	次	支部ノ數	看護婦ノ數	保護ヲ受ケタル嬰兒ノ數	訪問度數
一九一一年	一〇	一〇	二、一二九	一六、七〇六	
一九一二年	一一	一一	三、四二二	三五、五二八	
一九一三年	一二	一二	三、六七八	四一、六四七	
一九一四年	一三	一三	六、八〇三	四八、五七三	

嬰兒保健ノ事ハ既ニ著シク發達シテ見ルヘキモノ少ナカラスト雖モ尙ホ未タ完全ナリト云フヲ得ス、支部看護婦、新鮮ナル空氣ノ流通スヘキ療養所及施療等皆ナ是レ増加スルノ必要ナクンハアラス

嬰兒保健ノ業務ニ關係セル人々ハ皆ナ是レ人ノ目ニ付キ易キ小形ノ標札ヲ携ヘ居リテ、其訪問シタル家々ノ戸口ニ貼付センコトヲ要ス、是レ嬰兒保健ニ關スル格段ナル掛員カ訪問シタルコトヲ證明スヘキモノニシテ、斯ク爲シ置キタランニハ同一種類ノ掛員ノ訪問スルコトナカルヘシ

小慈母俱樂部 嬰兒保健事業ニ關シテ將來望ヲ屬スヘキモノハ小慈母俱樂部ナルモノ是レナリ、抑モ此俱樂部ト云ヘルハ公立小學校ニ於ル六、七、八ノ三級生ヨリ組織セラル、モノニシテ一週間ニ一時間ツ、ト

シテ十二週間巡回看護婦カ左ノ如キ科目ニ就テ講述スルモノトス、曰ク家庭衛生、夏季嬰兒ノ看護、嬰兒ノ餌食、浴湯及衣服ニ關スル事、嬰兒疾病ノ手當及牛乳變造法等是レナリ

郡醫ノ事

郡醫ナルモノハ其性質ニ於テ毫モ衛生局ノ支配ヲ受クヘキモノニアラス、然レトモ此兩者ノ間ハ最モ親シキ聯絡ナカルヘカラス、殊ニ醫事視察局ト郡醫トハ其間極メテ親密ナル關係アルヘキハ今更贅スルノ要ナシ、下層貧民ノ患者ハ郡醫ノ治療ヲ受クヘキモノニシテ、今マ郡醫ノ行動ヲ容易ナラシメ以テ其効果ヲ舉ケシメンカ爲メニ、全市ヲ十七區ニ分チテ各區ニ一名ツ、ノ郡醫ヲ置クコト、セリ

醫事視察局ノ事務取扱方

醫事視察局ノ業務ハ數種ニ分レ居レトモ其組織大ニ其宜シキヲ得タルモノト謂フヘク、又其監督ノ如キモ衛生局中他ノ課ニ比スレハ一層善ク行キ屈キ居レリ

又此視察局ニハ數人ノ次長ナルモノアリテ諸ロノ部課ヲ能ク統治シ且ツ諸事ヲ裁決スル權能ヲ有セリ、傳染病豫防課ノ効力ヲ増加センカ爲メニ取りタル最重要ナル手段ノ一ハ、專ラ同課ノ業務ニ身ヲ委ヌヘキ監督ヲ置キタルコト是ナリ、但シ此監督ハ衛生官及檢疫官ノ爲シタル行動ヲ調査スルモノト知ルヘシ、而シテ此等ノ掛員ノ成シタル業績如何ヲ視レハ、同課ノ行動カ如何ニ敏活ナリシヤ如何ニ好結果ヲ得タリシカヲ知ルニ足ルヘキナリ

幼兒衛生課ノ行動ハ左マテ著大ナラスト雖モ、其過去及現在ノ結果如何ヲ視ルニ着々其歩ヲ進メ來リタルモノト謂フヘキナリ、此幼兒衛生課ニモ亦專ラ其業務ニ身ヲ委ヌヘキ監督ヲ置クノ必要ナルコトハ今更言フヲ要セサルナリ

一千九百十四年ニ於ル衛生局ノ活動

左ニ掲クル所ノ表ハ一千九百十四年ニ於ル衛生局ノ活動ヲ示スモノナリ

傳染病豫防課

報告サレタル患者數

腸窒扶斯	一、一八一
痘瘡	七〇
假痘	三、七三五
麻疹	四、三九一
日耳曼麻疹	三四一
猩紅熱	四、五一八
百日咳	五、三一七
實布埜里亞	七、〇七一

實布埜里亞傳播者

丹毒	二、六〇八
耳線炎	七八二
恐水病	二、七五九
結核病 諸症	一〇、〇〇九
眼炎	三〇
腦脊髓膜炎	九九
嬰兒麻痺症	五三
肺病	六、四二二
檢疫及消毒	
貼札セラレタル家屋	二一、三二一
檢疫的訪問	五一、七一
消毒シタル家屋	一一、五〇二
消毒シタル室	三三、二八三
傳染病ノ視察	一一、三〇三

疑似傳染病ノ視察

検査シタル咽喉

診察検査ニ關スル訪問

觸接者検査ニ關スル訪問

最終検査ニ就テノ訪問

種痘

衛生官ノ巡回

幼兒衛生課

學校總體ノ訪問

検査サレタル學生

見出サレタル傳染病

登校ヲ禁シラレタル學生

検査(身體ノ)ヲ受ケタル學生

缺點ヲ見出サレタル學生

治療ヲ受クヘシト注意サレタル學生

二三八

一〇、一八九

三七、三三一

一、〇一八

二、七九五

一二、二二四

五三、三〇二

五〇、〇七三

八一、二九九

九八七、〇五六

五三、〇九九

一三、七七七

七五、四七六

四五、一七六

三五、四二七

齒科ノ検査ヲ受ケタル學生

齒牙ノ缺點ヲ見出サレタル學生

齒科醫ノ治療ヲ受ケタル者ノ全數

全部ノ充填

齒科的冠部及架橋術

抜齒サレタル者

巡回看護ノ業績

學校總體ノ訪問

學童全體ノ検査及再検査

發見シタル傳染病患者ノ全數

其筋ヘ報告シタル疑似患者ノ數

恆例的検査數

學童繙帶ノ全數

臨時繙帶ノ全數

治療ヲ受ケタル幼童ノ全數

一九、八二三

一九

二一、九〇五

五五、六二五

一三、五八六

一五、五九八

五五、二一四

六九六、七三九

六、一三二

二、三三六

三〇三、五六七

二四二、八九二

三二、七〇二

七六、八六七

二二九

家庭治療ノ全數

二四〇

治療ノ爲メ施療所ニ入レタル學生ノ全數

一、八〇九

身體ノ或ル缺點ヲ治療セン爲メニ召喚シタル者ノ全數

二一、九四三

齒以外ニシテ且眼鏡ヲ用ヒシメンカ爲メ召喚シタル者ノ全數

七八、〇二八

眼鏡ヲ用シノメンカ爲メニ召喚シタル者ノ全數

一、二七八

巡回々數ノ全數

一、八二六

飲食物検査局

九五、一七五

此飲食物検査局ハ局長及次長ノ下ニ其事務ヲ取扱フヘキモノニシテ、其事務所ナルモノハ書記長一名、之ニ隸屬セル書記七名及速記者一名ヨリ組織セラル、モノトス、此外一名ノ獸醫學士アリ是レハ農業地監督ノ任務ヲ帯ヘルモノニシテ其勤務時間ヲ二様ニ區別セリ、即チ局務ニ従事スル時ト其管轄區内ノ業務ニ従事スルモノ是レナリ、而シテ局長、次長及獸醫學士ハ各一名ノ速記者ヲ使用スヘキモノトス、又管内巡回課アリ是レハ視察官及視察官監督ヨリ組織セラル、モノトス
法律及訓令 飲食物検査局ヲシテ適當ナル行動ヲ取ラシムヘキ訓令アリ、今其ノ訓令ノ規定スル所ヲ略叙スレハ左ノ如シ

苟クモ牛乳ヲ販賣セント欲スルモノハ個人ナルト團體ナルトヲ問ハス、皆ナ是レ其筋ヨリ免許證ヲ受ケ

サルヘカラス、其他牛乳販賣ヲ主トスル商店、小屋及荷車等モ亦是レ同様ノ手續ヲ踐マサルヘカラス、又之ニ使用スル車ニハ其事務所ノ名及所番地ヲ記シ置クヘク、其外金屬製ノ板ニ『市俄古』及『牛乳』ノ文字ヲ示シタルモノト免許證ノ番號ヲ付シ置カサルヘカラス

凡ソ市俄古市ニ船荷トシテ來着セル牛乳、「クリーム」、若ハ「コンデンスミルク」等ハ皆ナ是レ罐詰ニシテ荷主ノ金屬製ノ封印ナカルヘカラス、若シ此等ノ手續ニ從ハスシテ來着シタルモノアランカ、斯ルモノハ何人ト雖モ之ヲ販賣シ又取扱フコトヲ得ス

罐詰ニシタル牛乳ハ其罐ノ上部ニ製造人ノ名ヲ記シ置カントコトヲ要ス、又種々ノ物品ヲ販賣スル側ニ牛乳ヲ販賣スル商店ハ、其牛乳ノ容器ヲ最モ嚴重ニ密封シ置カサルヘカラス、但シ其容器ハ衛生委員ノ承認ヲ經タルモノナランコトヲ要ス

牛乳罐若ハ牛乳罐ハ空罐空罐トナリタルト共ニ善ク之ヲ洗ヒ、且ツ再ヒ之ニ牛乳ヲ詰メ込マサルニ先ンシテ消毒法ヲ行ハサルヘカラス、又冷蔵庫其他牛乳ヲ貯ヘ置ク所ハ常ニ清潔ナラシメ、苟クモ牛乳ノ性質ヲ害スヘキモノヲ併セ置クヘカラス

又一ノ訓令ヲ以テ左記ノ如キコトヲ規定セリ、曰ク凡ソ検査ヲ受ケタル牛乳ニ屬セサル牛乳ハ皆ナ是レ殺菌法ヲ施コサ、ルヘカラス、又『検査済牛乳』ト云ヘルハ七〇%以上ノ定數ヲ有スル田園ノ製出ニ屬セサルヘカラス、尙ホ十月一日ヨリ五月一日マテ一立方センチメートルニ付十萬以上ノ細菌ヲ有スヘカ

二四一

ラス、五月二日ヨリ九月三十日マテ同シク十五萬以上ノ細菌ヲ有スヘカラス、且ツ検査濟「クリーム」ト云ヘルハ十月一日ヨリ五月一日マテ一立方センチメートルニ付十五萬以上ノ細菌ヲ有スヘカラス、五月二日ヨリ九月三十日マテ同シク三十萬以上ノ細菌ヲ有スヘカラス、凡ソ牛乳業ヲ營マンモノハ諸事清潔ヲ貴ハサルヘカラス、即チ使用スル桶等ハ豫シメ消毒セサルヘカラス、既ニ搾取シタル牛乳ハ直チニ厩舎ヨリ之ヲ取り出シテ濾過シテ華氏五十五度若ハ夫レヨリ以下ニ冷却セシメンコトヲ要ス

検査濟ノ牛乳ハ其罐ノ表面ニ「検査濟牛乳」ト記スヘク、又タ罐ニ詰メタル者ノ氏名ト月日トヲ表記センコトヲ要ス、斯クテ検査濟ノ牛乳ハ合衆國政府ノ衛生局ニ送付セラレテ一應獸醫學士ノ手ヲ經過セサルヘカラス

此標準點ニ合格セサル牛乳ハ殺菌法ヲ行ハサルヘカラス、而シテ衛生局ニ於テ検査センコトヲ要ス、蓋シ殺菌法ヲ行フタル牛乳ノ標準點ハ十月一日ヨリ五月一日マテ一立方センチメートルニ付五萬ノ細菌ヲ有シ、五月二日ヨリ九月三十日マテ同シク十五萬ノ細菌ヲ有シテ妨ケナキモノトス、尙ホ引キ續キテ牛乳及「クリーム」ノ殺菌法ヲ行ハンニハ、生牛乳等ニ含メル細菌及總テノ病原菌ノ九九%ヲ滅殺スヘキ温度ニテ熱セサルヘカラス、所謂ル其温度ハ華氏百四十度ニテ二十分間若クハ同シク百五十五度ニテ五分間熱セシムヘキモノトス

殺菌法ヲ行フタル牛乳ハ殺菌法ヲ行フタルコト、之ヲ行フタル月日トヲ表記センコトヲ要ス

完全ナル牛乳ノ標準點ハ左記ノ如キ成分ヲ有シ居ランコトヲ要ス、曰ク固形ヲ有スルコト一二%ヲ下ラス、乳酪の脂肪ヲ有スルコト三%ヲ下ラス、水液ヲ有スルコト八八%ヨリ多カラサルコト是レナリ、又タ「クリーム」ノ標準點ハ乳酪の脂肪ヲ有スルコト一五%ヲ下ラサルモノ是レナリ、然ルニ斯ル標準點ヨリ下等ノモノヲ販賣スルモノハ犯則者トシテ過料ニ課セラル、モノトス

脱脂乳ハ之ヲ罐詰ニシテ船積ニセントスル場合ニハ、赤色ニテ「脱脂乳」ト表記セサルヘカラス

牛乳及「クリーム」市俄古市ニ輸入シ來ルカ若クハ此所ヨリ彼所ヘ輸送セントスル場合ニハ、其温度華氏五十五度ヨリ高カルヘカラス

牛乳搾取所、牛乳配達所及牛乳店等ノ使用人若ハ此等ノ家族中ニ傳染病ニ罹ルモノアランカ、斯ル場合ニ於テハ此等ノケ所ヨリ他ニ牛乳ヲ送付シ若ハ販賣スルコトヲ得ス

牛乳ニ他物ヲ混和シ、一種ノ着色ヲナシ若ハ耐久法ヲ施コスコトヲ禁ス

醸造所若ハ製醋所等ノ渣滓ヲ以テ牝牛ノ飼料ト爲スヘカラス、牝牛ノ分娩十五日前若ハ分娩後一週間ヲ經過セサル乳汁ハ之ヲ販賣スルコトヲ得ス

又タ製氷業取締規則及之カ監督ニ關スル條例アリテ、或ル水源ヨリ製造シタル氷ハ其販賣ヲ禁止スルコトアリ、其他製氷所及氷貯藏所等ヲ視察ルヘキ規定等設ケラレタリ

炭酸水、舍利別若ハ或ル香料精杯ノ製造業ニ従事スルモノハ其筋ヨリ免狀ヲ受ケサルヘカラス、而シテ
 斯ル製造所ノ床ニハ適當ノ材料ヲ用ヒサルヘカラス、且ツ其構内ハ清潔ニセンコトヲ要ス、又衛生上有
 害ナリト思惟セラル、箇所ニ此等ノ製造所ヲ設立スヘカラス、且ツ厩舎杯ニ接近シテ事務室杯ヲ設クヘ
 カラス、鑿詰工ヲ爲スヘキ室内ニ適當ニ空氣流通シ適當ニ光線射入センコトヲ要ス、又五月一日ヨリ十
 一月迄ノ間ニ全部ノ窓及戸杯ヲ開放シテ大掃除ヲ爲サン事ヲ要ス
 肺病、花柳病若ハ傳染性皮膚病ニ罹ル者ハ右ノ如キ業務ニ従事スルコトヲ得ス、此外腸窒扶斯、實布埜
 里亞、痘瘡、假痘若ハ猩紅熱ニ罹レルモノ或ハ斯ル患者ノ回復期ニ向ヘルモノモ亦然リトス、又此等ノ
 疾病ノ發生シタル家屋内ニ住居セルモノハ、檢疫及消毒法ノ實行セラル、ニアラスンハ外出スルコトヲ
 得ス

食物市場、料理店、屠畜所等ヲ開カント欲スル者ハ必ラス其筋ヨリ免狀ヲ受ケサルヘカラス
 屠畜ノ方法、野獸、其他魚鳥類ニ關スル訓令出テ、屠殺スヘキ場所ト日時トヲ其筋ヘ届ケ出テシメ、
 其筋ヨリ衛生的視察ト取締ヲ爲スヘキモノトス
 果物、莓類其他野菜類ヲ荷造リシテ之ヲ運搬セントスルニハ夫々訓令規定ニ從ハサルヘカラス、若シ此
 等ノ果物野菜類ニシテ腐敗シ若ハ不良ナルモノアリタランニハ夫々處罰セラルヘキモノトス
 又冷蔵庫取締ニ關スル訓令アリ、冷蔵庫ハ世人ノ善ク知ル如ク種々ノ食料品ヲ貯ヘ置ク所ニシテ、衛

生上ニ關係スルコト大ナレハナリ

「ビール」等ヲ鑿詰ニスルケ所ヲ取り締ルヘキ訓令アリ、是レ亦衛生上忽カセニスヘカラサル所ナレハナ
 リ

此外麵麩製造所ヲ取り締ルヘキ法令アリテ、其製造所ノ所在地ノ有様及其構造等ヲ視察シ、麵麩ノ原料
 等傳染病々毒ニ感染セシメサル様取り締ランコトヲ要ス

牛乳検査ノ事

一千九百十二年ヨリ以前ハ牛乳製造所、牛乳貯藏所及細菌滅殺法等ニ關シテハ特別ノ法令之レナカリシヲ
 以テ、其取締法甚ハタ不行届ナルハ自然ノ數ニシテ亦如何トモシ難キナリ、今マ牛乳視察ノ事ヲ論究セン
 トスルニ際シテ左記ノ項目ニ分チテ之ヲ叙述センハ至當ノ事ト云フヘキナリ、い、製乳所、ろ、市牛乳視
 察ノ如キ是レナリ

地方牛乳製造所視察ノ事

日々市俄古ニ供給セラル、牛乳及「クリーム」ハ三十五萬三千「ガロン」(一「ガロン」ハ凡ソ我二升一合ニ
 當ル)ニシテメリノイス、ウ井スコンシン、インジアナ等ノ諸州ニ於ル一萬四千ノ牛乳製造所ノ製出ニ係
 ルモノナリ、而シテ其市俄古市ニ輸入サル、手順如何ト云フニ、四ヶ所ノ電車鐵道ト十九ヶ所ノ汽車鐵道
 ヲ經由シテ八十一ヶ所ノ「ブラットホーム」ニ着シテ市俄古市ニ運ヒ込マル、モノナリ、此等ノ牛乳製出ノ

目的ヲ以テ飼養セラル、牝牛ハ五十萬頭ニシテ内殆ント三十萬頭乳汁搾取ノ用ニ供セラル、モノトス、但シ斯塔莫大ナル牛乳ノ大部分ハイリノイス及ウ井スコンシンノ製出ニ係リインジアナ第三ニミシガンハ第四ニ位セリ、或ハオハサオ及アイオワ地方ヨリ「クリーム」ヲ船積ニシテ輸入スルコトアリト雖モ、畢竟スニ是レ恒例トセル供給ノ不足ヲ補フニ過キササルナリ

市俄古市ト牛乳製出所トノ平均距離ハ四十五哩ニシテ最モ遠ク隔タリタルハ百三十哩ナリシカ、牛乳全部ノ八〇%ハ市ノ周邊六十哩以内ヨリ供給セラレ、其他市ヨリ僅カニ數哩隔タリタル製乳所モ少ナカラサリシナリ

市外ニ小規模ノ製乳所七ヶ所アリテ乳牛殆ント二百頭アルヘキナリ、其外僅カニ一二頭ノ乳牛ヲ飼養スル家庭モ幾千カ之レアルヘケレハ、市内ニ於ル乳牛殆ント八百頭アルヘキナリ、但シ市内ニ於テ乳牛ヲ飼養セント欲スルモノハ勿論其筋ノ許可ヲ受ケサルヘカラス

當地方ヲ分チテ十五區トナシ之ヲ牛乳管轄區ト云フ、每區平均殆ント五百三十三ヶ所ノ製乳所ヲ包有シ各一ノ検査官アリテ其管轄區内ノ牛乳製造所、「クリーム」製造所及細菌滅殺法等ヲ検査スヘキモノトス、且ツ此検査官ハ其検査シタル狀況ヲ報告センカ爲メニ合衆國農務省ノ考案ニ成レル検査「カード」ヲ利用センコトヲ要ス

抑モ牛乳製造所等検査ノ事ハ一千九百十四年ヨリ始マレルモノニシテ、當時極メテ精密ナル斯ル地方ノ地

圖ヲ作成シ以テ検査官ノ検査ニ便益ヲ與ヘタリシカ、各検査官ハ其管轄内ニ於ル全般ノ牛乳製造所検査ニ就テ自カラ責任ヲ有セサルヘカラス、又更ニ其筋ヨリ此等ノ検査官ニ對シテ牛乳製造所ノ精密ナル所在地及其員數等ヲ報告センコトヲ要求セリ、是レ其各地方ニ於ル牛乳業ヲ圖解ニシテ一目ノ下ニ瞭然タラシメシカ爲メナリ

一管轄區内ニ牧場ノ數九百三十三ヶ所アリト見積リ、而シテ検査官カ適當ニ検査ヲ行ハンニハ一週間ニ就テ僅カニ四十ヶ所ニ過カサルヘシ、此ニ於テカ一ノ牧場ノ検査ヲ受ケンハ一ヶ年間ニ僅カニ二回ニ過キサシコト知ルヘキノミ、斯ク検査ト検査トノ中間カ長カラシニハ到底満足スヘキ検査ノ行ハルヘキモノニアラス、試ミニ視ヨ牛乳ノ良否ハ之ヲ製出スル方法手段ノ其宜シキヲ得タルト否ラサルトニ歸セサルヘカラス、其方法手段ノ宜シキヲ得ルト得サルトハ營業者ノ之ニ關スル智識如何ニ關セスンハアラス、而シテ此等ノ智識ヲ養成センハ検査官ノ訓誡指導ニ依ラサルヘカラス、此ニ於テカ検査官ヲ増加シテ検査ノ度數ヲ増スヘキ必要アリト謂フヘキナリ

今マ最近二ヶ年間ニ亘リテ二百ヶ所ノ牛乳製出所ニ就テ、第一回ノ検査ヨリ再検査マテニ經過シタル期間ヲ調査シタルニ左ノ如キ結果ヲ得タリ、曰ク此二百ヶ所ノ中六十ヶ所ハ再検査ヲ受ケス、残り百四十ヶ所カ再検査ヲ受ケタル次第ナルカ、是レトモ再検査マテノ期間ハ平均六ヶ月六一ニ當レリ

第一表

二百ヶ所ノ牛乳製出所ニ關スル検査ト検査トノ中間ニ經過シタル時月

(一九一四年ノ調査)

經過シタル月數	牛乳製出所ノ數	經過シタル月數	牛乳製出所ノ數
一	一	十二	七
二	九	十三	一
三	廿五	十四	一
四	廿二	十五	二
五	十九	十六	二
六	八	十七	一
七	五	十八	一
八	八	十九	一
九	十二	再検査セサルモノ	六十
十	六	計	二百
十一	九		

検査官ノ検査シタル後全體ノ有様ヲ大ニ改良セサルヘカラストノ命令ヲ與ヘ、及牛乳取扱上爾々ノ事アルヲ改メサルヘカラストノ命令ヲ下シタルモ、其後斯ル命令ヲ遵奉シテ改良シタルヤ否ナヲ實見センカ爲メ

來ラサルコト、珍ラシカラス、既ニ検査後數ヶ月ニ亘ルモ尙ホ且ツ再検査トシテ來ラス幾ヶ月間モ其儘ニ打テ棄テ置キタル牛乳製出所少ナカラサルナリ、或ハ検査官カ牛乳營業者ニ向ツテ爾カ爾カノ點ヲ改良スヘシ、愈ヨ此命令ニ從ツテ改良スヘシトノ誓詞ヲ述ヘタランニハ、從前ノ通り引キ續キテ牛乳ヲ船積ニシテ市俄古市ニ送致スルコトヲ得ヘシ、否ラスンハ營業ヲ閉鎖セシムヘシト言ヒ渡シタル場合アリトセンカ、斯ル言渡ハ其後再ヒ検査ニ來リテ命令通り實行シ居ルヤ否ナヲ見定メテ初メテ効力アルヘケレ、然ルニ少數ノ検査官ニテハ再検査ハ到底行ハルヘカラサルヲ如何セン、牛乳營業者ハ斯ル事情ヲ善ク知り居ルカ故ニ右ノ如キ命令ヲ用ヒスシテ矢張り營業ヲ繼續スル弊ナクンハアラス

凡ソ牛乳事業ノ検査ヲシテ効力アラシメンニハ成ルヘク頻繁ニ出張シテ検査セサルヘカラス、中ニ就テ一且検査官ヨリ爾カノノ改良ヲ必要ナリト營業者ニ申シ渡シタル以上ハ、成ルヘク速カニ再ヒ検査ニ赴キ得ヘカラシムル様取リ計ハサルヘカラス、検査官ニハ最モ精密ナル検査ヲ行ハシメンカ爲メニ充分ナル時日ヲ與フルコト、シ、殊ニ検査官ノ最モ注意スヘキ事柄如何ト云フニ、牛乳營業者ヲシテ牛小屋、牛乳貯藏所ヲ改良セシメ、牛乳取扱上清潔ヲ專ラトシ、且ツ之ヲ冷却セシムル等ニ就テ適當ノ訓諭ヲ爲スカ如キコト是レナリ、抑モ検査官ヲ任命センニハ最モ適當ノ人物ヲ選擇セサルヘカラス、斯ク適任ノ検査官カ一ノ牛乳營業者ニ對シテ三十分懇ロニ訓諭シタル結果ハ、粗漏ノ検査官カ五六ヶ所ノ牛乳製造所ヲ検査シタル結果ニ優レル所ナクンハアラス、適任ニシテ注意深キ検査官ハ其管轄區内ニ於ル牛乳業ノ狀況ヲ最モ善

ク知悉シ居ルモノナリ、即チ爾々ノ牛乳營業者ハ諸事善ク整頓シテ不都合ナル點甚タ少ナキカ故ニ、從ツテ検査ノ度數モ少ナクシテ妨ケナカルヘシ、然レトモ斯クノケ所ハ數々検査セサレハ如何ナル不都合ヲ生センモ測リ知ルヘカラス、而シテ斯ク劣レルモノヲ平準點マテ引キ上ケンニハ如何ニシテ然ルヘキヤ等ノ事ヲモ辨ヘ居ラスンハアラス、検査度數ナルモノハ通常平均年二三回ナリトス、然レトモ牛乳製造所ノ衛生狀態其他ノ點ニ於テ不都合ナルコトアリト認メタランニ毎二ヶ月乃至每三ヶ月ニ検査センコトヲ要ス、今マ予ノ考フル所ヲ以テセンニ數多ノ牛乳製造所ヲ適當ニ検査センニハ尙ホ十名ヲ増加シテ都合二十五名ノ検査官トナスヘキ必要ナクンハアラス、但シ其内一名ノ監督ヲ置カンコトヲ要ス

一千九百十年ヨリ一千九百十四年ニ至ルノ期間ニ於テ報告サレタル五百ヶ所ノ牧場ノ優劣ハ之ヲ表ニシテ示サンニ、此表ヲ一覽シタランモノハ直チニ其最高キモノト最低キモノトノ間ニ甚ハタシキ差アルコトヲ見ルヘキナリ、乃チ牛乳ノ優劣平均ノ度合如何ト云フニ、一千九百十年ニ於テハ五・一・一八%ナリシカ

一千九百十四年ニ至リテハ進ンテ五六・四一%トナリタルカ如キ是レナリ

牛乳ノ検査標準點ハ甚タ高キカ故ニ之ニ合格スルモノ左マテ多カラサルナリ、實際検査ノ目的トスル所ハ細菌ヲ滅殺セシメントスルニアリテ、市俄古市ニ於テ費消セラルル牛乳ノ一八%ハ不合格ノ中ニ屬スルモノト知ルヘシ、今左ニ掲クル所ノ三表ハ牛乳ノ優劣程度ヲ示スモノナリ

第二表

一千九百十年ヨリ一千九百十四年ニ至ルノ期間ニ於ル五百ノ牛乳牧場ノ優劣

年次	二〇%より	三〇%より	三三%より	三六%より	四一%より	四六%より	五一%より	五六%より	六一%より
一九〇一年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一九〇二年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一九〇三年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一九〇四年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一九〇五年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一九〇六年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一九〇七年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一九〇八年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一九〇九年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一九一〇年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平均優劣%	—	—	—	—	—	—	—	—	—

年次	優			劣			平均優劣%
	最	小	大	最	小	大	
一九〇一年	—	—	—	—	—	—	—
一九〇二年	—	—	—	—	—	—	—
一九〇三年	—	—	—	—	—	—	—
一九〇四年	—	—	—	—	—	—	—
一九〇五年	—	—	—	—	—	—	—
一九〇六年	—	—	—	—	—	—	—
一九〇七年	—	—	—	—	—	—	—
一九〇八年	—	—	—	—	—	—	—
一九〇九年	—	—	—	—	—	—	—
一九一〇年	—	—	—	—	—	—	—
平均優劣%	—	—	—	—	—	—	—

第三表

一九一四年、於ル検査済牛乳ヲ供給スル五百ノ牛乳牧場ノ優劣

二五二

優	劣	數	優	劣	數
三一%	四〇%	三	八一%	九〇%	一
四一%	五〇%	四	計		五〇〇
五一%	六〇%	一五五			
六一%	七〇%	二七一	平均優劣%		六二・八四
七一%	八〇%	二六			

法令ニ依リ左ノ如キ事ヲ規定セリ、曰ク凡ソ牧場ニシテ検査ヲ受ケタランモノハ六ヶ月毎ニ其旨届出テンコトヲ要ス、但シ此届出ニハ検査證ナルモノヲ添付スヘク、而シテ此検査證ニハ牝牛ハ適當ナル權能ヲ有スル獸醫ノ検査ヲ受ケテ結核病ニ罹リ居ラサル旨記載アラントヲ要ス、蓋シ此獸醫タラン者ハ衛生局ノ役員ニシテ牧場ノ検査及一般ノ牛乳營業ヲ取り締ルヘキ任務ヲ有スルモノトス、獸醫ニシテ検査ノ結果不都合ナリト認メタラン事柄ハ營業者ヲシテ改メシメンコトヲ要ス

監督検査官ナルモノハ其管轄内ニ於ケル牛乳營業ニ就テ專ラ其身ヲ委ネンコトヲ要ス、當市ニ於ケル停車場牛乳取扱所、牛乳集配所及ヒ細菌滅殺装置等皆ナ其取締ニ屬スヘキモノトス

夏季ニ際シテ牛乳製出所カ適當ニ牛乳ヲ冷却セシムルモノハ甚タ少ナキモノナリ、是レ他ナシ冷却用トシテ氷ヲ用フルモノ甚ハタ少ナク水ヲ代用スルモノ多ケレハナリ、夜間搾取シタル牛乳ハ概シテ冷ヤカナレトモ朝ノ分ハ然ラス、搾取シテ後間モナク之ヲ罐詰ニシテ送り出シ鐵道使ニ託スルカ故ニ冷却スルノ餘地ナキナリ

運搬ノ事 夏季中牛乳ヲ汽車積ニシテ市俄古市へ運搬スルハ其宜シキヲ得タルモノニアラス、規則上ニテハ市俄古市へ運搬シ來ル牛乳ハ華氏ノ五十五度若ハヨリ低キ温度ナラサルヘカラスト定メラル、ト雖モ、實際罐詰杯ノ牛乳ハ左マテ低温度ノモノニアラス、假令ヘ冷シキ日ト雖モ行程短カラシニハ温度必ラスニ三度登リ居ルヘキナリ、天候熱シ居ランニハ一層高キコト知ルヘキノミ

汽車積ノ牛乳ヲ冷却セシメンコトハ殆ント衛生局ノ力ノ及ハサル所ナリ、此温度ニ關スル規則ノ發布當時ハ犯則ノ訴訟十四件起リタルコトアリシカ、今日ニテハ殆ント實行セラレサリシナリ、愈ヨ之ヲ實行セメンニハ更ニ何等カノ法令ヲ發セサルヘカラス

牛乳營業者ノ側ノ言フ所ヲ聞ケハ荷造ヲシテ發送スル際ニハ確カニ規定ノ温度ナリシカ、汽車ニテ運搬セラル、途中更ニ温度ノ加ハリタルニ相違ナシト、是レ竟畢スルニ遁辭タルニ過キス

市ノ牛乳検査

俄市古市ニ輸入セラル、牛乳ハ左記ノケ所ニ於テ検査セラル、モノトス、曰ク (い)牛乳ノ着スル「ブラツトホーム」(ろ)、牛乳集配所、及(は)殺菌装置所等是レナリ

二五三

「ブラットホーム」ニ於ケル牛乳検査ノ事、牛乳ノ大部分ハ「ガロン」入ノ罐詰ニシテ船積トナシ午前九時ヨリ十時三十分マテノ間ニ「ブラットホーム」ニ受ケ卸サル、モノトス、而シテ之ヲ卸ス所ノ「ブラットホーム」ハ都合八十一ヶ所アリテ日々各「ブラットホーム」ニ受クル所ノ量ハ一百罐乃至六百罐ト算セラル、斯クテ検査官ノ牛乳ヲ検査スル方法如何ト云フニ、鐵道列車内ニ入り込シテ検査スヘキモノトス、但シ時間ノ許ス限リ検査スヘキモノニシテ其検査トシテ重モニ注意スヘキ點ハ、罐詰ノ封シタル模様如何、又々此等ノ罐ノ清潔ナルヤ否ナ等是レナリ、然レトモ記者ノ考フル所ヲ以テスレハ「ブラットホーム」ノ數八十一ヶ所アリテ、此等ノヶ所ニ來着スル所ノ牛乳ハ甚ハタ多量ナルカ故ニ、少數ノ検査官ニテハ到底充分ノ検査ヲ行フコト能ハサルヘシ、即チ「ブラットホーム」ノ検査ニ從事スル検査官五名アリ、僅カニ此五名ノ検査官ニテハ充分ナル検査ノ行ハルヘシトハ望ミ得ヘカラサルナリ

夏季ニ際シテハ牛乳ノ温度如何ヲ検査シ冬季ニ在リテハ々折沈澱物如何ノ検査ヲ爲サンコトヲ要ス、今日ニテハ「ブラットホーム」ニ於テ牛乳ニ就テ化學的若ハ細菌學的検査ヲ行フコトハ甚タ稀レナリト謂フヘキナリ、然レトモ若シ検査官ノ員數ヲ増加シテ其事ニ當ラシムルコト、ナランカ、牛乳ニ就テ化學的若ハ細菌學的検査ヲ行フコト今一層多カルヘキナリ

予ハ既ニ數ヶ所ノ「ブラットホーム」ヲ視察シタルニ其検査ノ充分ニ行キ届キ居ラサルコトヲ實見シタリ、其検査ヲ充分ニ行キ届カシメント欲セハ検査官ノ員數ヲ増加セサルヘカラス、乃チ今三名ヲ増加シ都合八名ノ検査官トナシタランニハ、其検査一層行届クニ相違ナカルヘキナリ

牛乳製造所検査ノ事、市俄古市ヲ分チテ十四ヶ所ノ牛乳取締區トナシ其各區ニ一名ツ、ノ検査官ヲ置クト、ナシ、其検査官ノ職責トスル所ハ概ネ左ノ如シ、曰ク牛乳製出所、牛乳ヲ積載スヘキ荷車及殺菌裝置等ノ實況ヲ視察シ、且ツ牛乳製出所全般ノ衛生状態ヨリ牛乳取扱法ノ適否如何等ヲ視察スル事ニ其全力ヲ傾注スルカ如キコト是レナリ

市俄古市ニハ牛乳製出所一千五十ヶ所及殺菌裝置ノヶ所二百四十六ヶ所ノ多キニ及ヘリ、而シテ所謂牛乳製出所ナルモノハ牛乳ヲ搾取シテ之ヲ販賣スルヶ所ニ過キサルナリ、中ニ就テ之ヲ販賣センニハ専用タルヘキ一室ナカルヘカラス、予ハ市ノ各方面ニ於ル牛乳製出所ヲ巡視シタリシカ、其巡視シタルヶ所ハ甚タ多數ニシテ其内最モ人ノ注意ヲ引キタリシハ、其多數カ外國人ノ手ニテ販賣セラル、小規模ノモノニシテ日々少量ノ牛乳ヲ販賣スルニ過キサルナリ、蓋シ此等ノ外國人ハ些少ツ、ノ金錢ヲ貯ヘテ終ニ三鐘乃至五鐘ヲ購入スヘキ金額ニ達シタランニハ直チニ之ヲ購入シテ賣リ捌カント欲スルモノ多キニ依レリ、牛乳小賣業者ノ有様斯クノ如キ次第ナルカ故ニ、總テ牛乳取扱上ニ關スル清潔ノ度合得テ想像スヘキノミ、今實例ヲ擧ケテ之ヲ言ハンニ或ル地方ニ於テハ牛乳製出所中少ナクモ三〇%ハ閉鎖セシムルノ止ムナキニ至リ、衛生状態ノ最低度ニ相當スルモノ五〇%以上ニ登ラサリシナリ、勿論他ノ方面ニ於テハ衛生状態稍ヤ優等ナルモノナキニアラスト雖モ、概シテ之ヲ言ヘハ改良スヘキ點尙ホ多大ナリト謂ハサルヘカラス、

即チ規模大ニシテ衛生上ノ設備一層善ク整フタルモノ設立セラレ、從ツテ小規模ノモノ之ト競争スルコト能ハスシテ倒ル、ニ至レハ牛乳業ニ取リテ喜フヘキ顯象ト云ハサルヘカラス、現ニ五十ヶ所ノ牛乳製出所カ費消セラル、牛乳全部ノ五〇%ニ當レリト云フ、小規模ノモノ如何ニ倒レタルカヲ測知スルニ足ルヘキナリ

衛生局カ非衛生的牛乳製出所ヲ閉鎖セシムルニ就テ多少ノ困難アリシハ亦タ疑フヘカラサル事實ナリ、然レトモ改良方法ニ從ツテ面目ヲ一新シタルモノモ亦タ少ナカラサルナリ

検査官ハ一ヶ月間ニ一回ハ其管轄内ノ牛乳製出所ヲ殘リナク巡回スヘキモノトス、然レトモ或ハ此等ヨリ以上頻繁ニ巡視スヘキ所ナクシテハアラス、蓋シ一ノ検査官ノ爲スヘキ業務ノ最モ少ナキ程度如何ト云フニ、一週間ニ就テ第一回ノ検査ヲ爲セルヶ所三十ヶ所、化學的検査ニ付スヘキ牛乳及「クリーム」ヲ收集スルコト六十五個及細菌學的検査ニ付スヘキモノ七個ナランコトヲ要ス、尙ホ之ヲ換言スレハ検査官一週間ニ爲シ遂クヘキ業務如何ニ少量ニ見積ルモ右ノ如クナラサルヘカラス

斯クテ此等ノ牛乳及「クリーム」ニシテ検査ノ結果規定ニ合格セサル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ其旨牛乳商等ヘ報告センコトヲ要ス、然ルニ再三不合格ノモノヲ差シ出シタランニハ、之ヲ裁判所ヘ提起シテ之カ裁判ヲ仰カンコトヲ要ス、又タ細菌的検査ノ結同一ノ商人ニシテ再三不合格ノモノヲ差シ出シタラン場合ニモ、亦是レ裁判所ヘ起訴シテ之カ裁判ヲ仰カサルヘカラス

一千九百十三年ニ於テ牛乳及「クリーム」ニ就テ化學的分析ヲ爲シタルコト一萬二千五百三件、細菌學的試験ヲナシタルコト七千三百三十一件ニ及ヘリ、而シテ一千九百十四年中ニ市俄古市ニ於テ牛乳及「クリーム」ニ就テ試験シタル回数ハ左ノ如シ

化學的試験

五〇、三九七

細菌學的試験

九、一一四

第四表及第五表ハ二十市ニ於テ人口每一千人ニ就テ化學的及細菌學的ニ試験シタル回数ヲ示シタルモノ是レナリ

第四表 毎年人口每一千人ニ就テ牛乳及「クリーム」ノ細菌學的試験ヲ爲シタル回数ヲ擧ケレハ左ノ如シ

一、シンシンナチー	四五〇・〇三	九、ポストン	九〇・一一
二、バツフハロー	一五・八六	一〇、シャートル	八・七五
三、バルチモアー	一五・三七	一一、ウ井ンネベツグ	五〇・〇〇
四、デットロキト	一四・六三	一二、紐育	四・九七
五、トロント	一三・二六	一三、ロウチエスター	四・四〇
六、リツチモンド	一二・〇一	一四、クリーヴランド	三・八五
七、桑港	一〇・五三	一五、華盛頓	三・四七
八、ポートランド	九・五八	一六、市俄古	二・八五

一七、ネワーク 二・七六 一九、ミルウオーキー 二・五〇
 一八、モントリール 二・五二 二〇、カンサス市 二・〇四

二五八

第五表 毎年人口毎一千人ニ就テ牛乳及「クリーム」ノ化學的分析ヲ爲シタル回数ヲ舉レハ左ノ如シ

		(一)	
一、	シンシンナチー	四三・九六	一一、セントルキ
二、	バツフハロー	三九・二四	一二、バツフハロー
三、	クリーヴランド	三八・四六	一四、桑港
四、	ミルウオーキー	三二・五〇	一五、ボルトランド
五、	華盛頓	二五・四六	一六、シャートル
六、	リツチモンド	一九・二〇	一七、ローチエスター
七、	デットロイト	一八・五三	一八、ネアーク
八、	ボストン	一七・七〇	一九、モントリール
九、	市俄古	一七・〇〇	二〇、紐育
一〇、	トロント	一五・九二	二一、ウキンネベツグ
一一、	カンサス市	一三・六〇	

右表中(一)ハ六ヶ月間ノ計算ニ係ルモノナリ

右ニ掲ケタル表ノ示ス所ニ據レハ市俄古市ニ於テ牛乳及「クリーム」ニ就テ細菌學試驗ヲ行フタル回数ハ之ヲ其他ノ數多ノ市邑ニ比フレハ一層少ナキ事ヲ知ルニ足ルヘキナリ、其回数ノ増サンコトコソ望マシケ

牛乳積載ノ荷車ニ就テ化學的試驗ヲ行ハンコトハ、夏季ニ際シテハ五〇%ニシテ冬期ハ二五%ニテ然ルヘキナリ、但シ此等ノ試験ハ午前三時ヨリ同シク十一時マテ行ハン事ヲ要ス

各牛乳製出所ハ左ノ如キ標準ニ從ツテ検査スヘキモノトス、而シテ其検査スヘキ事ハ所在地、構造、設備及一般ノ衛生状態ヨリ牛乳製出ノ方法等ニシテ、其完全ナルモノヲ百點トナシ最少限ヲ七十點ト定ム

然レトモ各検査官ノ標準點トナスモノ皆ナ一樣ナルモノニアラス、其間多少ノ差ナクンハアラス、且ツ其検査ノ管轄區ニハ夫々監督ナルモノアルテ適當ナル標準點等ニ就テ検査官ニ對シテ訓諭スヘキモノトス

一千九百十二年、一千九百十三年及一千九百十四年ノ三ケ年ニ亘リテ五百ヶ所ノ牛乳製出所ノ検査標準點ヲ調査シタルニ左記ノ如キ結果ヲ得タリ、曰ク其標準點ハ平均七七・〇〇、七六・六六及七七・九八ナリシ、即チ其差大ナラスト雖モ明カニ増進シタルヲ知ルニ足ルヘキナリ

牛乳商店 縦令ヘ牛乳商店ノ視察検査ハ衛生的食物検査課ノ業務ニ屬シテ其課ノ検査官タルモノ之ヲ行フヘント雖モ、今此所ニ於テ簡短ニ之ヲ述ヘンハ無益ノ事ニアラサルヘント信ス

牛乳商店ノ大半ハ雜貨商ヲ兼ネタルモノナリ、今其筋ノ規定サレタル所ニ依レハ罐詰ノ外賣ルヘカラサル筈ナルニ其實際ニ至リテハ然ラス、其賣リ捌ク所ノ二%ハ之ヲ量リ賣リニナシ、且ツ牛乳ヲ貯ヘ置ク所ハ別室ニ爲シ置クヘキ規定ナルニ、然カラルルモノ多キニ居レリ、又牛乳ヲ冷却セシムヘキ装置ナカルヘカ

ラス、牛乳ヲ取扱フヘキケ所ハ全ク他ノケ所ト區別シ置カンコトヲ要ス、而シテ殆ント五千ノ牛乳商店アリテ此商店ヲ取リ縮ルニハ彼ノ牛乳製出所ノ如ク一般ノ衛生状態ニ關セス、僅カニ鑑詰ニナシタルヤ否ナニ注意スレハ足ランノミ、然ルニ量リ賣リニナスモノアリ是レハ嚴重ニ取締ラサルヘカラス

今マ左ニ掲クル所ノ第六表及第七表ハ一千九百十二年、一千九百十三年及一千九百十四年ノ三ケ年ニ亘レル五百ケ所ノ牛乳製出所及牛乳商店ノ優劣ヲ示シタルモノ是レナリ、然レトモ其平均餘リニ高キニ失シタルモノ、如シ、予カ自カラ視察シタル所ヨリ之ヲ見レハ然カク高キモノトハ見ヘサリシナリ

第六表

一千九百十二年ヨリ、一千九百十四年ニ至レル期間ニ於ル五百ケ所ノ牛乳製出所優劣表

年次	三〇%以下	三一%至四〇%	四一%至五〇%	五一%至六〇%	六一%至七〇%	七一%至八〇%	八一%至九〇%	九一%至一〇〇%	共計	平均點	
一九一二年	一	一	八	二	三	六	〇	二	二四	五〇〇	七七・〇〇
一九一三年	一	一	三	一〇	六	六	二	八	一六	五〇〇	七六・六六
一九一四年	一	一	二	三	三	五	三	〇	二〇	五〇〇	七七・九八
共計											

第七表

一千九百十二年ヨリ、一千九百十四年ニ至レル期間ニ於ル五百ケ所ノ牛乳商店ノ優劣表

年次	三〇%以下	三一%至四〇%	四一%至五〇%	五一%至六〇%	六一%至七〇%	七一%至八〇%	八一%至九〇%	九一%至一〇〇%	共計	平均點						
一九一二年	一	一	四	二	五	九	二	二	一四	一六	五二	一一七	二九九	五〇〇	八八・九五	
一九一三年	一	一	四	二	五	九	二	二	一四	一六	五二	一一七	二九九	五〇〇	八八・九五	
一九一四年	一	一	四	二	五	九	二	二	一四	一六	五二	一一七	二九九	五〇〇	八八・九五	
共計																

殺菌設備所 細菌ヲ滅殺スル設備ノアル所ハ市俄古市ニ於テ二百四十六ケ所、地方ニ於テ百十五ケ所都合三百六十一ケ所アリ、而シテ市俄古市ニ於テ消費スル所ノ牛乳及「クリーム」ノ八二%ハ殺菌法ヲ施コサレタルモノト知ルヘシ、イリノキス、ウ井スコンシン及其他ノ州ニ於テ「乳」ノ發生セシ以來其發生地ヲ中心トシテ其周邊五哩以内ニ於ル牛乳製出所ノ牛乳ハ、皆ナ是レ殺菌法ヲ行ハサルヘカラサルコト、ナシ、且ツ殺菌設備所ノ行動ハ果シテ適當ナルヤ否ナニ就テ最モ注意ヲ深クスルニ至レリ

目今行ハル、所ノ殺菌法ハ専ラ持續方法ニ依ラスンハアラス、而シテ此持續方法ニ從ツテ細菌ヲ滅殺スルモ其裝置一ニシテ足ラサルナリ、從來ハ瞬間殺菌法ヲ以テ足レリトセシモ、今日ニテハ皆ナ是レ持續裝置ニ依ラサルヘカラサルコト、定メタリ、即チ一千九百十五年一月以降此持續裝置ヲ用ヒンニハ其筋ノ認可ヲ受ケサルヘカラサルコト、ナレリ、所謂殺菌持續方法トハ華氏百四十度ノ温度ニテ二十分間以上、同シク百五十五度ノ温度ニテ五分間其儘ニテ持續セシムルコト是レナリ、但シ此時間ノ計算ハ斯ル温度ニ達

シタル時ヨリ起算スルモノト知ルヘシ

二六二

此殺菌装置ヲ視察センニハ最深ク注意セサルヘカラス、即チ其殺菌法ヲ行ヒ居ル間ニ臨場シテ其温度ノ加減ヨリ其持續時間ノ長短等ニ至ルマテ最モ精密ニ視察スルカ如キコト是レナリ、斯クテ其設備ニ不完全ナル所アルカ衛生上ニ不都合ナル點之レアリタランニハ須ラク注意ヲ加ヘテ矯正セシメシムコトヲ要ス、又其殺菌方法ノ果シテ其當ヲ得タルヤ否ナヲ見定メシムニハ、其着手ノ最初ヨリ終了ニ至ルマテノ手續ヲ洩レナク視察セサルヘカラス、今マ茲ニ新タニ殺菌装置ヲ設ケンテ認可願ヲ差シ出シタル場合ニハ、最モ老練ナル検査官三名ニテ其設備萬端ヲ調査セサルヘカラス、中ニ就テ其温度ヲ測リ知ランニハ自働的裝置ナカルヘカラス

殺菌設備所ヲ検査シタル結果ヲ記載センカ爲メニ特別ナル「カード」ヲ調製シタリ、而シテ之ニ記載スヘキ重モナル事項ハ其所在地、室ノ構造及裝置取扱方法ノ三者是レナリ、中ニ就テ室ノ構造ト云ヘル中ニハ光線ノ射入、空氣ノ流通、床及壁等ノ適否モ含マレ居ルモノト知ルヘシ、今マ予ノ意見ヲ以テスレハ右三者ノ內裝置取扱法ナルモノハ他ノ二者ヲ併セ得タル者ヨリ尙ホ一層重要ナルモノト謂フヘキナリ、蓋シ其好結果ヲ得ルト否ラサルトハ主トシテ此裝置取扱法如何ニ關スレハナリ

市俄古市中殺菌設備所ノ規模大ニシテ其設備能ク行キ届キ從ツテ好結果ヲ奏スルモノ少ナカラス、然レトモ之ニ反シテ規模小ニシテ其構造設備完カラス、之カ取扱方モ行キ届カス、從ツテ其結果ニ良カサルモノ

甚ハタ多キナリ、彼ノ規則上持續裝置ヲ必要トスルナリ斯ル小規模ノ殺菌所ハ閉鎖スルノ止ムナキニ至レルモノ少ナカラス、斯ル小規模ノモノハ大規模ニシテ一層經濟上都合善キモノニ對シテ競争スル能ハス、從ツテ益々多ク仆レンコトコソ望マシケレ

小規模ノ牛乳製出所ハ大規模ノ其レニ屈服シテ復タ起ツ能ハサルニ至リシカ、小規模ノ殺菌設備所モ亦是レ同一ノ運命ニ遭遇セサルヲ得ス、斯ル小規模ノ殺菌設備所カ早ク閉息スレハスル程、市俄古ノ牛乳界ハ益々好況ヲ呈スヘキナリ

保證牛乳ノ事 此種ノ牛乳ハ法定上検査ヲ受クヘキ部類ノ中ニ屬セリ、然レトモ市上ニ賣買スル生牛乳ヨリ一層上等ノモノト謂フヘキナリ、且ツ是レ市俄古醫事協會牛乳委員會ノ編成ニ係ル衛生的規則ニ從ツテ製出サレタル事ヲ證明アルモノトス、今マ殆ント十二ヶ所ノ牧場ヨリ製出スル牛乳ハ所謂「保證牛乳」ノ名ノ下ニ販賣セラル、モノトス

牛乳中改良セラレタルモノ 衛生局ハ一種ノ表ヲ編成シタリ、即チ一千九百十年ヨリ一千九百十四年ニ至ルノ期間ニ於テ試験サレタル生牛乳及殺菌牛乳ニ含メル平均細數ヲ示セルモノ是レナリ、一千九百十二年八月ノ制定ニ係ル法令ヲ以テ左記ノ如キ事ヲ規定シタリ、曰ク生牛乳中ニ含メル細菌數ハ冬季中一立方「センチメートル」ニ就キ十萬ヲ踰ユヘカラス、又タ夏季中同シク十五萬ヲ踰ユヘカラス、而シテ殺菌牛乳中ニ含メル細菌數ハ右同様ノ季間ニ於テ五萬ト十萬トニ踰ユヘカラサルモノトス

二六三

第八表

一立方センチメートルニ就キ平均細菌數年四季ヲ通シテ試験材料ヲ取リタルモノ

年次	生牛乳	市上ノ殺菌牛乳	年次	生牛乳	市上ノ殺菌牛乳
一九一〇年	二,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一九一三年	二,〇〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇
一九一一年	五,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一九一四年	一,〇〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
一九一二年	一五,〇〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇			

以上掲ケタル數字ニ據リテ之ヲ考フレハ儘カニ牛乳業ノ進歩發達シタルコトヲ知ルニ足ルヘキナリ、既ニ前段ニモ述ヘタル如ク生牛乳ノ標準點ハ甚ハタ高シト謂フヘキナリ、抑モ總テノ牛乳ニ就テ殺菌法ヲ實行セシムヘキ法令草案ノ出テタル時隨分反對論モ多ク出テタリシナリ、生牛乳若ハ検査サレタル牛乳ノ標準點ハ甚ハタ高キカ故ニ、牛乳ニシテ此標準點ニ達シタランニハ最早ヤ其純精ノ程度如何ヲ問フノ必要之レナキナリ、然レトモ實際牧場ヨリ製出スル所ノ牛乳ノ百分比例ハ法令ノ要求スル標準點ニ應スルハ嗚呼亦喜ハシカラスヤ

牛乳殺菌事業ハ既ニ著シク進歩發達シ此分ニテ推シ行カハ規定ノ標準點ニ達センハ亦タ疑フヘキニアラサルナリ、但シ彼ノ小規模ノ牛乳製造所カ閉息スルニアラスンハ容易ニ此標準點ニハ達ヒサルヘシ、而シテ牛乳事業監督タランモノハ毫モ他事ニ顧リミス、牛乳検査及検査官ノ行動ヲ常ニ監督セサルヘカラス

飲食物衛生的の視察ノ事

衛生上ヨリ飲食物ノ良否ヲ検査スルノ必要ナクンハアラス、此ニ於テハ全市ヲ分チテ二十五ノ飲食物ヲ検査區トナシ其一區毎ニ一名ノ検査官ヲ置クコトトセリ、尙ホ之ニ加フルニ五個ノ特別區ヲ置クコト、セリ、蓋シ此特別區ト云ヘルハ其位置中央部ニアリテ同一ノ検査官カ早朝「ブラットホーム」ニ着スル牛乳ヲ検査スル規定ナリ、而シテ午後ニ其管轄區ノ検査ヲ行フヘキモノトス

斯クテ此等ノ検査官ノ職責トスル所如何ト云フニ、總テノ飲食物ノ材料等ヲ検査スルハ云フマテモナク、之ヲ販賣シ、製造シ、貯ヘ置キ若クハ取り扱フヘキ等諸ロノ個所ハ皆ナ是ヲ視察検査センコトヲ要ス各視察官カ每一週間ニ就テ視察スヘキ個所ハ如何ニ少ナク見積リテモ一定ノ管轄區内ニ於テ六十ヶ所、又タ臨時視察ヲ要スヘキヶ所二十ヶ所ナランコトヲ要ス、但シ是レ最モ少ナク見積リタルモノニシテ、實際視察シタルヶ所ハ是レヨリ一層多キモノト知ルヘシ

今マ此等ノ視察區ノ事ヲ容易ク了解セシメンカ爲メニ左記ノ如ク小分スルヲ然ルヘシト思惟ス

- (イ)、屠畜場及該場ニ於ル肉類ノ視察
- (ロ)、臨時的「ブラットホーム」ノ視察
- (ハ)、市場委員會
- (ニ)、積荷所視察

(ホ)、衛生的飲食物視察

(ヘ)、割烹店

(ト)、雜種物視察——卵子、罐詰類

屠畜場、總テノ家畜、羊及豚ノ如キモノハ之ヲ屠殺スルニ先ンシテ合衆國ノ検査官及州ノ検査官ニ於テ之ヲ検査センコトヲ要ス、而シテ疾病ニ罹レルカ或ハ甚ハタシク熱シ居ル畜類ハ之ヲ屠殺スルヲ許サス、又タ星菌病ニ罹リタル畜類ハ之ヲ他ノ者ト隔離シテ或ルケ所ニ送付シ、特別ナル規則ニ從フテ屠殺スルコトヲ許サルヘシ

市俄古ニ於テ消費セラル、肉類ノ大部分ハ家畜置場ト互ニ聯絡シタル大ナル場所ニ於テ屠殺セラレタルモノ是レナリ、而シテ此等ノ殺場ハ合衆國政府ノ検査官ノ職責範圍ニアルモノト知ルヘシ、即チ市俄古市ハ斯ル屠畜場ヲ検査スルノ機關之レナクシテ合衆國政府ノ検査官ニ依頼スルノ一法アルノミ、且ツ市俄古市ニ肉類ヲ供給スル所ノ屠畜場五ヶ所アリテ、衛生局ノ検査官カ其検査ノ任務ニ當レリ、而シテ各屠畜場ニハ二名ノ検査官ヲ置キ内一名ハ常ニ屠殺ノ始メヨリ終リマテ見届ケル職責ヲ有スルモノトス、斯クテ其死體ハ能クノ之ヲ検査シ若シ疾病ニ罹リ居タリシコトヲ見出シタランニハ、之ヲ廢物トシテ附箋ヲ爲ツ置キ、同日ノ午後其附箋ヲ爲シタル死體カ果シテ成規ニ從ツテ處分セラレタリシヤ否ナヲ見届ケンコトヲ要ス

合衆國政府ノ検査ノ下ニ置カレタル屠畜場及其他ノ屠畜場ヨリ出テタル肉類ハ皆ナ是レ刻印ナシ、検査ノ上合格ト不合格トヲ定メントコトヲ要ス、何人ニ限ラス刻印ナキ肉ヲ他ニ交付シ、之ヲ販賣ニ付シ或ハ之ヲ所有シタリトセンカ、何レモ皆ナ法令違反者トシテ處罰セラル、モノトス

以上掲ケタル五ヶ所ノ屠畜場ハ最モ注意シテ検査サレタルカ、内三ヶ所ノ屠畜場ハ其建築法ト云ヒ諸ロノ設備ト云ヒ肉及廢物ノ處分法ト行ヒ何レモ皆ナ善ク整頓シテ亦間然スル所ナシ、然ルニ一ヶ所ノ屠畜場ニ至リテハ其床ハ木製ニシテ諸ロノ設備ハ行キ届キ居ラス、非衛生ノヶ所少ナカラサルカ故ニ當然閉鎖セシメントコトヲ要ス、而シテ第五ハ如何ト云フニ改良スヘキヶ所ナカラサルナリ、殊ニ其床ノ不適當ナル室ノ空氣流通ノ宜カラサルカ如キコト是レナリ、予ハ親シク一層規模大ナル屠畜場數ヶ所ヲ巡視シタルニ皆ナ好況ナリシ

屠畜場ニ於ル食料品検査官ナルモノハ其屠畜場全般ニ關スル衛生狀態如何ニ關シテハ取締ルヘキ權能ヲ有セス、目今ノ規定ニテハ斯ル權能ハ衛生狀態視察局ニ屬シ居レリ、然レトモ今マ予ノ考フル所ヲ以テスレハ現ニ屠畜場ニ食料品検査官ノ居ルコトナレハ、之ヲシテ其場内一般ノ衛生狀態ヲ取締ラシムルコソ然ルヘケレ。是レ衛生上不都合ナル所アラン場合ニ直ニ之カ矯正セシムヘキ便利アレハナリ

臨時「ブラットホーム」ノ事、地方ニ於テ屠殺サレタル動物、野獸、家禽、魚類其他野菜類ハ四ヶ所ノ「ブラットホーム」ニテ之ヲ取下スノ際三名ノ検査官ニテ之ヲ検査センコトヲ要ス、且ツ此等ノ検査官ハ荷

車、鐵道列車、及「ブラットホーム」等ノ有様果シテ清潔ナルヤ否ナヲ視察センコトヲ要ス、又荷車ハ鐵道列車ノ到着スルヲ待チテ咄嗟ノ間ニ取下ス荷物ヲ載セテ夫々分配スルカ故ニ、此等ノ荷物ノ検査ト云ヘルハ僅カニ儀式丈クニ止マリテ決シテ行キ届キタルモノニアラス、然レトモ此等ノ物産ハ皆ナ是レ市上取締委員會ノ手ヲ經ヘキカ故ニ、該委員會ノ一員カ夫々之ヲ検査スルノ任ニ當ラスンハアラス、予ハ自カラ親シク市場ノ商店ヲ巡視スルコト七十ヶ所以上ナリシカ、屠殺シタル諸動物ニシテ「検査済」若クハ「不合格」ノ刻印之レナキモノハ曾テアラサリシナリ、又「ブラットホーム」ニ到着スル屠殺サレタル豚及犢牛ノ如キハ之ヲ検査センニ、豚ノ方ハ結核病ノ有無ヲ調査シ、後者ニ至リテハ成熟ノ度合如何ヲ視察センコトヲ要ス。

予ハ最モ大ナル「ブラットホーム」ニヶ所ニ於テ到着スル列車内ノ荷物等ヲ充分注意シテ取調ヘタル結果左ノ如キ事實アルコトヲ見出シタリ、曰ク豚肉、犢肉及牛肉ノ大塊カ列車ノ床上ニ横ハリ居レリ、殊ニ其床上ニハ生キタル家禽ノ籠及魚ヲ詰メタル箱等カ何等ノ保護法ヲモ施コサズシテ散在シ居ル其上ニスル肉類ノ大塊カ横ハリ居ルコトヲ目撃シタリ、此等ノ事柄ハ衛生上決シテ其宜シキヲ得タルモノニアラス、車内ニ鈎ノ如キモノヲ設ケテ此等ノ肉ノ大塊ヲ吊シ置キタランニハ衛生上ニ適スヘク、且ツ斯ル方法ヲ設ケルハ左マテノ費用ヲ要セサルヘケレハ一日モ早ク實行サレンコトコソ望マシケレ

「ブラットホーム」ニハ冷蔵庫ヲ設ケ置キテ直チニ他ノ方面ニ運搬セサル肉類ハ一時之ニ藏メ置カンコトヲ

要ス

荷物取扱所、荷物取扱所ハ八條ノ列車線ト聯絡シ居リテ二名ノ検査官ニテ來着スル野菜及果物ヲ検査シ其検査ノ結果不合格ノモノハ成規ニ從ツテ夫々處分セン事ヲ要ス

市場取締委員會、市俄古市ニ於テ大ナル中央市場取締所ノ設ケアルハ毫モ怪シトスルニ足ラサルナリ、是レ取りモ直サス市場大問屋ナルモノナリ、即チ肉類、魚類、家禽、果物及野菜類ハ皆ナ是レ一旦市場大問屋ノ手ヲ經過シ而シテ市中各所ノ小賣商店ニ分配スルモノ是レナリ

都合三ヶ所ノ市場アリ内ニヶ所ハ其規模甚大アルモノナリ、而シテ數廊部ノ街路ノ兩側ニ於ル店舗ハ右ニ記載サレタル諸食物ノ製造及販賣ヲ專業トセルモノナリ、蓋シ此等ノ市場ハ四名ノ検査官ニテ夫々検査ヲ行ヘルコトナルカ、其検査能ク行キ届キテ好成绩ヲ奏シ居レリ

予ハ大ナル市場ノ内ニヶ所ヲ巡視シタリ、此ニヶ所ノ内ニハ臘腸製造所、牛酪製造所其他諸種ノ製造所ヲモ含ミ居レリ、而シテ此等ノ市場ニ於ル食料タル肉類ノ検査ハ充分ニ行キ届キ居リテ復タ間然スル所ナシ且ツ肉類ノ供給ハ潤澤ニシテ衛生局ノ保證モ善ク行キ届キ居ラサルナシ、之ニ加フルニ検査官ハ何レモ皆ナ老練家ニシテ適任ナル先輩ノ監督ノ下ニアリテ其成績甚ハタ良好ナレハナリ

内屋、雜貨商、鳥屋、魚商等、衛生的食料検査ノ目的ヲ以テ全市ヲ二十三ノ規定管轄區ト五個ノ番外管轄區トニ區分シ、各區ニ一名ツ、ノ検査官ヲ置キ其管内ヲ巡視セシムルコト、セリ、蓋シ此検査官ノ職責ハ

食物製造所、食料品ノ良否、其取扱方ノ適否、食料品ニ關スル装置、冷蔵庫及其貯藏法等ニ就テ衛生上ノ見地ヨリ視察検査スルノ如キコト是レナリ

右ニ掲ケタル事柄ト相關聯シテ最モ大ナル問題ハ麵麩ヲ適當ニ保護スルコト是レナリ、今マ法令ノ規定スル所ヲ見レハ麵麩ヲ他ニ輸送センニハ箱ニ入レテ密閉シ置カサルヘカラス、然ルニ其實際ハ然ラサルモノアリテ之ヲ運送スル者カ其不潔ナル上着及手拭カ之ニ觸レテ不潔ナラシムルコト云ヘハカラス、今日行ハレ居ル所ノ保護法ハ麵麩製造所ニテ何等カノモノヲ以テ僅カニ之ヲ蔽フノ一法アルノミ、何トカ方法ヲ設ケンコトヲ要ス

肉店、雜貨商其他ノ食物調製所ヲ視察セシニ概シテ衛生上ニ適セサルハナシ、但シ麵麩屋及菓子屋ヲ視察シタル内ニ衛生上ニ適セサルモノ往々ニシテ之レアリシナリ、又肉店ノ窓戸等ニ金網ヲ張りテ蠅ノ侵入ヲ防ク方法ヲ取リシモノヲモ見受ケタリ

均シク是レ市中ニテモ人口稠密ナル地方ニ於ル商店ハ五週間乃至六週間ニ一回視察ヲ要スヘキモ、塙末ノ地方ニ至リテハ左マテ視察ノ頻繁ナラサルモ可ナリトス

人口稠密ノケ所ニ於ル商店ニシテ衛生上ノ設備完全ナラサル場合ニハ、之ヲ視察シ之ヲ監督スルコト他ノケ所ヨリ一層頻繁ナランコトヲ要ス、斯ク人口稠密ノケ所ニ於テ食物ヲ調製センニハ諸事清潔ニ取扱フコトニ最モ重キヲ置カサルヘカラス、苟クモ検査官タランモノハ此意ヲ體シテ斯ル商人ニ對シテ其取扱法改

良ノ必要ナル事ニ就テ懇ロニ訓諭センコトヲ要ス

飲食物取締局ノ職責トスル所如何ト云フニ、凡ソ食料品ヲ取扱ハンニハ衛生上ニ適セシメンコトヲ要ス是レ法令ノ要求スル所ニシテ此法令ヲ實行セシムルヲ以テ此取締局ノ職責トスヘキナリ、而シテ今マ茲ニ一ノ商店アリ其商店ノ衛生状態ニ就テ法令ヲ實行セシメントスルノ際、飲食物取締局ト衛生局トノ職責如何ニ就テ判然タル區別アラス、又タ適當ニ協同一致スヘキ點モ見ヘサリシナリ、然レトモ兩者ノ間ニ異ナル點ナクンハアラス、飲食物取締局ノ方ニ在リテハ飲食物調製ノ事ニ關シテ最モ直接ノ關係ヲ有スルモノナリ、而シテ飲食物調製上若シ衛生上ニ適セサル事實アルコトヲ見出シタランニハ、其事實ヲ衛生局ヘ報告スヘク、斯ル報告ニ接スルト均シク之カ救護策ヲ考究シテ適當ナル處分ヲ施コサンハ衛生局ノ職責ナリト謂フヘキナリ

料理店、從來料理店及手輕料理店ノ衛生状態如何ヲ視察スルハ衛生局ノ任務タリシカ、近コロ之ヲ移シテ飲食物取締局ノ任務トシタリ、今マ此記者ノ意見ヲ以テ之ヲ視レハ此移管ハ最モ其宜シキヲ得タルモノト謂フヘキナリ、蓋シ料理店杯ノ視察ハ飲食物取締局ニテ爲シタラン方一層善ク行キ届クヘケレハナリ、麵麩屋、從來麵麩屋ノ視察ハ衛生局ノ司トル所ニシテ、飲食物検査官タルモノハ僅カニ賣店ニ於ル成品タル麵麩ノ良否如何ヲ監督スルニ過キサリシナリ、然ルニ今日實行サル、所如何ト云フニ概ホ左ノ如シ、曰ク麵麩屋ノ建築若ハ再建カ果シテ麵麩屋取締規則ノ規定スル所ニ適應スルヤ否ナヲ視察センハ衛生局ノ任

務ニ屬スベキナリ、然レトモ斯ル建築カ全ク落成シテ其業務ヲ開始スルニ當リテハ、飲食物検査官カ其取締ノ任務ニ當ルヘキモノトス、即チ其麵麩屋ノ衛生状態ヨリ出來上リタル麵麩ノ取扱等ニ至ルマテ皆ナ是レ其取締ルヘキ範圍内ニ屬スヘキモノトス

數多ノ麵麩屋(賣店ヲモ含ム)ヲ視察調査シタル結果ヨリ之ヲ見ルニ、其製品タル麵麩ニ塵埃及蠅杯ヲ近ツカシメヌ又タ之ヲ取扱フ上ニ於テ不潔ナラシメサル様一定ノ方法之レナキハ實ニ不都合ナリト云ハサルヘカラス、麵麩屋ノ大半ハ塵埃ヲ豫防シ及取扱上不潔ナラシメサル手當之レアリト雖モ、蠅ノ豫防法ハ曾テ之レナキナリ、殊ニ夏季ニ際シテハ之ヲ豫防スルコト最モ必要ナルヘキニ、此事ナキハ實ニ遺憾ナリト謂フヘキナリ、蓋シ蠅ノ豫防法之レナキハ畢竟スルニ之ヲ實行セシムヘキ特別ノ法令之レナキニ基ツカスンハアラス

雜種ノ視察検査、飲食物取締局ノ重モナル目的ハ其視察検査ヲ二種ニ大別シテ之ヲ實行セント欲スルニアリ、所謂二種トハ牛乳検査ト衛生的食物検査是レナリ、然レトモ此外尙ホ視察検査ヲ要スヘキモノ多少ナクンハアラス、今マ其數者ヲ擧クレハ左ノ如シ、曰ク卵子ノ検査官二名、罐詰食料品ノ検査官一名、炭酸性飲料製造所ノ検査官一名、製氷装置及製氷用水源ノ検査官一名是レナリ

右ニ掲ケタル内卵子及炭酸性飲料ノ検査ヲ之ヲ例外トシテ其他ノモノニ検査事業ハ皆ナ之ヲ一括シテ衛生的食物検査ノ内ニ編入スヘキモノトス

飲食物取締局ノ検査官ノ行動ハ大體ノ上ヨリ之ヲ見ルニ賞讃スルニ足ルヘキナリ、即チ此等ノ視察官ハ智識アリテ善ク其職責ノアル所ヲ知リテ最モ好成绩ヲ顯ハシ居レリ、監督検査官ハ一名ヲ増シテ製乳業監督ニ任センコトヲ要ス、又現ニ其職務ニ從事シ居ル三名ノ検査官ハ毫モ他念ナク全力ヲ盡シテ其管内ノ視察ヲ爲サンコトヲ要ス

不、合、格、ノ、食、品、處、分、ノ、事、規則上不合格ト斷定サレタル肉類ノ食品ハ契約者ノ手ニ渡サンコトヲ要ス、蓋シ此契約者ト云ヘルハ豫シメ其不合格ノ食品ヲ幾千カニ評價シ、其評價ニテ然ルヘシト許サレタルモノト知ルヘシ、然レトモ其食品ノ所有者ニ對シテハ全ク辨償ヲ爲サ、ルモノトス、而シテ電話ニテ其食品ノ量、種類及其出所ヲ其筋ヘ報告シ、契約者ヘハ之ヲ他ニ移スヘキ旨報告センコトヲ要ス

食、品、冷、藏、ノ、事、食品冷蔵ニ關スル現行法令ハ之ヲ實行スルコト甚ハタ困難ナリト云ハサルヘカラス、之ヲ検査センニハ數多ノ検査官ナカルヘカラス、之カ爲メニ費ス所ノ金圓多クシテ得ル所ノ利益ハ却ツテ少ナキモノナリ、食品ヲ冷蔵庫ニ運ヒ込ミ且ツ冷蔵庫ヨリ之ヲ取り出サン場合ニ一々之ヲ検査センコト實ニ困難ナリト云ハサルヘカラス、斯ル次第ナルカ故ニ冷蔵庫ニ關スル法令ヲ新タニスルノ必要ナクンハアラス

局務取扱方法

飲食物取締局ノ取扱フヘキ業務ハ甚ハタ大ナルモノニシテ、之ニ從事スル局員ハ書記長一名、其部下ノ書記七名及速記者一名ヨリ成レルモノトス、而シテ其事務ノ重モナルモノハ飲食物取締法ニ違犯スル者ノ處

ヲ要ス、然ルニ斯ル警告ヲ受ケタル者カ若干ノ猶豫ヲ與ヘラレタル期間内ニ改悛ノ實効ヲ舉ケサル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ委員ヨリ書面ヲ發シテ再調査ヲ爲サシメタルニ、尙ホ依然トシテ改ムル所ナク矢張り法令ニ背キ居ランカ、斯ル場合ニ於テ法律上規定セル權能ニ從ツテ告發セサルヘカラス

一千九百十四年一月一日ヨリ同年十一月一日ニ至ルマテノ期間ニ於テ、飲食物取締法令違犯トシテ告發サレタルモノ一千三百十三件アリシカ、其内飲食物取締局ヨリ告發サレタルモノ五百件ニシテ、其起訴ノ始メヨリ終結ニ至ルマテノ時日ヲ平均スレハ一件ニ就テ二ヶ月ト十八日ニ當レリ、違犯事件ニ伴フ所ノ損害得テ想像スヘキノミ

試 驗 所

此試驗所ナルモノハ衛生局ノ一部局ニシテ其存立及行政ニ關スル法令ヲ舉レハ左ノ如シ

衛生局ノ一部局トシテ此試驗所ヲ設立スル以上ハ之ヲ名ケテ衛生局試驗所ト云フ

試驗所長ノ任命及其資格、所長ノ職責、其助手任命ノ規定、今マ其所長及助手ノ職責トスル所如何ト云フニ牛乳、「クリーム」、肉類、食物、水、藥品等ヲ分析シテ其良否ヲ試驗スル事、及衛生委員ノ指揮スル所ニ從ツテ診斷及其他ノ試驗ヲ爲ス等はレナリ

尙ホ此試驗所ノ詳細ナルコトヲ知ラント欲セハ左記ノ事實如何ヲ確カメンコトヲ要ス

- (一)、試驗所敷地ノ模様及一般ノ整理善ク行キ居ルヤ如何、(二)、諸ロノ設備整頓シテ間然スル所ナト是レナリ
- キヤ如何、(三)、業務取扱ノ模様如何、(四)、役員ノ勤勉ノ有様如何、(五)、各分科ノ行動カ正確ニ遂行セラル、ヤ如何、部下ニ對スル監督官ノ統治如何、記録及書類ヲ適當ニ處理シ居ルヤ如何等ヲ確カメルコト是レナリ

整 理 ノ 事

市會議事堂ノ一部分ヲ試驗所ノ用ニ供スルコトナルカ、但シ此箇所ハ他ニ利用スルコトナク專ラ此試驗事業ノ爲メニ用ヒサルヘカラス、又此議事堂内ニアル所ノ飲食物検査局ノ次長室ハ之ヲ他ニ移サンコトヲ要ス、是レ他ナシ此試驗所ヲ設置スルニ不便ナル所アレハナリ

尙ホ此試驗所ニハ化學的試驗室ヲ設クルノ必要アリ、而シテ此化學的試驗室ニハ試驗藥ヲ盛ル所ノ罫ヲ排列シ置クヘキ柵ヲ設ケサルヘカラス、又タ此外ニモ化學的試驗ヨリ發生スル惡臭ヲ驅除スヘキ裝置アラシコトヲ要ス、

諸 設 備

諸設備皆ナ新式ノモノニ非スト雖モ能ク整頓シ居レリト謂フヘキナリ、又此試驗所ヨリ生スル所ノ塵芥及其他ノ廢物ハ之ヲ燒却スヘキ小模型ノ燒場ヲ設ケサルヘカラス、今マ現ニ行ハレ居ル所ノ塵芥處分法ハ不充分ナリト云ハサルヘカラス

業 務

此衛生試驗所ノ重モナル業務ヲ舉ケンニ概ネ左ノ如シ、曰ク牛乳、「クリーム」、牛酪其他ノ食物及水ニ就キテ化學的分析、及細菌學試驗、或ル傳染病ニ就キテ細菌學の診斷ヲ下ス事、飲料及病理學の見本ノ試驗燃料、油類、爆發物及毒物ノ試驗其他衛生委員ヨリ指命シタル特別試驗等是レナリ
今マ試驗用ニ充ツヘキ見本四種アリ左ノ如シ

(一)、本規定ノ事業トシテ検査官ノ蒐集シタル見本

(二)、飲食物取締局長ノ蒐集シタル見本

(三)、巡查若ハ其他ノ市吏員ノ手ニテ蒐集シ衛生委員ノ協賛ヲ經タル見本

四、公衆ヨリ差シ出シタル見本ニシテ左ノ種類ニ屬スルモノ

(い)、細菌學の診斷ヲ爲スヘキモノ、(一)、實布埤里亞、結核病、室扶斯、腦脊髓膜炎、麻刺里亞、

微毒及狂犬病ノ如キ傳染病ニ關スル見本、(二)、慈善的の患者ノ試驗等是レナリ

(ろ)、市内ニ供給セラル、飲料水、(市ノ周邊五哩以内ニ供給セラル、水ヲモ含ムモノトス)及市ノ井

水

(は)、變造ノ疑アル牛乳及「クリーム」ノ見本若クハ細菌學の試驗ニ付スヘキ牛乳

(に)、普通ノ化學的分析、公衆衛生ニ關スル疾病全部ノ見本

所員ノ事

此試驗所員ノ事ニ就テ調査シタルニ高等官ニ屬スル所員ノ數ハ目今ノ業務ヲ遂行センニハ足レリト謂フヘキナリ、但シ専門ノ技術ヲ要スヘキ業務ニ從事シ最モ其技術ニ堪能ナルモノ、俸給ハ少額ナリトス、且ツ一ケ年間勤メ上ケテ其地位稍ヤ上進シ從ツテ俸給額幾干カ増加スルモ其増加額甚ハタ輕少ナルカ故ニ、一層優良ナル助手ヲ得ンコトハ困難ナリト謂フヘキナリ、目今ノ所ニテハ高等官四名ハ臨時任命サレタルモノニシテ或ハ缺員ノ儘ナルコトアリ、然レトモ一千九百十五年ニ至リテ俸給令改正セラレタリ
一ケ年間滞リナク満足ニ勤メ上ケタルモノハ其地位一級上進シ從ツテ俸給モ増加スルコト、ナリ居レリ
現時此試驗所ノ助手ハ其人員甚ハタ少ナク、下級ノ細菌學士二名ニテ下給雇員ノ爲スヘキ業務ニ從事シ居レリ、而シテ此等ノ細菌學士カ其全身ヲ其専門事業ニ委ネタランニハ其事業著シク進歩發達スルナラン

専門事業、組織及方法ノ事

今マ此業務ヲ大別シテ二種トス、即チ化學的試驗所及細菌學的試驗所是レナリ、尙ホ之ヲ細別シテ行政部及實効部ト爲セリ、概ネ左ノ如シ

(一)、普通化學的試驗即チ食物、飲料、藥品、酒類、毒物、燃料、空氣、爆發物、塵芥等ノ試驗

(二)、牛乳ニ就テノ化學的試驗及細菌學的試驗

(三)、水ニ就テノ化學的試驗及細菌學的試驗

(四)、普通細菌學診斷、即チ實布埜里亞、腸窒扶斯、唾液、血液、大便、小便、腦脊髓膜炎ニ就テノ診斷

(五)、特別試驗即チ病理的標本、恐水病及其他特別ナル試驗

見本收受ノ事、凡ソ見本類ヲ收受シタル場合ニハ之カ爲メニ特ニ備ヘ付ケラレタル帳簿ニ記入センコトヲ要ス、書記カ此等ノ見本ニ關スル報告ヲ收受シタラン場合ニハ、其報告書ノ一端ニ規定ノ事柄ヲ記入センコトヲ要ス、但シ牛乳、唾液、腸窒扶斯及實布埜里亞ニ關スル報告書ハ此限ニアラス

腸窒扶斯、唾液、實布埜里亞及此等ト同類ノ見本ノ全數ハ、翌朝之ヲ一經メニシテ其筋ヘ差シ出サンコトヲ要ス、又此等ノ報告「カード」ノ或ル欄内ニ試驗濟若ハ分析濟ノ時日ヲ記入センコトヲ要ス

各見本ハ試驗所ヨリ「カード」ヲ附シテ夫々廻送スヘキモノトス、但シ實布埜里亞、腸窒扶斯、唾液、狂犬病、水及牛乳(細菌學的試驗)ノ見本ニ就テハ特別ノ「カード」ヲ用ヒンコトヲ要ス、尙ホ其他ノ見本ニ就テ二種ノ「カード」ヲ用フヘキモノトス、其一ハ以上記載シタルモノヨリ他ノ細菌學的試驗ニ屬スルモノ、今一ハ雜種ノ化學的試驗ニ屬スルモノ是レナリ

實布埜里亞及腸窒扶斯ノ見本ニ關スル「カード」ニ記載スヘキ必要ナル事項ハ其關係醫師ノ手ニテ認メンコトヲ要ス、然レトモ其他ノ「カード」ニ至リテハ之ヲ受取リタル書記カ其「カード」ノ相當欄ヘ必要ナル事項ヲ記載センコトヲ要ス、又斯ル書記ハ之ヲ受ケ取ルト同時ニ其時日ヲ記入シ置クヘク、而シテ之ヲ他ノ

局ヘ廻送セントスル場合ニハ、自分ノ手許ヲ通過シタル證左トナルヘキ記號ヲ付シ置カンコトヲ要ス部化學的分析、重モナル化學士ハ其作業ヲ部下ノ助手ニ命シテ爲サシムヘク、部下ノ助手ハ其命ヲ受ケタル儘ニ其作業ニ從事スヘキモノニシテ、自カラ一種特別ノ分析杯ヲ爲スヘキモノニアラス、又重モナル化學士ハ一般ノ監督ヲ爲シ且ツ毒物及法定藥品ノ良否ヲ試驗センコトヲ要ス

細菌學的診斷法、重モナル細菌學士ハ其作業ヲ諸ロノ部下ナル助手ニ命シテ爲サシムヘク又諸種ノ見本及培養物ヲ收集シ且ツ各部局ヘ分配センコトヲ要ス、就中作業ノ大部分ヲ占メタルモノハ實布埜里亞培養物ノ試驗是レナリ、而シテ五名ノ細菌學士カ此試驗ニ打チ掛リテ正午迄ニ全ク仕遂クヘキモノトス、又此試驗所ノ助手タランモノハ見本ニ著色スル杯總テ試驗ノ準備ヲ爲サンコトヲ要ス

一ノ細菌學士ハ專ラ唾液ノ試驗ニ從事シ、小便及大便中ノ細菌培養等ハ上席細菌學士中ノ一人ニテ之ヲ擔任シ、狂犬病ノ試驗及特別ナル技術ヲ要スル試驗ニ至リテハ所長若クハ重モナル細菌學士ノ擔任スヘキモノトス

培養媒介物ハ下級細菌學士ノ手ニテ準備セラレ、且ツ斯ル媒介物取扱ノ爲メニ特ニ設ケラレタル室内ニ於テ夫々作業セン事ヲ要ス、要シテ此試驗所ノ各助手ハ夫々格段ナル受持作業ニ從事センコトヲ要ス

牛乳、牛乳ノ見本ヲ分析シ之ヲ試驗センニハ之カ爲メニ特ニ設ケラレタル室内ニ於テセンコトヲ要ス、但シ牛乳ヲ試驗センニハ第一回及第二回ニ之ヲ行ヒ、其第一第二ハ各々別人ニテ試驗センコトヲ要ス、化學

的試驗及細菌學的試驗ハ共ニ此一室内ニ於テ爲スヘキモノニシテ、化學ノ方ハ化學士及試驗所ノ助手之ニ當リ、細菌學ノ方ハ二名ノ細菌學士ノ手ニテ爲サンコトヲ要ス、最初検査官ノ手ヨリ牛乳ノ見本カ廻送セラレタランニハ、之ヲ試驗ニ付スルマテハ冷蔵庫ニ入レテ貯カト錠ヲ下シ置カンコトヲ要ス、而シテ牛乳ヲ化學的試驗ニ付シタル報告ヲ爲サンニハ、其比重、牛酪性脂肪、脂肪ヲ含マサル固體及固體ノ全量等ヲ特別ナル用紙ヘ記入センコトヲ要ス

牛乳取締課ノ其他ノ細菌學士ハ其管轄區ノ業務ニ從事スヘキモノニシテ、殺菌法ニ就テハ最モ熟練ナランコトヲ要ス、而シテ試驗ノ結果數種ノ等級ニ分チ不合格ノモノヲ見顯ハシ、又適當ナル救護法ヲ示スヘキモノトス

水、水ノ試驗ヲ爲サンニモ亦是レ別ニ一室ヲ設ケ置カンコトヲ要ス、此試驗室ニ於テハ下級化學士ニシテ細菌科ニモ通曉セルモノカ化學的及細菌學的試驗ヲ行フヘキモノトス、若シ其作業カ極メテ繁忙ナラン場合ニハ一ノ細菌學士之カ助手タランコトヲ要ス、水ノ試験件數ハ凡ソ一日平均十二件ナリト云フ

試驗ニ要スヘキ時間、或ル見本ノ試驗ヲ開始シテヨリ之ヲ結了スルニ至ルマテニ要スヘキ時間如何ト云フニ、通常其分析ノ性質如何ニ基カسنハアラス、實布埜里亞、腸室扶斯及唾液ノ試驗ハ通常一日間ニシテ試驗ヲ終了スヘキナリ

今マ左ニ掲クル所ノ表ハ試驗ノ記録ニ基キテ作成シタルモノニシテ、諸種ノ見本ノ試驗ニ要シタル時日ヲ

示シタルモノ是レナリ

日數

實布埜里亞	一
腸室扶斯	一
小便	一
「ワツセルコン」	(一)一乃至五
狂犬病	一乃至四
唾液	一
牛乳	(二)
牛乳	二
水	(三)二乃至七
ビール、ウ井スキ	二乃至二六
藥品	一乃至二〇
食物	一乃至四
「ツッ」	一乃至六

塵

芥

一乃至四

抗毒素、毒素及牛痘、此等ノ物質ハ彼ノ試驗所ニ於テ製造スルモノニアラス又發送スルモノニアラス、中ニ就テ抗毒素ハ州ノ衛生局ヨリ供給セラル、モノトス、而シテ其他ノモノハ市廳ノ手ヲ經由シテ指定サレタル商店ヨリ競争入札ヲ以テ購入シテ夫々ヘ分配スヘキモノトス、即チ市ノ衛生官カ最近ノ商店ヨリ購入シテ州ノ衛生局書記官ノ許ヘ報告センコトヲ要ス、蓋シ其報告書ニハ之ヲ用フヘキ患者ノ姓名住所及年齢等ヲ記入センコトヲ要ス

牛痘ハ市衛生局ノ手ニテ競争入札ヲ以テ購求シ置キテ、必要ナル場合ニ於テ夫々發送スヘキモノトス、結果ノ報告、實布埜里亞病原菌ノ培養、腸窒扶斯及唾液ノ試驗ノ結果ハ取敢ヘス電話ヲ以テ關係部局ヘ通知シ置キ、後郵便葉書ニテ通知センコトヲ要ス

又狂犬病試驗ノ結果積極的ナランニハ關係部局ヘ先ツ電話ニテ通知シ置キテ後書面ヲ以テ通知センコトヲ要ス、然レトモ其結果カ消極的ナラン場合ニハ書面ノミノ通知ニテ然ルヘシ、凡ソ書面ニテ試驗ノ結果ヲ通知セン場合ニハ先ツ第一ニ醫事検査局ヘ通知センコトヲ要ス

試驗ニ關スル重要ナル結果ハ其關係部局ヘ可及的速カニ通知センコトヲ要ス、記録及書類綴込、各部局ハ取扱事件ノ番號帳ヲ備ヘ置キテ見本試驗ニ關スル結果等ヲ一々記入センコトヲ要ス

各見本ニ關シテ作成セラレタル「カード」ハ其分析試驗ノ種類ニ應ジテ夫々綴リ込マンコトヲ要ス、實布埜里亞「カード」ハ大部分ヲ占メルモノニシテ、其關係醫師ノ姓名ノ下ニ綴リ込ムヘク、又醫事検査局ニ備ヘ置クヘキ報告書ハ其患者ノ姓名ノ下ニ綴リ込マンコトヲ要ス、斯クノ如クシテ實布埜里亞ニ關スル事項ハ醫師ノ姓名ノ下ノ綴込ト患者ノ姓名ノ下ノ綴込ト併セテ完全ナルモノトス

監督ノ事、試驗所長ハ其全部局及其行動ヲ概括シテ監督センコトヲ要ス、而シテ所長ノ職責中ノ一ト云フヘキハ試驗所全般ノ行動カ便利ニ仕途ケラレ居ルヤ否ナ、及適當ナル報告カ最モ敏捷ニ廻送セラレ居ルヤ否ナヤヲ視察スルコト是レナリ、且ツ細菌學部長及化學部長ハ夫々自分ノ作業ニ關シテ所長ニ對シ直接ノ責任ヲ有スルモノナリ、尙ホ此等ノ部長ハ其業務ヲ部下ノモノニ命ジテ遂行セシメ自カラ之ヲ監督スヘキモノトス、此ニ於テカ試驗所全般ノ監督能ク行キ届クヘキナリ

特別ナル作業、試驗所長ハ衛生委員ノ要求ニ應ジテ或ル疾病ノ發生シタル場合、若ハ試驗ノ目的ヲ以テ格段ナル細菌ノ研究ニ從事スヘキモノトス

統計表ノ事

試驗所ニ於テ行フタル試驗事業ハ過去五ケ年ニ在リテ年々旺カニ發達シタルコトヲ證スルニ足ルヘキナリ、今マ左ニ掲クル所ノ表ハ五ケ年間ニ於ル試驗事業ノ發達如何ヲ示スモノ是レナリ

	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
試驗及分析ノ全數	一一二、三七五	一一三、四二九	一二〇、五三三	一四五、〇六九	一六二、二六六
細菌學的試驗	六六、七一	六六、二五〇	六六、〇二七	九〇、五二〇	一〇四、六八六
化學的試驗	四五、六六四	四七、一七九	五四、五〇六	五四、五四〇	五七、五七二
特別ナル調査				九	八

右ニ掲ケタルカ如ク作業ノ増加スルニ從ツテ之ニ從事スル人ノ數ヲ増サ、ルヘカラス、是レ自然ノ趨勢ニシテ止ムヲ得サル所ナリ、試験分析等敏捷ニ且ツ完全ニナサント欲セハ然カセサルヲ得ス
今、左ニ掲クル所ノ表ハ、一千九百十四年中ニ行ハレタル試験ノ重モナルモノヲ示シタルモノナリ

醫師診斷

病名	見本全數	積極的	消極的	備考
實布垵里亞	七八、七三六	一四、一九一	九〇、七五六	培養シ得サルモノ、九五五件。感染シタルモノ一七九件。ストレプトコッカスモノ一九一件
腸窒扶斯試驗	三、五六七	七一七	二、六五九	特種ノ形式ナキモノ一九一件
結核患者ノ唾液	六、五五八	一、七九六	四、七六二	疑似二二件。不完全ナルモノ一二件
狂犬病	二三一	一二二		
尿	八九六		九四	
ワッセルマン氏試驗	七七一			

痲毒球菌	二七六			
窒扶斯患者ノ大小便	九四			
雜部	四〇九			

雜種ノ化學的分析

- 食物 一、〇七〇
- 藥品 二二三
- 「タクシコロチカル」 四〇
- 尿 一、四四二
- 局ノ購入品 一、一三八
- 其他市廳内ノ部局ノ購入品 七一
- 警察部 一五二
- 其他ノ試験 二二八
- 空氣流通調査部 一、三二六
- 計 五、六九〇
- 牛乳 五、六九〇

化學的分析……………五〇、三九七

細菌學的檢查……………九、一一四

計……………五九、五一

水……………一、四八五

化學的分析……………四、〇三四

細菌學的試驗……………五、五一

計……………五、五一

探 究 部

試驗所ト相關聯シテ探究部ナルモノヲ設立シ之ヲ試驗所長ノ指導ノ下ニ置キテ然ルヘシトノ問題起リタ
 驗、果シテ之ヲ設立スルノ必要アリヤ否ヤヲ研究センハ敢テ無用ノコトニアラサルヘシ
 既ニ大學ト相關聯シテ諸種ノ探究部ノ設立セラレタルモノアリ、蓋シ此等ノ探究部ハ有志家ノ寄附金ト聯
 邦ノ幫助トヲ以テ維持セラレ、公衆衛生ニ關スル問題ヲ研究スルコトニ專ラ力ヲ盡シ、其結果如何ハ其報
 告ノ公表スル所ニ依リ自カラ明ラカナリ、抑モ此等ノ探究部ノ業務ハ特別ナル研究ヲ主トスルモノニシテ
 之ニ從事スル役員ノ如キハ熟練ナル技能ヲ有スルモノニシテ、其費用ノ如キ決シテ少ナカラサルナリ、是
 レ其好結果ヲ奏スル所以ナリ

既ニ成リ立テル探究部ノ成績斯クノ如クナルカ故ニ、彼ノ試驗所ト相關聯シテ新タニ探究部ヲ設ケンハ固
 ヨリ策ノ得タルモノナルヘシ、然レトモ最初ヨリ規模大ナルモノヲ設ケス、先ツ試ミノ爲メニ單純ナルモ
 ノヲ建テ、其結果如何ヲ視ルコソ得策ナルヘシ

病院浴場及下宿屋取締局

本局ノ活動スル所ハ其名ニ由リテ之ヲ知ルヘク即チ本局ノ業務トスル所ヲ大別スレハ左ノ如シ、曰ク(い)、
 病院。(ろ)、公浴。(は)、市立下宿屋(に)、其他ノ活動範圍是レナリ

本局組織ノ事

局長ハ諸種ノ活動範圍ヲ統御支配シ、又三名ノ檢疫醫師アリテ或ル管轄區域ノ監督ヲ司ルモノトス、而シ
 テ記録ノ大部分ハ各分課ニテ之ヲ取扱ヘルカ故ニ書記助手ノ數ハ甚タ少ナキナリ
 諸種ノ活動範圍ヲ論述スルニ先ンシテ簡短ニ述ヘ置クヘキ必要事件ノアルアリ、本局カ監督權ヲ有スル各
 分課ヲ支配統御スヘキ法令是レナリ、今其概略ヲ左ニ掲ケン

- 海水浴場、端艇、漁獵若ハ海水浴場等ノ營業ヲ爲サント欲スルモノハ必ラス其筋ノ許可ヲ受ケサルヘカ
- ラス
- 浴客用ノ被服ハ衛生委員ノ承認シタル方法ニ從ツテ之ヲ消毒シ、洗濯シ且ツ一回毎ニ乾カサンコトヲ要
- ス

浴場ノ所在地ハ衛生委員ノ視テ以テ差支ヘナシト承認シタルモノナラサルヘカラス、又浴場ニハ端艇、救助筏等ヲ備ヘ置カサルヘカラス

各浴場ニ必ラス一ノ人命救護者ナカルヘカラス、此救護者タランモノハ水ニ溺レタル者ヲ復活セシムル術ニ長シタル者ニシテ、衛生委員カ然ルヘシト見定メタル者ナランコトヲ要ス

各浴場ニハ必ラス肺量器ヲ備ヘ置カサルヘカラス

施薬所、内科及外科ニ屬スル治療薬餌等貧困者ニハ無料タルヘキモノトス

場合ニ依リテハ或ル施薬所ハ其筋ヨリ許可ヲ受ケサルヘカラス、即チ其責任ヲ有スル者ヨリ其設備ノ有様、治療法及醫師ノ姓名住所等ヲ書面ニ認メテ衛生委員ノ許可ヲ得サルヘカラス

衛生委員タランモノハ斯ル許可願ヲ差出シタルカラトテ直チニ許可スヘキモノニアラス、許可スルニ先シテ充分ニ其事實ヲ取り糺サ、ルヘカラス

各施薬所ハ其治療ヲ受ケタル患者ノ氏名年齢等ニ就テハ洩レナク記載シ置カントヲ要ス、而シテ此等ノ書類ハ衛生委員若ハ其代理者來タランニハ何時ニテモ自由ニ閲覽セシメサルヘカラス

苟クモ施薬所ノ主任タルモノハ痘瘡、猩紅熱、實布埜里亞、麻疹、百日咳、狂犬病、腦脊髄膜炎、瘧疾、性眼炎其他傳染病等ノ患者アリタル場合ニハ、直チニ電話ニテ衛生局ニ通知シ、次イテ郵便ニテ報告一センコトヲ要ス

且施薬所經營ノ許可ヲ受ケタルモノハ肺病、腸窒扶斯、微毒及瘧疾ノ患者ニ就テハ其患者ノ姓名住所ト共ニ毎週衛生局ヘ報告セサルヘカラス

又毎月衛生局ヘ左記ノ如キ事實ヲ報告センコトヲ要ス、曰ク一ヶ月間ニ取扱ヒタル患者數及其施シタル治療法等ヲ衛生局ヘ報告セン事ヲ要ス、但シ其報告スヘキ疾病ニ就テハ、適當ノ類別法ヲ爲サンコトヲ要ス

病院、病院トハ一時若ハ繼續シタル時日間二人若ハヨリ多クノ病者、負傷者及附添人ヲ收容シ、或ハ身心ノ何レカニ異狀ヲ呈シタルモノヲ治療スル所是レナリ、其他水療法若ハ「マツサトヂ」ヲ施コス所モ亦是レ病院ノ中ニ編入スヘキモノナリ

産婦病院、是レハ一人若ハヨリ以上ノ産婦ヲ收容シ及看護スル所タリ、尙ホ之ヲ詳言センニ分娩ノ將ニ近カラントスルモノ、分娩期ニ際シタルモノ、若ハ分娩後恢復期マテ一ヶ月間若ハ一ヶ月以内産婦ヲ收容スル等皆是レ産婦病院ノ本領ト謂フヘキナリ

右ニ掲ケタル病院ヲ經營セント欲スルモノハ必ラス其筋ノ許可ヲ受ケサルヘカラス、而シテ此設立出願書ニハ其病院ノ所在地、經營者ノ氏名、設備ノ模様、治療ノ種類、醫長等ノ氏名住所等ヲ記載セサルヘカラス

衛生委員ハ斯ル出願書ヲ受ケタル場合、之ヲ許可セサル前願書中ニ記載シアル事實ノ果シテ正確ナルヤ

否ヲ充分ニ調査セサルヘカラス

二九二

法令ノ規定スル所ニ從ツテ病院建築取締局ナルモノヲ設置セサルヘカラス、蓋シ此取締局ナルモノハ衛生委員、建築委員及消防局長ノ數者ヨリ組織セラル、モノトス

各病院ニ於テ患者ヲ收容スヘキ各室ハ患者一名ニ就テ八百立方呎ノ容積ナカルヘカラス、又寢臺毎二箇ニ就テ一個ノ窓ナカルヘカラス、而シテ此窓ハ外氣ト聯絡セルモノニシテ患者一名ニ付一時間ニ二、四〇〇立方呎ノ空氣流通セサルヘカラス、但シ此空氣流通ハ天然ノ作用ニ基クモ或ハ人工ニ因ルモ妨ケナキモノトス、又各寢臺ハ少ナクモ八十平方呎ヲ有セサルヘカラス、此外病院ノ兩翼ニ當ル箇所ハ化粧部屋、浴室、洗濯所及流水ノ設備ナカルヘカラス、尙ホ此病院全般ノ事ニ就テ之ヲ云ハンニ、上層ニ登ルヘキ段階ナカルヘカラス、又出口及出火避難口トシテ適當ノ設備ナカルヘカラス

各病院ノ建物中ニハ傳染病隔離所ニ充ツヘキ適當ノ室ナカルヘカラス
或ル病院ニ關係セルモノハ何人ト雖モ入院患者ノ死亡シタル場合、其死體ヲ二十四時間以内ハ設ケノ個所ヘ移スコトヲ得ス、但シ死者ノ家族中ノ何人カノ承諾ヲ得タル場合ハ此限ニアラス
總テ患者ニ關スル記録ハ最モ完全ニ整理シ置カサルヘカラス、且ツ産科病院ナランニハ分娩ノ時月、男女別及各生兒ノ處分等一々記載シ置カンコトヲ要ス
病院ノ監督者ハ之カ責任ヲ有スルモノハ、痘瘡、雞痘、實布埤里亞、猩紅熱、麻疹、耳腺炎、日耳曼麻

疹、嬰兒痲疹症、其他衛生委員ノ傳染病ト認定シタルモノアリタランニハ、其都度電話及郵便ニテ衛生委員ノ許ヘ報告セサルヘカラス

又精神病、膨室扶斯、結核病、傳染性腦脊髓膜炎及肺病等ノ患者ニ就テハ每週報告センコトヲ要ス、而シテ毎月報告セサルヘカラサルコトアリ、即チ治療シタル患者ノ員數、疾病ノ類別、一ヶ月間ニ死亡シタル患者ノ氏名住所及其死因等はレナリ、又産科病院ニアリテハ收容シタル及退院シタル患者ノ員數、其生兒ノ處分方及治療ノ結果等ヲ報告セサルヘカラス

或ル醫師、產婆若ハ看護婦カ許可サレタル産科病院ニアラスシテ、自宅或ハ其他ノ箇所ヘ或ル婦人ヲ收容シ置カンハ是レ違法ノ行動ト謂フヘキナリ
幼兒保管所、公立幼兒保管所ナルモノアリ、是レハ三歳未滿ノ幼兒ヲ其兩親ヨリ二十四時間以上預カリテ乳育シ保育スル所トス

幼兒保管所ヲ設立セント欲スルモノハ先ツ其筋ヨリ許可ヲ受ケサルヘカラス、而シテ其許可願ヲ差シ出サンニハ其設置ノ箇所、諸設備及其主任者ノ氏名等ヲ委シク認メンコトヲ要ス
當局者カスル願書ヲ收受シタランニ場合ニハ其所在地及諸設備等ヲ充分ニ調査シタル結果不都合ナシト認メ、而シテ之カ監督者ノ品性上缺點ナク且ツ此業務ヲ遂行スルニ足ルヘキ智識ヲ有シ居ルコトヲ認メ得タランニハ之ヲ許可スヘキモノトス、苟クモ幼兒保管所ヲ經營セント欲スルモノハ規定ノ帳簿ヲ備ヘ

二九三

置カントコトヲ要ス、而シテ之ニ記載スヘキ事項ハ收容シタル幼児ノ氏名、年齢、男女別、收容時月、依頼者ノ氏名、出來得ヘクンハ其父母ノ氏名、住所、生國、宗教及職業、幼児引取ノ時日及其引取人ノ氏名住所等是レナリ

又毎月衛生委員ノ許ヘ報告セサルヘカラス、其報告ニハ一ケ月中ニ收容シタル幼児ノ氏名、年齢及男女別等ヲ記載センコトヲ要ス

病院

今左ニ記載スル所ノ病院ハ衛生局ノ管轄指導ノ下ニ行動スルモノナリ、即チ傳染病院、隔離病院及「イロキウス」記念病院是レナリ

傳染病院、此病院ハ只夕寶布埤里亞患者ヲ收容スルニ過キス、而シテ寢臺ハ正面六十五臺ニ過キサレモ實際必要アル場合ニハ八十名ノ患者ヲ收容スルニ足ルヘキナリ、此病院ニ二階及地下室ヨリ成レル五棟ノ建物ヨリ成レルモノニシテ回廊ヲ以テ互ニ聯絡セリ、中ニ就テ三棟ハ患者ヲ收容スルノ箇所ニ充テ左ノ如ク區分セリ、男子ト六歳以上ノ男兒ヲ入ル、所、女子ト六歳以上ノ女兒ヲ入ル、所、六歳未満ノ男兒、女兒及嬰兒ヲ入ル、所、其他幼兒ノ肺炎ニ罹レルモノヲ隔離スル室ノ如キ是レナリ、尙ホ之ニ加フルニ病院内ニ於テ發生セル猩紅熱及麻疹患者ノ隔離室ニ充ルモノアリ

又他ノ二棟ノ建物ハ事務員ノ占ムル所トス、抑モ此病院ハ今ヲ距ル二十年前ノ建設ニ係ルモノニシテ、光

線ノ射入空氣ノ流通等皆其宜シキヲ得ルト雖モ、地下室ノ設備甚行キ届カス、現代式病院トシテノ必要ナル部分之レナキナリ、然レトモ諸ロノ設備ヲシテ如何ニモ利便多カラシムル様注意能ク行キ居レルカ故ニ大ニ其缺點ヲ補フコトヲ得ヘキナリ

此病院ハ適當ナル資格ヲ有スル監督醫師ノ指導ノ下ニ置カル、ナリ、此病院ノ現況ヲ視ルニ諸事善ク整頓シテ其行動宜シキヲ得タルハ、以テ其能力如何ヲ測知スルニ足ルヘキナリ

此監督醫師ト其助手二名トヲ以テ醫事ヲ司リ居レリ、其他看護婦十七名アリテ充分ナル看護婦ノ業務ニ從事シ居レリ、召使ノ男女監丁等ヲ合セテ病院本部ノ業務ニ従事シ、皆病院構内ニ住居シ居レリ

此病院ノ狀況ヲ視察スルニ到ル所清潔法善ク行キ届キ居リ、其事務取扱ノ如キモ整然トシテ秩序善ク行ハレ居ルヲ視ルヘク、又患者見舞トシテ病院ニ來ルモノモ病毒ニ感染セス、又此見舞客カ病毒傳播ノ媒介者タラシメサル様適當ノ方法ヲ取り居レリ

移送課、此病院ト聯絡シテ移送課ナルモノ、設ケアリ、病院監督ノ指導ノ許ニアリテ傳染病患者ヲ夫々病院ヘ移送スルコト司ルモノ是レナリ、而シテ此等ノ移送ヲ受クル病院ハ傳染病及隔離病院ナリト知ルヘシ斯クテ此移送課ニハ現代式自働車五臺ヲ備ヘ付ケ置キテ、其一臺毎ニ醫師一名、運轉手一名及召使一名附屬シ居レリ

患者移送ノ方法手順ハ傳染病取扱方ノ部分ニ既ニ叙述シタレハ今茲ニ贅セス、又移送課ノ行動ニ就テハ備

附ノ帳簿ニ一々記轉センコトヲ要ス、患者ヲ自働車ニ載セテ他ノ病院へ送りタラン場合ニハ、其自働車ノ返リ來ラサルニ先ンシテ他ノ部局へ電話ニテ自働車ヲ要スヘキ患者ノ有無ヲ問ヒ合サンコトヲ要ス、此外市役所ニハ中央移送課ナルモノアリ、是レハ傳染病以外不時ニ發生シタル患者ヲ自働車へ載セテ夫々送り届ケルノ用ヲ爲スモノナリ、而シテ此移送課ハ警察署ノ監督支配ヲ受クヘキモノトス、何カ爲メニ此監督支配ヲ警察署ニ歸セシメシカ、其理由ハ之ヲ知ルニ由ナキナリ

今此移送課ノ行動及行政ノ經濟上ヨリ之ヲ視レハ、此事業ヲ衛生局ノ管轄ニ移サンコト然ルヘシト思ハル之ヲ衛生局ノ管轄トナシタランニハ諸事一ノ頭首ノ下ニ取扱ハレ、中央部ニ於テ必要ニ應スルコトヲ得ヘケレハナリ、若シ夫レ新タニ傳染病院カ完成シタランニハ、其敷地内ニ大ナル車庫ヲ備ヘ置キテ移送ニ要スル自働車ヲ納ルコト、セハ、充分ナル活動ヲ視ルヘキナリ、然レトモ市ノ大部分ノ必要ニ應センニハ小規模ノ移送課モ亦是レナカルヘカラス

隔離病院、是レハ傳染病院ノ敷地内ニ置クモノナレトモ諸口ノ設備全ク傳染病ト別々ナラサルヘカラス、但シ此隔離病院ニハ痘瘡患者ノミヲ收容スル所ト定メラレタリ、三十五臺ノ寢臺ヲ据ヘ付ルニ足ルヘキナレトモ、必要ノ場合ニ際シテハ五十名ノ患者ヲ入ル、コトヲ得ヘシ、尙ホ備附ノ天幕ヲ利用シタランニハ痘瘡患者百名ノ看護ヲ爲スコトヲ得ヘキナリ、而シテ此隔離病院ハ男女長幼何レモ皆收容シ得ヘキ設備之レアルカ故ニ先ツ完全ナルモノト謂フヘキナリ

此隔離病院ノ事務ハ慈善團體ノ諸姉妹ノ手ニテ取り扱ハレ居リテ諸事行キ届カサル所ナシ、監督醫師ハ入院患者ノアル場合毎朝來診スルコト、ナリ居ルモ病院構内ニ住居セルモノニアラス、然レトモ其他ノ事務員等ニ至リテハ皆是レ同構内ニ住居スルモノトス、但シ此等ノ住所ハ特ニ之カ爲メニ建設セラレタルモノナリ

此病院ヲ視察シタルニ到ル所清潔ニシテ諸口ノ設備能ク行キ届キ、其他傳染病豫防ノ方法モ亦間然スル所ナシ

「イロキウス」記念病院、是レハ市内人口ノ密集セル方面ニ設立セラレタルモノニシテ規模小ナリ、元來偶然ノ出來事ヨリ設立セラレタルモノナリ、曾テ「イロキウス」劇場ニテ厄災起リシ時人命ヲ損シタルモノ少ナカラサリシカ、其死者ノ遺族ヨリノ寄贈金ヲ以テ設立セラレタルヨリ茲ニ「イロキウス」記念病院トハ命名セラレタルナリ、然レトモ其設立後之カ維持費トシテ金圓ヲ寄贈スルモノナキヨリ、之ヲ市ノ所有トナシテ衛生局ノ管轄スル所トナレリ

右ノ如キ次第ニテ之ニ從事スル人員モ甚タ少ナキナリ、即チ監督醫師一名、醫師一名、看護婦二名及召使僅カニ數名ニ過キサカ如キ是レナリ、此病院ハ全ク一時的救助ヲ爲スニ過キササルモノナリ、決シテ久シク患者ノ看護ヲ爲スモノニアラス、或ル短キ期間内患者ノ治療ヲ爲シタランニハ、本人ノ自宅へ送り返スカ、若ハ或ル他ノ病院ニ移サン事ヲ要ス、此病院ニテハ無代價ニテ狂犬病ノ治療ヲ爲スカ故ニ、何人ニ限

ラス、狂犬ニ咬マレタル者カ治療ヲ願ヒ出テタル場合ニハ直チニ之ニ應ジテ治療ヲ爲スヘキモノトス、而シテ之カ治療券ナルモノハ概シテ合衆國公衆衛生課衛生試験所ヨリ發セラル、モノトス
此病院ヲ視察シタル所ニ依レハ最モ清潔ニシテ其事務取扱ノ如キモ最モ適當ニ運ハレ居レリ

公立浴場

公立浴場ハ市内借家住居ノ貧民部落ニ設ケラレタルモノニシテ都合十八ヶ所ニアリ、蓋シ此等ノ浴場ハ何レモ無代價ニシテ一人何回入浴スルモ妨ケナキモノトス、而シテ男生及男兒ニ對シテハ一週間ニ一回午後四時ヨリ開場スルコト、シ、女生及女兒ニ對シテハ一週間ニ二回同時刻ヨリ開場スルモノトス、又入浴ニ要スル手拭及石鹼ノ如キ皆浴客ノ自辨タルヘキモノトス

浴場ハ其規模概シテ小ナルモ噴霧浴ノ設ケ十四乃至四十ニテ平均一浴場ニシ二十五ノ噴霧浴ノ設ケアル割合ニ當レリ、浴場ノ大多數ハ密閉スヘキ浴槽ノ設ケアリ、且ツ噴霧浴ト相聯絡シテ衣服ヲ脱キ去ルノ箇所アリ、中ニ就テ三四ノ浴場ニハ男生及男兒ニ對シテ明ケ放シノ噴霧浴アリ、然レトモ女生及女兒ニ對シテ密閉セル浴槽ナリト知ルヘシ、此外僅カノ浴場ニテハ幼兒及老婦ノ爲メ管用浴ノ設ケアリ、但シ明ケ放シノ浴槽ハ男生ニ對シテハ然ルヘキモ、女生及女兒ニハ用フヘキモノニアラス、概シテ之ヲ言ヘハ密閉セル浴槽コソ望マシケレ

浴場ノ多數ハ二階立ニシテ地下室ヲ利用スルコト、ナリ居レリ、而シテ湯釜、貯水「タンク」、及洗濯所ノ如キハ皆地下室ニ設ケラル、モノト知ルヘシ、浴槽ハ第一ノ床ニ設ケラル、モノニシテ二階ニハ四室乃至五室ノ設ケアリ、此等ノ室ノアルモノハ浴場監督ノ住居ニ充テラル、アリ、或ハ其他ノ目的ニ利用サル、コトアリ

浴客ノ控室ナルモノハ概シテ小サキモノナリ、故ニ浴客中自分ノ順番ノ來ルマテハ控室ノ外ニ立ツコトアルハ珍ラシカラサルナリ、サレハ新ニ浴場ヲ建設スルモノハ相當ノ控室ヲ設ケンコトヲ要ス、浴場ノ多數ハ其設備僅カニ可ナリト許スニ過キサルヘシ、階子段ノ修繕ヲ必要トスルモノアリ、内部ニ「ペンキ」ノ塗替ヲ要スヘキ箇所アリ、洗濯場ノ水管ノ取替ヲ要シ又或ル箇所ノ如キ蒸氣裝置ノ改良ヲ必要トスルモノアリ、之ヲ概言スレハ不完全ナル箇所少ナカラサルナリ

活動、浴場ノ掛員ハ限リアル少數ニシテ適當ノ活動ヲ爲サンニハ不充分ナリト云ハサルヘカラス、是レ資金ノ乏シキニ基ツク所ナレハ亦止ムヲ得サル次第ナリ、尙ホ之ヲ詳言センニ各浴場ニ監督一名ト婦人ノ召使一兩名ニ過キス、而シテ監督ト云ヘハ其名如何ニモ立派ナル様ニ聞ユレトモ其實決シテ然ラス、今其司トル所如何ト云フニ浴客ヲ受ケ付ケテ順番ヲ逐フテ入浴セシメ、湯ノ温度ヲ加減シ、入浴時間ヲ定メ、或ハ火夫トナリテ働ラキ、或ハ書記トナリテ浴客ノ員數ヲ記載シ、之ヲ其筋ヘ報告スル等皆是レ監督ノ職責ニ屬スルモノナリ、其外早朝ハ破損ノ箇所ヲ修繕シ、管線及「ベンキ」等ニ異狀ナキヤ否ヲ視察スルコトモ其業務ニ屬スヘキナリ、一言以テ之ヲ蔽ヘハ浴場全般ノ事ニ注意シ諸事都合善ク行ハシムヘキ責任アルコト是

レナリ、又婦人ノ召使ノ爲スヘキ事如何ト云フニ手拭ヲ洗濯シ之ヲ沸煮ジ、風呂場ノ掃除ハ云フマテモナク全般ノ清潔ナランコトニ注意シ、婦人少女ノ入浴中ハ直接ニ便利ヲ與ヘンコトヲ要ス、又浴客カ數名一組トナリテ着物ヲ脱キテ入浴シ再ヒ着物ヲ着ルマテノ時間ハ凡ソ二十分間ナランコトヲ要ス、而シテ浴客カ其使用シタル手拭ハ監督ノ目ノ行キ届クヘキ箇所ニ戻シ置カンコトヲ要ス、是レ紛失ノ豫防法ト知ルヘシ浴場ノ活動振ハ先ツ行キ届キタルモノト謂フヘキナリ、其建物ノ外觀清潔ナリト云フモ過語タラサルナリ、然レトモ最良ノ結果ヲ得ンニハ掛員少ナント云ハサルヘカラス、是レ資金ノ不充分ナル結果ニ外ナラサレハ止ムヲ得サルノ次第ト云フヘキナリ

此等ノ浴場ハ元是レ貧民屈ニ設ケラレタルモノナレハ其近邊ノモノ、便利ヲ得ルコトハ今更云フヲ要セサルナリ

衛生局ハ斯ル浴場ヲ擴張センコトヲ希望シ新規ニ浴場ヲ建設スヘキ出願人ノ多カランコトヲ望ムモ、何分資金ノ多額ヲ要スル次第ナルヲ以テ其擴張策ハ容易ノ事ニアラサルナリ

市立下宿屋ノ事

市ハ二種ノ下宿屋ヲ設立シテ下層人民ノ利便ヲ計レリ、即チ一ヲ中央下宿屋ト云ヒ他ノ一ヲ支部下宿屋ト云フ、但シ支部下宿屋ノ方ハ二組トナリ居レリ、而シテ此中央ト支部トヲ併セテ毎夜始ト四千四百人ヲ宿ラシムルニ足ルヘキナリ、中ニ就テ市ノ所有ニ屬スヘキモノハ僅カニ一アルノミ、從來是レ消防署トシテ

用ヒラレタルモノナリシカ、之ヲ修繕改造シテ目今ノ下宿屋トハナシタリシナリ、且ツ此建物ハ甚タ古クシテ下宿屋トシテハ全ク適當ナリト云フヘカラス、他ノ二軒ハ借家トシテ貸シ與ヘタルモノナリ、市内下層ノ貧民ヲ宿泊セシメンニハ一層廣大ナル下宿屋ヲ設立シテ諸事充分ニ準備スルノ必要ナクンハアラス、衛生局ニ於テモ既ニ其必要ナルコトヲ認識シ適當ノ處置ヲ取ラント爲シ居レリ

事務取扱ノ中心ハ右市有ニ屬スルモノ、中ニアリテ諸帳簿類モ矢張同所ニテ整理シ居レリ、初メテ宿泊ヲ願ヒ出ル者、飢寒ニ迫レル者、身心共ニ勞働ニ耐ヘサル者等來リテ宿泊ヲ許サル、ナリ、其他ノ者ニ至リテハ支部ナル下宿屋ノ方ニ送付セラル、モノトス、此種ノ下宿屋ニテハ僅カニ床アルノミニシテ寢具等ノ準備更ニ之レナキナリ、然レトモ嚴寒耐ヘ難キ場合ニハ各下宿人ニ對シテ一枚ツ、ノ「ケット」ヲ渡サル、ナリ

行動、一ノ監督ニシテ三ヶ所ノ下宿屋ヲ管理シ、監督ハ其内最モ大ナル下宿屋ニ其本據ヲ据ヘ置キ、助手一名書記一名其指揮ノ下ニアリテ帳簿類ヲ整理シ居レリ、又監督ノ助手トシテ働ク者都合十一名及召使トシテ勞ニ服スルモノ都合十六名アリ、此等ハ何レモ皆下宿人中ヨリ選抜セラルヘキモノトス

料理人及火夫ノ如キモ亦是レ均シク下宿人ノ中ヨリ選抜セラル、モノニシテホンノ名ノミ給料ヲ附與セラレ、屋内ヲ掃除シ清潔ナラシムヘキ任務ニ從事スル者モ右同様ノ方法ニテ選抜スヘキモノトス

其他身元取調掛トモ云フヘキモノアリ、是レハ宿泊セル者殊ニ初メテ宿泊セル者ニ就テ從來ノ來歴ヲ問ヒ

尋ね、何等カノ技能アルヤ否ヲ確カメ、而シテ何カ有利ナル職業ニアリツカセンコトヲ勸ムルモノトス。宿泊者ハ更ニ料金ヲ納ムルヲ要セス、且ツ午後十時三十分前ニ來泊スルモノニハ珈琲一杯ト麵麩一片ノ三分ノ一ヲ與ヘラル、モノトス、時ニ或ハ天候非常ニ險惡ナラン場合ニハ「シチウ」ノ一皿ヲ給與セラル、コトアリ、但シ朝ニ至リテハ宿泊人全體ヘ珈琲ト麵麩ヲ與ヘラル、モノトス。宿泊所ハ毎日午後五時ヨリ開キテ終夜何時ニテモ來泊スルコトヲ得ヘキモノトス、苟クモ宿泊ヲ願ヒ出ル者ハ決シテ拒絶セラル、コト之レナキナリ、各宿泊人ハ其來ルト同時ニ其姓名ヲ通シ初メテ來リシカ否ラサルカ等掛員ノ質問ニ答ヘンコトヲ要ス、若シ以前ニ來リシコトナク全ク初メテ來リタルモノナランニハ、規定ノ宿泊「カード」ニ其姓名、國籍、年齢、職業、及合衆國內ニ幾年月間在住セシ等ノ事項ヲ記載センコトヲ要ス、來泊セル者幼童ナラン場合ニハ如何ニシテ此所ニ來レルカ其家族ノ有様如何等ヲ問ヒ糺シ、或ハ何等カノ事情ノ爲メニ我家ヲ飛ヒ出シタル事分明ナラン場合ニハ其親元ヘ引取方ヲ申シ遣ハスカ、又ハ送り届ケンコトヲ要ス、其他ノ場合ニ於テハ宿泊者ノ爲メニ何等カノ職業ヲ見出スノ勞ヲ取ランコトヲ要ス。

初メテノ宿泊者ニ對シテハ身體検査ヲ爲サンコトヲ要ス、即チ何等カノ傳染病ニ罹リ居ラサルカ若ハ其他身體ニ異狀ナキ等ヲ検査スヘク、而シテ必要ト認メタランニハ種痘セシムヘキモノトス、若シ疾病ニ罹リ居ランラハ醫師ニ診斷セシメテ郡立病院ニ送ルカ或ハ郡醫ノ許ヘ送ランコトヲ要ス。

寢臺ヲ與ヘタル宿泊人ニ二枚ノ切符ヲ渡サンコトヲ要ス、而シテ其一ハ本人ノ頸邊ニ付ケ置キ他ノ一ハ衣服杯ヲ入ル、袋ニ納メ置カンコトヲ要ス、斯クテ此宿泊人ハ衣服ヲ脱キテ入浴シ、夜間用ノ「シャツ」ヲ服シテ寢ニ就クヘキモノトス、斯クテ翌朝ニ其切符ヲ掛員ニ渡シテ外出センコトヲ要ス、凡ソ宿泊人タランモノハ何人ト雖モ晝間宿泊所ニ留マルコトヲ得ス、宿泊所中ニテハ喫煙スルコトヲ禁ス、午後來リタル宿泊人カ前夜宿泊シタルモノナランニハ、其所有セル「カード」ニ記號ヲ付シテ支部宿泊所ノ方ヘ行カシメンコトヲ要ス。

各宿泊所ニハ臺所ヲ用意シ置クヘク、且ツ麵麩及珈琲ヲ飲食セシメンカ爲メニ粗末ナル食卓ヲ据ヘ置カンコトヲ要ス。

宿泊所ハ年ノ十月半ハニ之ヲ開キ六月十五日ニ至リテ之ヲ閉鎖スヘキモノトス、年ノ初秋早々ハ宿泊人割合ニ少ナキモ寒天ノ近ツクニ從ツテ速カニ増加シ春季マテハ幾千カノ増減アルモ先ツ左マテノ變動ナシト謂フヘキナリ、過去二ケ年間ノ宿泊人ノ員數如何ト云フニ著シク増加シタルヲ見ルヘキナリ、而シテ目今ノ所ニテハ毎夜宿泊人平均四千人ナリシト云フ。

市立無料宿泊所ハ之ヲ視察シタルニ何レモ皆清潔ニシテ其事務取扱方ノ如キモ完全ナリト謂フヘキナリ「ラフス、ジウス、ホテル」私立ニ屬スル宿泊所モ亦是レ少ナカラサレトモ、今一々之ヲ掲クルノ必要ナキナリ、然レトモ中ニ就テ「ラフス、ジウス、ホテル」ノ如キハ最モ好模範タルヘケレハ今簡短ニ之ヲ述ヘンハ無

用ノ事ニアラサルヘキヲ信ス、而シテ此「ホテル」ニテハ中央室ニテ一ノ寢臺ヲ占メント欲セハ料金五錢ヲ納ムヘク、十錢ヲ納メタランニハ一ノ私室ヲ給與セラルヘキナリ、又此「ホテル」ニハ五百二十臺ノ寢臺、廣キ浴場、洗濯場、控室及食堂等ノ設ケアリ、麵飽、珈琲及「シチュー」等各五仙宛ニテ買ヒ得ラルヘシ、宿泊人ハ寢臺及食費トシテ若干ノ金錢ヲ仕拂フヘシト雖モ、其實代價ト云ヘルハホンノ名ノミニシテ無代價ナラスト云フニ過キス、決シテ之カ爲メニ些カニテモ利益ヲ得ント欲スルモノニアラス

宿泊所ノ視察、宿泊所創設當時ハ衛生局カ其實況如何ヲ視察シタリシカ、其視察官ノ員數ニ限リアルヲ以テ完全ナル視察ヲ爲スコト能ハサリシナリ、又州ニ於テ數名ノ視察官ヲ派遣シテ市内ノ宿泊所ヲ視察スルコト、ナシタリシカ、市ノ側ニアリテハ法令ヲ發シテ宿泊所タランモノハ一人ニ就テ空間ノ立方呎若干ト定メ其他換氣法等々規定スル所アルカ故ニ、此宿泊所視察ノ事ハ市衛生局ノ任務トナシテ益々其業務ヲ擴張センコト得策ト云フヘキナリ

其他ノ活動機關

此活動機關ノ範圍ニ屬スルモノ如何ト云フニ、病院、施療所、養育院、幼兒保育所及海水浴場ノ如キ諸團體ヲ監督視察スルモノ是レナリ、今此等ノ團體中ノ或ルモノヲ新設セン事ヲ出願スルモノアランカ、斯ル場合ニ於テハ之ヲ認可セサルニ先シテ充分ニ注意ヲ密ニシテ其實況如何ヲ視察セサルヘカラス、既ニ此等ノ團體カ成立シタランカ、一ケ年間ニ二回嚴重ナル視察ヲ爲サンコトヲ要ス、乃チ其視察ノ要點ハ此等

ノ諸團體ノ行動カ果シテ規定ノ法令ニ適合シ居ルヤ否ナ、又其衛生狀態其宜シキヲ得タルヤ否ヲ見定メンコト是ナリ、而シテ其視察ノ結果矯正改良スヘキ點アリテ之ヲ其團體ノ當事者ニ注意シタル場合アリトセシカ、斯ル場合ニ於テハ彌ヨ其矯正改良ノ實行セラル、マテハ數々巡視シテ督促センコトヲ要ス

此機關中ニハ三名ノ醫師視察官ナルモノヲ任用セルカ、其任務トシテ特別ナル視察ヲ爲サルヘカラス、故ニ通常一般ノ視察ヨリ一層重キモノナリ、且ツ毎朝視察スヘキ事務ヲ事務所ヘ申シ置キテ出張スルヲ例トス、其他此機關ニ於テ爲スヘキ行動ハ各所ノ海水浴場及游泳池ニ於ケル人命救護者ニ任命セラルヘキ者ヲ試験スルコト是レナリ、而シテ此救護者タランコトヲ志願スル者ハ水中ヨリ人ヲ救ヒ上ケル事及一見溺死状態ニ陥井レルモノヲ蘇生セシムル事ニ就テ實地試験ヲ受ケサルヘカラス、斯クテ此等ノ試験ハ體操場ノ一ニテ行ハンコトヲ要ス、又此志願者タランモノハ自カラ斯ル業務ニ最モ適シタルコトヲ證明センコトヲ要ス

行政ノ事

此機關ノ行政ハ最モ善ク取扱ハレ僅カニ限リアル掛員ニテ著シキ事業カ成シ遂ケラレタリ、此機關ノ指導ノ下ニ諸種ノ部局アリテ何レモ善ク整頓シ資金ノ割合ニハ其維持法最モ能ク成リ立チ居レリ今左ニ掲クル所ノ表ハ一千九百十四年中ニ成シ遂ケラレタル事業ナリト知ルヘシ

傳染病院

三〇六

治療シタル患者全數 一、三二八

治療シタル實布埜里亞患者全數 一、二六一

喉頭實布埜里亞患者全數 二一九

同上死亡全數 一〇五

死亡全數 一四三

隔離病院(痘瘡)

入院シタル患者全數 七四

種痘、天然痘患者全數 一、三二二

「イロキウス」紀念病院

入院シタル患者全數 一、四二六

治療シタル院外患者全數 五、三三二

治療シタル患者全數 一六、六六八

狂犬病(新患者)治療全數 二三四

狂犬病(舊患者)治療全數 四、六六三

「ワツセルマン」氏試驗全數 四二八

移送課

晝間移送全數 一、三五一

夜間移送全數 七三八

病院へ移シタル傳染病患者

患者全數 一、五五九

實布埜里亞 六九九

猩紅熱 一二八

麻疹 六七

痘瘡 六七

浴場

入浴者全數 八一六、三二八

男生 五五二、八〇六

幼男 一三九、一二〇

女生 四九、二七八

幼女 七五、一二四

無料宿泊所

宿泊者全數

四五二、三六一

初メテ宿泊シタル者

二七、七三三

視力検査數

三六三、八六九

・病者ト診断セラレタル者

五、五五九

雜部

視察

病院(初等)

一八七

養育院(初等)

一四七

施療所(初等)

三七

幼兒保育所(初等)

二〇

海水浴場

二六

游泳所

二八

浴場

五〇

無料宿泊所

一六

一 告發事件調査

六六

特別事件調査

二三

病院設計承認

四

衛生事務視察局

此視察局ノ業務タルヤ廣大ナルモノニシテ其分科ノ如キモ決シテ少ナカラサルナリ、故ニ恐ラクハ各分科ニ就テ詳ラカニ論述セン方一層明瞭ニ了解セラレヘキナリ、今其行政上ノ便利ヲ計リテ之ヲ分チテ九課ト爲スヘキナリ、即チ設計検査課。垂直測量課。換氣取締課。料理店及麵麩屋取締課。工場及厩舎取締課。雜部。告發課。訴訟課。及書記課是ナリ

右ノ内六課ハ夫々監督直轄ノ下ニアリ、雜部ハ助手局長監督ノ下ニアリ、設計検査課及其事務局ハ設計検査官及書記長ノ指導ノ下ニアルヘキモノトス

右ノ如ク分課ニハ夫々掛員之レアリト雖モ、其掛員ノ員數ニ至リテハ時季ノ如何ニ依リテ増減ナキコト能ハス、年ノ春季ニ際シテハ各課トモ認許狀ヲ發スルノ時季ナルカ故ニ自ラ其掛員ヲ増加セサルヘカラス夏季ニハ告發ノ數増加シ冬季ニハ毎戸ノ視察官ヲ増加センコトヲ要ス

設計検査課

此課中最モ重ナル業務ノ一ハ新タナル建築物ノ構造如何ヲ検査スル事、現在ノ建物ニ就テ何等カノ模様替

ヲ爲シ或ハ修繕ヲ加フルノ場合ニ於テ之ヲ検査スル事、或ハ普通ノ家屋ヲ變造シテ借家トナシ、料理店トナシ、活動寫眞場トナスノ場合ニ於テハ最モ嚴重ニ検査セサルヘカラス

然レトモ設計検査ヲ實行スルニ就テハ一千八百八十一年ニ發布セラレタル州ノ法律及建物ノ建築、模様替、修繕等ニ關スル命令ニ從ハサルヘカラス

一ノ検査長官及三名ノ助手ハ建築ノ検査ヲ爲スヘキ權能ヲ附與セラル、ハ云フヲ要セス、其他建築工事ニ小問題ノ如キハ自分等ノミニテ裁決ヲ下スコトヲ得ヘキモノトス、而シテ此等ノ検査官カ建築物ノ検査ヲ爲スニ際シテ、其設計ノ或ル部分、換氣法、垂直測量等ニ關シテ疑ハシキ點之レアリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ其實況ヲ監督検査官ノ前ヘ提出センコトヲ要ス、斯クノ如クナシタル上ニテ夫々適當ナル處置ヲ取ランコトヲ要ス、或ハ建物ノ設計カ餘程複雑ナシ且之ヲ検査シタル結果、法令ノ趣旨ニ違犯シタルコト之レアリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ衛生局長及次長ノ許ヘ提出シテ之カ裁決ヲ仰カンコトヲ要ス、蓋シ其裁決ハ最終タルヘキモノニシテ復々動カスヘカラサルモノトス

右ニ述ヘタル事柄ヲ尙ホ一層委シク言ハンカ、或ル者ヨリ爾々ノ建物ノ設計ヲ提出シテ之カ許可ヲ願ヒ出テタル場合ニハ夫々規定ニ從ツテ検査センコトヲ要ス、即チ光線ノ射入、垂直測量、換氣法及室ノ大サ等ヲ検査シ、其検査ノ結果トシテ不完全ノ箇所之レアルコトヲ見出シタルトセンカ、斯ル場合ニ於テハ其出願者ニ對シテ適當ニ改ムヘキコトヲ注意シ、若ハ建築技師ニ書面ヲ以テ其旨警告センコトヲ要ス、既ニシ

テ検査官ノ要求シタル通りニ改メテ不都合ナル點之レナシト認メタランニハ、更ニ之ヲ書記ノ許ヘ回送シ、書記ハ此設計ヲ寫眞室ニ送付シテ撮影シ、他ノ複雑シタル書類ト共ニ保存シ置カンコトヲ要ス

或ル定式ノ新築ト相關聯シテ起リタル問題ハ至テ單純ニシテ左マテ重大ナラスト雖モ、兎ニ角法令ノ規定スル所ニ違犯シタル場合之レアリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ其新築ノ或ル部分ヲ改築シ變造セサルヘカラス、是レ固ヨリ當然ノ處分ナレトモ其改築シ變造スル度合如何ニ關シテ終ニ大問題トナレルコトハ決シテ珍ラシカラサルナリ、故ニ設計検査ニ就テハ最モ深キ注意ヲ拂ハサルヘカラス、サレハ斯ル検査ノ任ニ當ルモノハ管ニ専門ノ技能ニ堪能ナルノミナラス、世間ノ事態ニ關シテ確乎タル判斷力ヲ有セサルヘカラス

成規法令ノ梗概、凡ソ建築ニ關スル法令成規ナルモノハ其範圍甚タ廣大ナルカ故ニ、簡短ニシテ其要領ヲ洩ラサ、ル様述ヘンコトハ經驗上甚タ困難ナリト云ハサルヘカラス、今左ニ掲タル所ノ事項ハ建築ニ關スル法令ノ成ルヘク簡明ヲ主トセル畧說ナリ、殊ニ借家ノ衛生上ニ關係スルコト少ナカラサルコトニ深ク注意ヲ拂ヒタリ

右法令ノ規定スル所ヲ舉クレハ左ノ如シ

凡ソ或ル屋舎ヲ建築シ若ハ或ル建物ノ一部分ヲ變更セント欲スル場合ニハ先ツ其筋ヨリ認可ヲ受ケサルヘカラス、其認可ヲ受ケンニハ其設計ヲ書面ニ認メテ衛生委員ノ手許ヘ差シ出シテ検査ヲ願ヒ適當ノ手

續ヲ踐マサルヘカラス、而シテ其設計書ニハ、室ノ換氣法、光線ノ射入、空氣拔、窓、下水疏通及垂直測量等ヲ認メシコトヲ要ス、其外水道管及防火裝置等ニ關シテ消防署長ノ認可ヲ受ケサルヘカラス

建築技師ノ作成シタル設計圖等ヲモ併セテ提出センコトヲ要ス、蓋シ此設計圖ナルモノハ最モ適當ニ最モ精密ニ作成シタルモノニシテ水管下水ノ疏通等ヲ記載スヘキモノトス

或ル家屋ヲ建築シ、變造シ若ハ修繕セント欲スルモノハ、其設計ヲ建築委員ノ許ヘ差シ出サ、ルヘカラス、而シテ其實際ノ建築ハ右建築委員ノ承認シタル設計通りニ爲サ、ルヘカラス、然ルニ實際ノ建築ニシテ其設計ト相違スル所アランカ、例之ハ其建物ノ出口、換氣法、日光ノ射入若ハ衛生狀態ニシテ建築委員ノ承認シタル設計ト相違スル所アランカ、是レ取リモ直サス建築取締上ノ法令ニ違犯スルモノニシテ先キニ附與セラレタル認可ハ取消サル、モノトス

既ニ或ル建物ノ建築、模様替若ハ修繕ヲ爲スヲ得ヘキ認可ヲ受ケタルモノト雖モ、承認ヲ受ケタル設計ト相違スル場合之レアランカ、斯ル場合ニ於テハ建築委員若ハ衛生委員及其助手タランモノハ直チニ其工事ヲ中止シ且其建築ニ關係セル一切ノ人ニ其業務ヲ中止セシムヘキ權能ヲ有スルモノトス

其筋ヨリ建築認可ヲ受ケタルニアラスンハ如何ナル工事受負人若ハ建築師タリトモ其工事ニ着手スルコトヲ得ス、若シ斯ル認可ヲ受ケサルニモ拘ラス其工事ニ着手シタル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ建築委員及其助手タランモノハ直チニ其工事ヲ中止セシムヘキ權能ヲ有スルモノトス

建築ノ類別、今之ヲ大別シテ三種トス、(イ)、(ロ)、(ハ)ノ三種是レナリ

(イ)種ハ役所若ハ事務所ニ充ツヘキ各建物及俱樂部式ニ屬スル各建物ヲ包含セルモノニシテ、二十人以上内ヲ宿泊セシムルニ足ルヘキ設備アルモノヲ云フ

(ロ)種ハ旅館、俱樂部、宿泊所及間貸等ヲ包含セルモノニシテ、二十人若ハヨリ多數ヲ宿泊セシムルニ足ルヘキ設備アルモノヲ云フ

(ハ)種ハ病院、病者、微弱者、自癩若ハ幼童ヲ收容スル所、監獄、警察署、養育院、感化院、留置所及養老院等ヲ包含セルモノニシテ、十名以上ヲ宿泊セシムルニ足ルヘキ設備アルモノヲ云フ

右ニ掲ケタル各建物ニハ法令ノ規定スル所ニ適當スル相當ノ廣サヲ有スル中庭ヲ有スヘク、座室及寢室等ニ充ツヘキ各室ニハ少ナクモ一箇所ノ窓ナカルヘカラス、但シ此窓ハ街路若ハ中庭ニ向ツテ開閉スヘキ戸アラントトヲ要ス、且此等ノ窓ハ皆硝子張りニシテ其大サハ其床ノ面積ノ一以内ナルヲ許サス、而シテ其窓ハ少ナクモ其上部半面ハ上下スルコト自由ナランヲ要ス、然レトモ監獄、警察署、留置所等ノ寢室ニハ窓ノ必要之レナキモノトス、但シ空氣流通ノ必要アリト認メタランニハ器械力ヲ應用シテ之カ流通ヲ計ランコトヲ要ス、其應用ノ器械ハ衛生委員ノ承認ヲ經サルヘカラス

又右ノ如キ各建物中ノ食器部屋、浴場、大小使所等ニハ必ラス一ノ窓ナカルヘカラス、其窓ノ大サハ其箇所ノ床ノ面積ノ十分ノ一ナランコトヲ要ス、而シテ其窓ノ戸ハ街路若ハ中庭ニ向ツテ開閉スヘキ様作

ランコトヲ要ス、若シ斯ル室カ二階ニ設ケラレタランニハ硝子製ノ天窓ヲ作リテ光線ノ射入ト空氣ノ流通トヲ計ランコトヲ要ス、然レトモ此等ノ室カ或ル役所、俱樂部若ハ旅館ニ利用セラル、場合アランニハ、其筋ノ認可ヲ經タル換氣法ニ空氣ノ途ヲ啓カンコトヲ要ス
 器械力ヲ用ヒテ室内ノ換氣法ヲ計ラント欲スル場合ニハ、衛生委員ノ代理者ノ面前ニテ容積測定法ノ試験ヲ爲サ、ルヘカラス、而シテ此等ノ換氣法ハ衛生委員ノ承認ヲ經サル以上ハ適法ナルモノト云フヲ得ス

寢所、寢所ニ充ツヘキ室ニハ必ラス二箇所以上ノ窓ナカルヘカラス、而シテ其窓ノ大サハ其床ノ廣サノ十分一ナランコトヲ要ス、且其窓ノ戸ハ街路若ハ中庭ニ向ツテ開閉セラルヘキ様作ランコトヲ要ス、又斯ル寢室ニ於ル立方呎ハ每一人ニ就テ四百立方呎ナクンハアルヘカラス

(ハ)種ノ建物ニシテ二階建以上ナランニハ防火的設備ナカルヘカラス、即チ火災除、水ノ堅管、持運ヒニ便ナル唧筒及消火設備等はレナリ

又第三級ニ屬スヘキ建物アリ、家族ノ住居スヘキ家屋、格納庫(自動車等ノ)若ハ厩舎等之ニ屬スルモノトス而シテ此等ノ建物ニ要スル敷地ハ五百立方呎以内ナランコトヲ要ス、

而シテ此等ノ建物ニ於テ人ノ住居スヘキ各室ニハ一箇所若クハヨリ以上ノ窓ヲ設ケンコトヲ要ス而シテ其窓ノ大サハ其室ノ床ノ廣サノ十分一ナランコトヲ要ス、又其窓硝子ハ十方呎以内ヲ用フヘカラス、且

斯ル室内ノ床ハ十方呎以上ナランコトヲ要シ、其床ヨリ天井マテノ高サハ八呎六吋以内ナルヲ許サス然レトモ其屋根ニ接近セル部分ノ大半ハ八呎六吋ノ高サニシテ可ナリ、又斯クノ如キ室ノ空間ハ共計七百五十立方呎アランコトヲ要ス

第三級ニ屬スル建物ヲ建築スルカ若ハ在來ノモノヲ改造シテ此種ノ建物トナシタラン場合、此内ニ設ケル所ノ臺所浴場及兩便所等ニハ、少ナクモ一箇所ノ窓ナカルヘカラス、但シ其窓ハ硝子張ニシテ六方呎アランコトヲ要ス

第四級、寺院、宴會場、舞踊場、集會場、活動寫眞、見世物、小劇場、「スケーティング」場及其他ノ遊技場等皆此種ニ屬スルモノト知ルヘシ

第五級、公開ノ劇場、其他三百人以上ヲ入ル、ニ足ルヘキ集會所、或ハ常設館ニシテ景色及演劇等一定ノ演劇者ノ技藝ヲ演スル箇所等皆此種ニ屬スヘキモノトス

第六級、各借家及一家屋内ヲ數部ニ分チテ一家族若ハヨリ多クノ家族ニ貸與スヘキ構造トナリ居レル家屋等皆此種ノ内ニ含マル、モノト知ルヘシ

新借家建設ニ關スル法令規則ハ其範圍甚タ廣キモノナレトモ、今其概要ヲ擧クレハ左ノ如シ

新タニ借家ヲ建設セントスル者若ハ在來ノ建物ヲ改造シテ借家トナサント欲スル者ハ、共ニ是レ成規定例ニ從ハサルヘカラス、又衛生委員ノ許可ヲ得ルニアラスンハ其建築ニ着手スルコトヲ得ス、好シ又其

借家ハ落成シタリトスルモ衛生委員ノ許可ヲ得サル以上ハ何人ト雖モ之ニ住居スルコトヲ得ス、蓋シ衛生委員カ許可ヲ與フルニ就テハ充分諸事適法ナルコトヲ確メタル上ナラサルヘカラス、例之ハ光線ノ射入、換氣法、垂直測定法、下水處分、火災避難ノ設備及出口等皆是レ成規定例ニ適合セルヲ確メルカ如キコト是レナリ

借家新築願ヲ其筋ヘ差シ出サント欲スル者ハ、其建築地域ノ廣サ位置等詳細ニ記載センコトヲ要ス、又其借家ノ高サハ之ニ近接セル街路ノ幅ノ最モ廣キ箇所ノ半ヲ踰ユヘカラス、在來ノ借家ト雖モ此高サ以上ニ増スコトヲ得ス

現在ノ借家ハ其地域内ニ於テ或ハ之ヲ擴張シ或ハ之ヲ縮少スルモ、之ト近接セル家屋ト相距ルコト十呎以内ナルコトヲ得ス、又其借家ノ後方ノ小路ヨリ相距ルコト十六呎以内ナルコトヲ許サス

或ル地域内ニ借家カ現存シ居ルカ若ハ建設セラレタル場合ニ於テ、其前方若ハ後方ニ當リテ他ノ家屋カ設ケラル、トセンカ、此兩者カ共ニ平家建ナランニハ相距ルノ最限度十呎ナランコトヲ要ス、若シ其建物カ尙ホ一層高キヲ加ヘタランニハ、兩者相距ルノ距離尙ホ五呎ヲ加ヘテ十五呎ナランコトヲ要ス、層一層高キヲ加フル毎ニ同様ナランコトヲ要ス、借家建設ノ位置カ其地域内ノ角ニ當リタル場合ニ於テ之ヲ取り廣ケント欲スルコトアランカ、斯ル場合ニ於テハ其地域ノ八五%以上ニ達スルコトヲ許サス、借家ヲ新築スル場合モ是レ同様ナランコトヲ要ス、然レトモ場合ニ依リテハ九〇%ヲ許サル、コトア

リ、或ル地域中其他ノ箇所ニ於テハ七五%以上ニ達スルヲ許サス

又此等ノ借家ノ後方ニ當リテ若干ノ裏庭ナカルヘカラス、而シテ裏庭ニハ地上ト青空トノ間ニ何等遮キルヘキモノアルヘカラス、但シ此間ニ火災避難ノ設ケアルハ此限ニアラス、此設ケニ要スヘキ箇所ハ幅四呎ヨリ多カラサルモノトス、且此裏面ニ當ルヘキ箇所ハ彼ノ角屋敷ノ特別ナル箇所ニアリテハ少ナクモ八%アルヘク、其他ノ地域ニアリテハ一〇%アランコトヲ要ス、各裏庭カ特別ナル地域内ニアリテ借家立ノ家屋三階建以上ナランニハ一階ヲ加フル毎ニ一%ツ、ヲ増サンコトヲ要ス

新築借家ノ中庭ノ廣サ如何ハ其家屋ノ高サナル階數ニ準スヘキモノトス、又借家ノ週邊街ト相關聯シタル箇所ノ廣サ等ハ法令ノ定ムル所ニ從ハンコトヲ要ス

新築ニ係ル各借家ニシテ人ノ住居スヘキ室ハ何レモ左ノ如キ大サアランコトヲ要ス、凡ソ一ノ借家タラシモノハ少ナクモ一室ハ床ノ廣サ百二十個ノ方呎ヲ有センコトヲ要ス、且其他ノ室ハ少ナクモ同シク八十個ノ方呎ヲ有センコトヲ要ス、又各室共ニ床ヨリ天井マテノ高サ八呎六吋以上アランコトヲ要ス

借家中何レノ室ト雖モ帳帷、戸帷等ノ間仕切ヲナスコトヲ得ス、但シ室ヲ小分サレタル部分ニ窓アリ床ノ廣サ八十個ノ方呎ヲ有スル場合ハ此限ニアラス

或ル借家ノ各室ノ空間立方呎ニ就テ之ヲ云ハンニ、大人ノ居住スル所若ハ就寢スル所ハ每一人ニ付テ空間ノ立方呎四百個アランコトヲ要シ、年齢十二歳以下ノ幼童ハ每一人ニ付テ同シク二百立方呎以上アラ

人ノ住居スヘキ各室ニハ少ナクモ一箇所ノ窓アラシコトヲ要ス、但シ其窓ノ大サハ床ノ廣サノ十分一ナラサルヘカラス、又斯ル窓ハ十個方呎ノ硝子張りニシテ少ナクモ上半半分ハ開閉セラルヘキ構造ナランコトヲ要ス、又浴室、臺所、兩便所等ニハ何レモ少ナクモ一ノ窓ナカルヘカラス、但シ其窓ハ六個方呎アラシコトヲ要ス

新築借家ニハ人ノ住居トスヘキ穴藏ヲ設クルコトヲ得ス、又地下室ヲ人ノ住居トナスコトヲ得ス、但シ茲ニ例外ナクンハアラス、例之ハ茲ニ一ノ地下室アリ其床ヨリ天井マテノ高サカ少ナクモ八呎六吋アリテ其高サノ上半部ハ建物全部ノ床以上ニアリタル場合ノ如キ是レナリ、借家建ノ家屋ニシテ五階以上アリテ地下室ヲ有スルモノハ防火的構造ナカルヘカラス、又同シク地下室ヲ有スル五階建以下三階建ノ各借家ハ火勢減少的若ハ防火的構造アラシコトヲ要ス

適當ナル垂直測定法ヲ行ハンコトヲ要ス、但シ臺所ノ下水溜等ハ此内ニ含マレ居ルモノト知ルヘシ、從來ノ借家建家屋ニシテ斯ル設ケ之レナキモノハ更ニ設ケンコトヲ要ス

第七級、各「デパートメント」商店ノ如キハ皆是此種ニ屬スヘキモノトス

第八級、小學校及一百名以上ノ學生ヲ收容スルニ足ルヘキ設備アル學校等之ニ屬スルモノトス

塵芥、各借家ニハ夫々適當ナル塵芥受容器備ヘ付ケ置カンコトヲ要ス、此器物ハ借家主、其管理人若クハ

其居住者ノ手ニテ作ルヘキモノニシテ、金屬製ナルヘク又其蓋ハ最モ緻密ニシテ臭氣等洩レサル様注意

センコトヲ要ス、此外灰及種々ノ廢棄物ヲ入、ル器アラシコトヲ要ス

建築ノ設計調査ニ就テハ最モ注意ヲ密ニセサルヘカラス、其設計ヲ承認セサルニ先シテ充分精密ニ調査センコトヲ要ス、既ニ承認ヲ經テ建築ニ取リ掛リタランニハ之ノ視察官タル者ハ其建築ノ部局ノ特徴トモ謂フヘキ箇所ニ就テハ殊ニ注意ヲ密ニシテ視察センコトヲ要ス、斯クテ建築工事を進行セシムル内既ニ承認サレタル設計ヲ相違シタルコトアルヲ見出シタランニハ、直チニ其由ヲ上申スヘク斯ル上申ヲ受ケタル當事者ハ元ノ設計通りニ變更セシムヘク、或ハ其不都合ナル箇所ヲ改ムルマテハ其工事を中止セシムルコトアルヘシ

右ノ如ク工事中止等ヲ命スル權能ヲ有スルモノハ衛生委員及助手タルヘキモノトス、是レ其當ヲ得タルモノニシテ衛生局諸ノ重要ナル職責中ノ一ナリトス、斯クノ如キ借家建築取締法ノ實行サレタル結果トシテ、下層貧民ノ家庭ノ有様大ニ改良サレタリ

借家問題、借家建築取締法ナルモノハ記者カ自カラ實見シタル最良事業中ノ一タラスンハアラス、現ニ此取締法ハ實行サレツ、アルヲ以テ貧民ノ家庭ノ有様徐々ニ改良サル、ハ亦疑フヘキニアラサルナリ、抑モ此取締法ナルモノハ一千九百十一年ニ至リテ初メテ發布セラレタルモノナリ、故ニ一千九百十年ヨリ以前ニアリテハ借家建築ノ設計カ其筋ノ承認ヲ受ケタリトスルモ、實際ノ建築ニ至リテハ其承認サレタル設計

ト相違セル事往々ニシテ之レアリシナリ、然レトモ今ヤ其取締法甚タ嚴重ニシテ其建築ノ位置ヲ變更スル
 スラ一々其筋ノ許可ヲ受ケサルヘカラス、即チ全ク其建築地ヲ變更スルハ云フマテモナク、同一ノ敷地内
 ニアリテ其建築位置ヲ變更スルモ、尙ホ且ツ然カラサルヘカラス、其他建物ト建物トノ中間ナル空地若ハ
 中庭等皆ナ是レ設計ト一致セサルヘカラス、其設計ト實際ト能ク一致シ居ルカ否ラサルカハ視察官ノ斷定
 ニ一任スヘキモノトス、又在來ノ家屋ニ就テ模様替ヲ爲シ或ハ修繕ヲ加フル等其承認シタル設計通りニ相
 違ナキヤ否ナ視察官タルモノ特ニ注意ヲ密ニシテ視察センコトヲ要ス

適當ナル家屋トハ果シテ如何ト云ヘル問題ハ衛生官ノ注意ヲ要スヘキ最重要ナルモノ、一タラスンハア
 ラス、試ミニ借家ノ状態如何ヲ視ヨ土地濕リ勝チニシテ何トナク陰鬱ノ模様アリ、狭キ箇所ニ多數群居
 シ空氣流通ノ途其當ヲ得サル等不衛生ノ状態數フルニ違マアラス、斯ル不衛生ノ状態ト結核病トノ關係果
 シテ如何ソヤ、實ニ憂慮ニ堪ヘサルナリ、此ニ於テカ市ノ當局者及市民ハ之カ豫防法トシテ借家ヲ改良ス
 ル道ヲ講セサルヘカラス

市俄古市モ亦是レ他ノ大市邑ト均シク借家問題ナクンハアラス、市俄古市ノ借家ノ二階建及三階建ナル所
 ハ他ノ市邑ノ借家ト其趣ヲ異ニスル所ナリ、然レトモ陰鬱ニシテ空氣流通ノ惡シキ室内ニ多數群居セル
 不衛生ナル點ニ至リテハ同一ナリト云ハサルヘカラス、到ル所ノ貧民部落カ紐育市程人口稠密ナラスト雖
 モ、去リトテ家屋及室内ノ模様等彼レヨリ一層優レリト云フヲ得サルナリ

市俄古市ハ非常ノ速力ヲ以テ發達シ且ツ各方面ヨリ移住シ來レルモノモ亦甚タ夥多ナリシナリ、從ツテ人
 口ノ増加スルコト得テ想像スヘキナリ、斯クノ如ク人口増加スル内ニハ下層ノ貧民實ニ多キニ居ラスン
 ハ、移住民ノ如キハ概シテ然ラサルハナシ、此等ノ貧民ハ何等ノ技能ヲ有スルモノニアラス、ホンノ勞働
 ニ服スルモノニシテ其生活費ノ如キモ甚タ少額ナラサルヲ得ス、此ニ於テカ大工場ノ周邊及鐵道ノ終點近
 傍ニハ、斯ル勞働者ノ住居スヘキ借家極メテ多キナリ、而シテ此等ノ借家ハ勿論家賃ノ低下ナルモノニシ
 テ其構造ノ粗雜ナルコト云フヘカラス、狹隘ナル箇所ニ多數群居シテ不衛生ノ状態ナルハ自然ノ趨勢ナ
 リト云フヘキナリ

市民中勞働社會ニ屬スルモノハ重モニ市ノ西南部ニ居住セリ、而シテ其西部ハ工場多クシテ工事ニ關スル
 商店等多ク、不衛生ノ借家甚タ多キニ居レリ、又タ西南部ニ當レル方面ハ地價低廉ニシテ木造ノ粗末ナル
 借家多ク、人口充溢シテ概ネ衛生上ニ適セサルナリ

然レトモ貧困ノ度合最モ甚タシクシテ最モ甚ハタシク人口ノ充溢セルハ市ノ中央部是レナリ、此方面ハ各
 國人ノ居住地ニシテ其中央部ニハ伊太利人、之ニ次テ西部ニハ和蘭人及猶太人等群集シ居レリ、又此方面
 ノ南端ニハボヘシア人、北部及北西部ニハ日耳曼人及瑞典人等ナリシ、而シテ此地方ノ家屋ハ二階建ノ木
 造ニシテ古ク、人口充溢シテ概シテ衛生ニ適セサルナリ

此方面ノ中央部ハ猶太人ノ住居所ニシテ其不潔汚穢ナルコト甚タシク不衛生ナルコト論ナキナリ、此等ノ

家屋ハ古キ木造ニシテ破損シタル箇所少ナカラス、其内最モ目新ラシク感スルモノハ僅カニ街頭ノ市場アルノミ、而シテ此等ノ地域ニ居住セルモノハ露國ノ猶太人最モ多キニ居レリ
 労働社會ノ大部分ハ貧民ニシテ借家住居ヲ爲シ居レリ、而シテ其借家ト云ヘルハ概シテ四室乃至六室ヨリ成レルモノナリ、且ツ労働者中ニテモ何等ノ技術ヲ有スルモノハ、殊ニ和蘭人、ボヘシア人及日耳曼人ハ家屋ヲ買ヒ求メンコトヲ勤メ、木造若ハ煉瓦造ニシテ多クハ二階建ナリ、而シテ其下邊ニ自カラ住居シ其二階ハ他ノ人ニ貸與スルコト、セリ

既ニ建築セラレタル二階建ノ家屋ハ全ク「市俄古式」ニ屬セリ、而シテ其建物ト建物トノ中間ハ幅四呎ノ空地アルヘク、又若干ノ中庭アランコトヲ要ス、既ニ新築サレタル二階建及三階建ノ借家ハ間然スル所ナク、從ツテ徐々ニ古キ不衛生ニシテ不都合極マル借家ヲ棄テ、完全ナル借家ニ住居スルニ至ルヘキナリ
 舊式ノ借家其跡ヲ絶ツニ至ルヘキ其他ノ動力ト謂フヘキモノアリ、今數多ノ借家アル各方面ノ地價カ甚タシク騰貴シタリ、是レ畢竟スルニ斯ル場所ヲ變シテ商業地ト爲サント欲スルニ出テタルモノニ外ナラス、事態既ニ斯クノ如クナルカ故ニ今ヨリ僅カ數年ノ内ニ此等舊式ノ借家著シク減少スルニ至ランコト亦疑フヘカラサルナリ

新 建 物

今左ニ掲クル所ノ統計表ハ舊來ノ借家カ大ニ其面目ヲ改メテ漸次進歩發達セルヲ證スルニ足ルヘキナリ

計(他ノ建物ヲモ含ム)	一九〇九年	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
一 家族ノ居住所	三、〇七八	三、〇七五	二、九八八	三、二六六	三、七四五	三、八四六
二 平 家 借 家	四、二六四	四、三六二	四、五九九	四、七六七	六、〇四三	六、三〇〇
計	二、二四一	一一、四〇九	一一、一〇六	一一、三二五	一一、〇九一	一一、三九五

解 析

借 家	一九一三年	一九一四年
二階建	三、八三四	三、五一九
三階建	二、二〇七	二、七六一
四階建以上	二	二〇
各所ニ於ル家族數	五、七四四	六、二八五
第一床	六、三九四	六、七七五
第二床	二、五三五	三、一三二
第三床	四三〇	三八五
地 下 室		
各所ニ於ル室數		

二	室	一五〇	二九二
三	室	三四七	五三五
四	室	五〇九一	五、五七七
五	室	四、五八一	五、一五〇
六	室	四、九三六	五、〇二三
六	室	一五、一〇五	一六、五七七
六	室	一四、五五三	一六、二五〇
湯管備付ノ箇所數			

右ニ掲ケタル解析ヲ一覽シタランニハ地下室ニ居住スルモノ、百分比例ハ甚タ少数ナルコトヲ知ルニ足ルヘキナリ、斯ル箇所ニ居住スル者ハ殆ント皆其建物ノ番人タルニ過キサリシナリ、舊式ノ借家ニ在リテハ地下室ニ居住スルモノ甚タ多カリシナリ、此外三階以上ノ住家ハ甚タ少ナキナリ、好シ之レアリトスルモ防火用タルニ過キササルナリ、尙ホ右ノ表ニテ「市俄古式」即チ二階建ノ借家居多ナルコトヲ知ルニ足ルヘキナリ

垂直測定視察局

衛生局カ垂直測定視察ノ事ニ關シテ監督權ヲ有シ居タルハ既ニ多年ヲ經タル事ナルカ、此視察事業ヲ一層便利ナラシメン爲メニ、全市ヲ分チテ二十三ノ視察區トナシ各區ニ一名ツ、ノ視察官ヲ置キテ其管轄區内ヲ視察セシムルコト、セシカ、尙ホ此視察官ノ上ニ監督ナルモノアリテ視察官ノ行動如何ヲ視察セリ、新

建物ノ垂直測定、在來ノ建物ノ修繕若ハ模様替ノ垂直測定ニ關シテ視察官ノ意見ニ於テ不都合ナリト認めタル所アラシカ、監督ニ其旨上申シテ之カ裁決ヲ仰カンコトヲ要ス

視察ノ事 大凡建物ノ垂直視察ニ關シテハ左記ノ如キ手續ニ從ハンコトヲ要ス、曰ク既ニ新築家屋ノ設計ニ就テ其筋ノ承認ヲ經タランニハ、書記ノ手元ニ於テ其家屋ノ垂直測定ニ關スル精密ナル書類ヲ調製シ、且其建設スヘキ市街ノ番地ヲ記載センコトヲ要ス、而シテ斯ル「カード」ヲ二通調製シ其ノ一通ヲ管轄區ノ視察官ニ交付スヘキモノトス、斯クテ此視察官タルモノ、職責如何ト云フニ、其建築ノ模様ヲ視察シテ其筋ヘ報告スルコト是レナリ、殊ニ其建物ノ垂直測定カ法令ノ命スル所ニ能ク適合シ居ルヤ否ヤヲ視察スルコト是レナリ、視察官ハ其視察ニ取リ掛リシ時ヨリ起算シテ二ヶ月以内ニ必ラス其建物ニ關スル報告ヲ爲ササルヘカラス

垂直測定ニ關スル法令ハ第二十六章ニ編成セラレ、其趣旨ノアル所ハ垂直測定法中ニ掲ケアルヲ今此所ニ於テ詳説スルノ必要ナカルヘキナリ

今簡短ニ垂直測定法ノ事ヲ述ヘンニ概ネ左ノ如シ、曰ク鉛工事ヲ調査シテ之ヲ許可スル事、垂直測定ノ適當ナル試験、各種ノ建物中ニ於ル据置物ノ員數ヲ調査スル事、諸管ノ聯絡及諸種ノ据置物ノ形狀等ヲ調査スルコト是レナリ

垂直測定ニ關スル法令ハ今ヨリ數年前ニ制定セラレタルモノナルカ、其後之ヲ完成セシメンカ爲メニ其内

ノ或ル部分ヲ取消シ、或ハ改正ヲ加ヘラレタル所少ナカラサリシナリ、今其改正セラレタル條項ニ就テ之ヲ云ハンニ、小規模ノ鉛管取付等ノ場合ニハ其鉛管ノ大サ等許可ヲ得サルモ差支ヘ之レナク、在來ノ家屋ヲ幾千カ變更セントスルモ其構造ニ關シテ特別ナル變化ヲ生セサル限リハ故ラニ許可ヲ受クルノ必要ナク其他些細ナル變造若ハ模様替等ノ如キハ嚴重ニ視察ノ必要之レナキモノト知ルヘシ、然レトモ視察官タル者ハ其視察上粗漏ナキ様常ニ注意ヲ怠ルヘカラス

下水排除工事 目今ノ事態整理上ニテハ家屋内ノ下水排除ノ監督ハ下水監督局ニ屬シ居リテ、垂直測定視察官ノ監督ニ歸シ居ラサルナリ、垂直測定視察官ノ任務タルヤ家屋構造如何ニ注意シ及其垂直測定如何ヲ見定ムヘキモノニシテ、下水排除如何ノ如キハ其司トルヘキ所ニアラサルナリ、故ニ此下水監督ノ事ハ矢張り衛生局ノ任務トナシ置カン方、垂直測定視察官ノ負擔ヲ輕カラシムヘク、且ツ行政ト經濟ノ上ニ於テモ得策ト云フヘキナリ

垂直測定視察官ハ衛生局ノ命令ヲ以テ左記ノ如キ任務ニ従事スヘキコト、ナレリ、曰ク凡ソ借家ヲ建テント欲スル者アル時ハ、光線ノ射入、空氣ノ流通及室若ハ中庭ノ大サ等法令ノ所定ニ適合シ居ルヤ否ナ等ヲ視察スヘキコト是レナリ、但シ人口甚タシク充溢セル地方ノ家屋全部ノ有様如何ヲ見定メンコトハ不可能ノ事ナレトモ、凡ソ借家ニ關スル事態ニ關シテハ充分ニ注意スル所ナクンハアルヘカラス

統計表 本局ノ行動ハ活潑ニシテ且ツ徐ロニ其歩ヲ進メツ、アリ今之ヲ表ニシテ示セハ左ノ如シ

垂直測定視察ノ事

計	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
一	二、九二五	三、〇〇〇	三、六五三	三、九二六
二	一、五二六	二、五七七	二、六九六	三、二〇一
三	二、八四五	三、一四八	三、一六七	三、八七四
四	二、六八一	三、七八〇	三、一一八	三、五九〇
五	二、九二一	三、四九〇	三、〇五八	三、八四五
六	二、九六〇	三、五〇〇	三、三九二	三、九七七
七	二、六三八	三、二五三	三、四三二	三、四八六
八	三、四七一	三、四二五	三、〇四三	三、二四五
九	三、一三九	三、四九五	三、三一八	三、五〇三
十	三、一七七	三、二七一	三、七二五	三、八六七
十一	三、一一三	二、四九六	三、三二七	三、二八七
十二	三、四一二	二、八六五	三、五六四	三、九四六
計	三五、八〇八	三七、三〇〇	三九、四九三	四三、七四九

垂直測定視察ノ數種

一千九百十四年

水ノ試験

一三、〇一八

最終試験

準備ナキ行動

特別試験

視察共計

三二八

一一、九〇二

三、八七三

一四、九五六

四三、七四九

右ノ如キ本局ノ行動ハ或ル期間内繼續セラレテ其効果完全ナリシナリ、但シ試験ノ準備ナキモノ數多之レアリシハ、視察官ノ時間ヲ空費センコトヲ恐レテ其都度届出等ヲ省略シタルニ因レリト知ルヘシ

換氣法取締課

今吾人ノ見聞スル範圍内ニ於テ之カ斷定ヲ下サンニ換氣法取締課ナルモノヲ設置シタルハ僅ニ市俄古衛生局ノ一アルノミ、然レトモ其結果甚タ良好ナリシヲ以テ其他ノ衛生機關モ其例ニ倣フコト、ナレリ、蓋シ此取締課ノ創設サレタルハ一千九百十二年六月ナレトモ、其當時視察官タルモノ僅カニ一人ニ過キサリシカ故ニ、實際ノ事業ニ着手シタルハ一千九百十三年ノ初メニシテ實際行動シタリシハ僅カニ二箇年ニ過キサリシナリ、然レトモ其結果ニ至リテハ既ニ著シカリシナリ

法令ノ規定スル所如何、今其概要ヲ舉レハ左ノ如シ

此後ノ建築ニ係ル第四級及第五級ノ建物ニシテ公會堂トシテ用ヒラル、室内ノ空氣、及此後ノ建築ニ係ル第八級ノ建物ニシテ集會所ニ充テラル、箇所ノ空氣ノ量ハ共ニ是レ左ノ如クナランコトヲ要ス、

曰ク一人ニ就テ每一時間ニ少ナクモ立方呎一千五百個アランコトヲ要ス

此後ノ建築ニ係ル第七級ノ建物ニ於ル諸室ノ空氣ノ量ハ左ノ如キ割合ナランコトヲ要ス、曰ク地下室ハ每一時間一人ニ就キ二千立方呎、第一階ヨリ第三階マテハ每一時間每一人ニ就キ一千五百立方呎、第四階以上ハ同シク一千三百立方呎アランコトヲ要ス

第七級ノ建物ニシテ空氣ノ量ヲ標準トシテ成ル床ニ容ルヘキ人員如何ト云フニ左ノ如クナランコトヲ要ス、曰ク地下室ニ於テハ每一人ニ就テ二十立方呎、第一階ハ之ト同量ナルヘク、第二階ハ同シク五十方呎ナルヘク、第三階ハ同シク六十方呎、第四階以上ハ同シク八十方呎ナランコトヲ要ス

第七級ノ建物ニシテ公會堂、集會所、若ハ公衆ノ多數來ルヘキ箇所ニハ、炭酸瓦斯ニ制限ヲ置カサルヘカラス、即チ空氣一万分ニ就テ炭酸瓦斯十分以上ニ昇ルヲ許サス、又人爲ニテ溫度ヲ生スル場合ニハ華氏六十八度以上ニ踰ユルヲ許サス、尙ホ之ヲ詳言センニ其溫度低クモ四十五度以下タルヘカラス高クモ八十度ヲ踰ユヘカラス

特別級ニ屬スル在來ノ建物ニ就テ之ヲ言ハンニ、每一時間每一人ニ要スル所ノ空氣ノ量ハ一千二百立方呎以下タルヘカラス、又空氣中ニ包含スル所ノ炭酸瓦斯ノ量ハ十二分ヲ踰ユヘカラス

此外市街電車中ニ於ル空氣ノ量ハ每一時間每一人ニ就キ七百五十立方呎ヲ要スヘク、又炭酸瓦斯ノ量ハ十二分ヲ踰ユヘカラス

湿度、或ル箇所ニ換氣法ヲ行ヒ及溫度ヲ生セシムルニ就テハ幾干カノ濕氣ナカルヘカラス、殊ニ公衆ノ來集スル箇所ニテハ最モ必要ナリト云フヘキナリ、然ルニ此事ニ關シテ殆ント注意スル所ナキカ如キハ實ニ驚カサルヲ得ス、試ミニ視ヨ熱シタル空氣ハ其乾燥シ居ルコト沙漠中ノ空氣ヨリ一層甚タシキコト往々ニシテ之レアリ、空氣熱シテ高キ溫度ヲ人ノ感スル場合ニハ頭痛ヲ起シ且ツ疲勞ヲ覺ユルモノト知ルヘシ

市俄古師範學校ノ教授博士シツバード氏ハ左記ノ如キ趣味アル實驗ヲ遂ケタリ、曰ク室内ノ溫度ヲ調節セシニハ其室内ノ空氣中ニ適度ノ濕氣ヲ包有セシメサルヘカラス、即チ其室内ニ居住スル人ヲシテ適度ナル濕度ヲ得セシメンニハ之ニ相當スル丈ケノ濕氣ナカルヘカラス、適當ナル換氣法ヲ行フコトハ云フマテモナク濕氣ヲ生スヘキ裝置ヲモナサンコトヲ要ス

處分、劇場其他ノ公會堂ノ如キハ換氣法ノ必要ナルコト既ニ世人ノ注意ヲ惹ケル所ナリ、此等ノ事ニ關シテハ衛生局ノ業務トシテ夫々行動ヲ取り居レリ

今其レ家屋ヲ新築セントスル場合ニハ其換氣法ノ設備如何ノ検査ヲ受ケサルヘカラス、若シ此換氣法ノ設備ニシテ不完全ナル場合ニ於テハ法令ノ規定スル所ニ適合スヘキ様變更センコトヲ要ス

換氣法取締課ノ行動ヲ圓滑ナラシメンカ爲メニ全市ヲ五區ニ分チテ一區毎ニ視察官ヲ置キテ其事ニ當ラシ

ムルコト、セリ、凡ソ器械仕掛ニテ換氣法ヲ實行スヘキ家屋ハ皆ナ一覽表トナシテ、換氣法取締區ノ視察官ノ手許ヘ夫々配布シ置ケリ、而シテ此等ノ視察官ノ職責トスル所如何ト云フニ概ネ左ノ如シ、曰ク新タニ家屋ヲ建設セント欲スル者アル時ハ其設計等ヲ調査シテ此建築ニ關スル「カード」ヲ作り、其家屋ノ床ノ縮圖ヲ造リ其「カード」ノ裏面ニ換氣裝置ノ概要ヲ示シ置カンコトヲ要ス、而シテ斯ク調製サレタル「カード」ハ其新築家屋ノ換氣裝置ノ完成スルマテ使用スヘク、既ニ完成シテ不都合ナル點ナシト認メタランニハ、本部ノ同種ノ書類中ニ綴込シテ比較用ニ供スヘキモノトス、又從來ノ家屋ヲ變造シテ劇場、集會所若ハ工場等トナシテ換氣法ヲ設クルノ必要ヲ認ムル場合ニモ同シク右ノ如キ手續ヲ爲サン事ヲ要ス

家屋建築中換氣法ノ設計ニシテ既ニ其筋ノ認可ヲ經タランニハ、視察官ハ實際其建築中其認可シタル設計ニ能ク適合シ居ルヤ否ナニ注意セサルヘカラス、而シテ若シ其設計ト相違セル箇所アルヲ見出シタ場合ニハ更ニ容赦スル所ナク一時其工事中止セシメテ設計通りニ引キ直サシメンコトヲ要ス、又既ニ其工事落成シタラン場合ニハ最後ノ試験ヲ爲サンコトヲ要ス、所謂最後ノ試験トハ左ノ如キコト是レナリ、曰ク換氣法ノ設備ニシテ果シテ每一時間毎一人ニ要スル所ノ豫定ノ空氣ヲ供給スルニ足ルヘキヤ否ヤ、其外室内ノ溫度若ハ濕氣等ノ高低如何ヲ試験スルカ如キコト是レナリ

右ノ如キ次第ナルカ故ニ視察官ハ家屋新築ノ工事進行中ハ隨時視察ヲ怠ラスシテ法令ノ規定スル所ニ違犯スルコトナキヤ否ナヲ確カメンコトヲ要ス

換氣法取締課ノ主トシテ活動スヘキ方面ハ新築家屋殊ニ劇場、學校、旅館、商館、料理店、工場及在來ノ家屋ニシテ換氣法ノ不充分ナルモノ其他市街電車内ノ溫度及空氣流通等ニ關スルモノ是レナリ

此取締課カ此等ノ事件ト相關聯シテ格段ナル建物ニ對シテ殊ニ注意ヲ加ヘテ活動センハ最モ然ルヘキコト、云ハサルヘカラス、請フ其數者ヲ左ニ掲ケント欲ス

劇場、今法令ノ規定スル所ヲ見ルニ此種ニ屬スル建物ハ空氣流通ノ途ヲ最モ充分ニ啓カサルヘカラス、凡ソ劇場トシテ新設スル所ノ建物ハ每一人ノ座席ニ就キ每一分間ニ二十五立方呎ノ空氣ノ供給ナルヘカラス、然レトモ從來ノ劇場ニテハ每一人ニ就キ每一分間ニ二十立方呎未滿空氣ヲ供給スルコトヲ許サス、又空氣中ニ含有スル炭酸瓦斯ノ量如何ト云フニ、新築劇場ニ在リテハ十分以上ヲ許サス、又在來ノ劇場ニ在リテハ十二分以上ヲ許サス、此外劇場ノ持主等ニ對シテ空氣流通不充分ナルカ故ニ改良セヨト適當ナル注意ヲ與ヘタルニモ拘ラス、依然トシテ其儘ニ打テ置キタル場合之レアリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ衛生委員タルモノ其改良ヲ實行スルマテ、其劇場ヲ閉鎖セシムヘキ權能ヲ有スルモノトス

換氣法取締課カ先ツ第一ニ注意ヲ要スヘキ行動ハ劇場ノ換氣法是レナリ、而シテ今劇場ノ換氣法ニ關スル事實ヲ左ニ列舉セント欲ス、曰ク一千九百十二年十二月三十一日ノ調査ニ據ルニ、劇場ノ總數五百六十五箇所アリテ内換氣法ノ設備アルモノハ僅カニ二十五箇所ニ過キサリシナリ、其レヨリ一箇年後ニ劇場ノ總計六百九箇所ニシテ内換氣法ノ設備之レナキモノ二百箇所アリシナリ、斯クテ一千九百十四年十二月三十

一日ニ至リテハ劇場ノ全數六百十六箇所アリテ内換氣法ノ設備ナキモノハ百五十六箇所ナリシナリ、尙ホ之ヲ細別センニ内八十三箇所ハ閉鎖ヲ命セラレ、五十六箇所ハ換氣法ノ設備ヲ爲シタルヲ以テ許可セラレ尙ホ元ノ儘ニテ開場ナシ居ルハ僅カニ十七箇所ニ過キサリシナリ、而シテ劇場ノ全數中ニテ自然ノ儘ニテ空氣流通ノ間然スル所ナキハ僅カニ二箇所アルノミ、其他ハ皆ナ是レ器械力ヲ應用シテ空氣ノ轉換ヲ計ラ

スルハアラス、又活動寫眞場ノ如キハ劇場中ニ算入セラル、ノモト知ルヘシ、大劇場ノ或ルモノハ空氣洗滌裝置ヲ許可セラレタルアリ、而シテ此等ノ裝置アル劇場ノ大半ハ或ル箇所ニ空氣ノ新陳代謝裝置ヲ設クル床上ノ或ル部分ニ送氣裝置ヲ設ケテ以テ空氣ヲ流通セシムルコト、セリ、斯クノ如キ送氣裝置等ヲ以テ送致スル空氣ノ量如何ト云フニ、每一分間ニ百五十立方呎ナリト云フ、小規模ノ活動寫眞場ニハ空氣洗滌裝置ヲ許可セラレサルナリ、然レトモ右ニ述ヘタル如キ送氣裝置ノ設ケナカルヘカラス

視察官ハ興行中數々劇場ヲ巡視セントヲ要ス、是レ劇場ノ空氣中ニ含有セル炭酸瓦斯ノ量如何ヲ見定メシカ爲メナリ、而シテ若シ其量カ成規ノ量ニ超過シ居タランニハ夫々之ヲ矯正セシムルノ方法ヲ取ラサルヘカラス

劇場ヲシテ適當ノ換氣法ヲ行ハシムルニ就テハ市俄古市カ先鞭ヲ着ケタルモノト謂フヘキナリ、是レ全ク事實ノ證明スル所ニシテ他ヨリ異論ノ出ツヘキ餘地ナキナリ

教會堂 市俄古市ニハ教會堂總計一千二百六十箇所アリ、然ルニ器械力ヲ應用シテ換氣法ヲ行ヒ居ルモノハ一トシテ之レナキナリ、然レトモ皆是レ自然ノ換氣法ニ從ツテ新鮮ナル空氣ヲ供給スルコト、ナリ居レリ、即チ何レモ廣大ナル窓アリテ之ヨリ空氣ヲ送入シテ新陳代謝ノ効著シクシテ亦間然スル所ナキナリ、斯ル次第ナルカ故ニ換氣法取締課ハ此方面ニ向ツテ活動セサリシナリ

舞蹈場 市俄古市ニ舞蹈場ノ數ハ一千四百四十ナルカ、内完全ナル換氣法ノ設備アルハ殆ント五〇%ナリシナリ

旅館 凡ソ新タニ建築セントスル旅館ハ總テノ室内及各部分共ニ充分ナル換氣法ノ設備ナカルヘカラス、其他穴藏、地下室及第一ノ床等充分ナル空氣ノ送入アルコトヲ要ス、在來ノ舊家屋ヲ旅館及貸長屋トシテ用ヒタルモノハ、概シテ空氣流通ノ宜シカラサルモノナレハ、最モ注意ヲ密ニシテ視察センコトヲ要ス、小學校 此種ノ建物ノ溫度ノ調節及空氣ノ流通ニ就テハ、他ノ公立建築物ノ其レヨリモ尙ホ一層注意ヲ拂ハサルヘカラス、蓋シ是レ學生ノ健康怡樂及學藝ノ進歩發達上ニ關係スル所甚タ大ナレハナリ、然レトモ換氣法取締課ナルモノハ小學校ノ新築セラル、場合ヲ除クノ外小學校ノ設備ニ就テ彼レ此レ容喙スヘキモノニアラス、但シ小學校ノ設備上訴訟事件ノ起リタル場合ハ此限ニアラス、而シテ小學校ノ溫度ノ調節及空氣ノ流通如何ハ學務局技師長ノ監督ノ下ニ屬スヘキモノナリ、予ハ學務局ノ斡旋ニ依リ各小學校ヲ巡回シテ換氣法ノ實況ヲ目撃スルコトヲ得タリ

市俄古ニハ小學校五百五十校アリ、内三百五十校ハ公立ニシテ二百二十校ハ教區ノ設立ニ係ルモノナルカ其他ハ公立ニ屬スルモノニシテ高等小學二十五校アリ、而シテ新タニ建築スル小學校ハ何レモ皆適當ノ溫度ヲ生シ空氣流通其宜シキヲ得ヘキ設備ナカルヘカラス、現在ノ公立小學校中器械力ヲ用ヒテ溫度ヲ調節シ空氣ノ新陳代謝ヲ計ルモノ八〇%アリ、然レトモ空氣洗滌ノ裝置ヲ爲スモノニ至リテハ極メテ少數ナリシナリ、又學級教室ノ空氣流通ヲシテ其宜シキヲ得セシメンカ爲メニ濕氣ヲ生セシムヘキ裝置必要ナルニ事ニ注意ヲ拂フモノ曾テ之レナキナリ、舊來ノ小學校建築ハ換氣法等ハ極メテ不充分ナリシカ、段々ニ變化シテ近代式ノ完全ナルモノヲ採用スルコト、ナレリ、又教區設立ノ小學校ニ至リテハ換氣ノ裝置甚タ不充分ナリシナリ、且ツ其裝置之レアルモノハ五〇%ニ過キサリシナリ

市街電車 市街電車ハ高架線ト平地線トヲ合セテ四千七百十五臺アリ、内器械力ニ依レル換氣法裝置ノ設ケアルモノハ九百九十臺ニ過キス、而シテ一千九百十四年ノ調査ニ據ルニ平地線ニ屬スル電車三千二百八十四臺ニシテ之ニ搭乘セシメタル客數ハ八億五千三百七十八萬五千六百八十九人ナリシナリ、是ニ由リテ之ヲ觀レハ市ノ人口ノ大部分カ溫度ノ調節其宜シキ得及換氣法ノ設備整ヒタルカ爲メ怡樂ヲ感スルコト、他ノ公開ノ箇所ヨリ一層大ナルコト得テ知ルヘキノミ、然レトモ高架線ニ屬スル電車ニシテ換氣法裝置ノ備ハリ居レルハ實ニ僅々タリシノミ、又平地線電車ノ中一千九百八十二臺ハ風穴其他窓戶等ヲ除クノ外會テ換氣ノ設備アラサリシナリ、而シテ此等ノ車臺ハ嚴冬ノ季節ニ際シテハ空氣ノ流通甚タ不充分ナ

リシナリ、以來新設セラルヘキ電車ニハ器械力ニ依レル換氣法裝置ヲ要ス
 電車ノ換氣法如何ヲ調査センニハ二問題ニ關係セサルヘカラス、即チ電車ノ設備ト活動ノ二者是レナリ、
 抑モ換氣法取締課カ最初主トシテ注意シタルハ電車ノ活動ニシテ、其活動振カ規定ノ法令ニ適合シ居ルヤ
 否ナヲ見定ムルコトナリシカ、是レノミニテハ不充分ナルノシナラス、即チ電車内ノ設備如何ニ就テモ注
 意スルノ必要ナクンハアラス

換氣法取締課ノ視察官カ冬季寒天ニ際シテ調査シタル結果ヲ見ルニ、温暖ヲ生スヘキ裝置甚タ不充分ナル
 電車居多ナルコトヲ知ルヘキナリ

在來ノ建物、新築ノ建物及市街電車等ニ於ル換氣法如何ヲ視察調査スル事業ハ決シテ容易ノ事ニアラス、
 現ニ換氣取締課ニ屬スル視察官ニテハ不充分ナリト云ハサルヘカラス、此取締課ノ事業ヲ益々發展セシメ
 ント欲セハ必ラスヤ視察官ノ員數ヲ増加セサルヘカラス

麵麩屋及料理店取締課

麵麩屋 麵麩屋取締上便利ノ爲メ當市ヲ六區ニ區分シ、其一區毎ニ一名宛ノ視察官ヲ置クモノトス、而シ
 テ其視察官ノ職責トスル所ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク麵麩本店、室ノ構造、天然ノ光線射入、空氣流通、便
 所、洗濯室、器物ノ清潔、麵麩焼人ノ衣服及麵麩屋全般ノ衛生狀態ヲ視察監督スルコト是レナリ、但シ既
 ニ出來上リタル麵麩ノ販賣店ニアルヲ視察スルハ飲食物取締局ノ視察官ノ任務ナリトス

今麵麩屋取締ニ關スル法令ヲ簡短ニ叙述スレハ左ノ如シ

凡ソ麵麩製造等ヲ營業セント欲スルモノハ皆是レ其筋ヨリ許可セラレサルヘカラス、苟クモ麵麩屋營
 業許可願ヲ差シ出シタルモノアル場合ニハ、衛生委員會ハ之ヲ許可スルニ先ンシテ其所在地、光線射
 入、空氣流通、衛生上ノ設備其他ノ諸設備ノ完全ナルヤ否ヤヲ調査セシメサルヘカラス

或ル室、地下室若ハ穴藏等ニシテ床ヨリ天井マテノ高サカ八呎六吋以下ナランカ、若クハ或ル室、或
 ル箇所ノ床カ之ニ近接シタル街路ノ地盤ヨリ五呎以上低クカランカ、若ハ或ル室ノ戸口又窓ヨリ天然
 ノ光線入り込マストセンカ、此等ノ場所ニハ皆是レ麵麩製造所ヲ新設スルコト能ハス

麵麩製造所ノ床カ街路ノ平準面ヨリ以下ナランニハ、其床ヲ「セメント」、石若ハ不滲透質ノ材料ニテ
 造ルコトヲ要ス、若シ又其床カ街路ノ平準面ヨリ以上ナランニハ、堅質ノ木材若ハ不滲透質ノ材料ヲ
 以テ之ヲ張ルコトヲ要ス、而シテ壁及天井等ハ滑ラカナルヘク又修繕ヲ怠ラス、「ペンキ」塗替、灰汁
 洗等ヲ爲スコトヲ要ス

麵麩製造用ニ充テラルキ箇所ハ皆是レ清潔ニシ衛生上ニ適セシメンコトヲ要ス、床、壁、天井、備付
 品、器具、器械等モ亦是レ同様ナルコトヲ要ス、其他麵麩製造用ニ充テラル、各箇所ハ光線ノ射入充分
 ニ空氣ノ流通適當ナラサルヘカラス

麵麩製造所内ニテハ蠅ヲ驅除スヘキ適當ナル方法ヲ設ケサルヘカラス、又窓戸及其他ノ孔隙ハ四月一

日ヨリ十二月一日マテ針金製ノ蔽ヒヲ爲スヘク、又各所ニ水洗的便所ナカルヘカラス
 苟クモ肺病、花柳病、傳染病若ハ嫌惡スヘキ皮膚病ニ罹レルモノハ麵麩製造所ニ使用スルコトヲ許サ
 ス

麵麩製造若ハ麵麩取扱ニ關スル雇人タル者ハ能ク洗濯シタル衣服ヲ纏ヒ、其穿テル上靴等ハ製造所專
 用タランコトヲ要ス

麵麩粉、肉類若ハ其他ノ食物ノ貯ヘアル箇所ニハ何人モ就眠スルコトヲ許サス、又猫ヲ除クノ外他ノ
 家畜ハ麵麩製造所内ニ入ルコトヲ許サス

市俄古市ハ諸國人ノ多ク來住スル所ニシテ人口甚タ多ク、從ツテ麵麩製造所モ少ナカラス、而シテ斯ル製
 造所ノ衛生状態ハ決シテ同一ノモノニアラス、然レトモ視察官ノ視察シタル結果ニ依レハ麵麩製造所ノ清
 潔ナルト之ニ隣接シタル家屋ノ不潔ナルトハ一種ノ對照ト謂フヘキナリ、殊ニ同一ノ市中ニテモ新開地ニ
 シテ家屋ノ建築一層優良ナル箇所ニアリテハ、舊地ニシテ貧民ノ多ク居住スル所ヨリモ兩者對照ノ有様益
 々著シカラスンハアラス、且ツ地下室及穴藏ニ麵麩製造所ノ設置セラレタル場合ニハ、概シテ其他ノ箇所
 ニ設置セラレタルモノヨリ衛生状態一層不良ナルモノト知ラレタリ、例之ヘハ穴藏中ニ設置セラレタル麵
 麩製造所十六箇所アリ、内衛生上完全ナルモノハ僅カニ五箇所ニ過キスシテ、他ノ十一箇所ハ皆不完全ナ
 ル衛生状態ナリシナリ、又其他四十二箇所ノ麵麩製造所視察ノ結果ニ就テ之ヲ言ハンニ、四大製造所ノ衛

生状態ハ最モ卓拔シ、今一ハ穴藏中ノ大製造所ハ不衛生ノ甚タシキモノナリ、残り三十七箇所ノ内十五箇
 所ハ満足スヘキ衛生状態ニアリ、十四箇所ハ可ナリニシテ八箇所ハ見ルニ耐ヘヌ憫レナル有様ナリシ、其
 他活動スル管轄區ノ雇人等カ六十二箇所ノ麵麩製造所ヲ視察シタルニ恰カモ前述シタル結果ト同一ナリシ
 ナリ

右ノ外尙ホ幾干カノ甚タ大ナル麵麩製造所アリ、此等ノ製造所ハ諸設備皆是レ現代式ナラサルハナシ即チ
 空氣ヲ洗滌スルニ器械力ヲ用ヒ且ツ麵麩ヲ蔽ヒ包ムニモ器械力ヲ用フルカ如キコト是レナリ、新式ノ麵麩
 製造所ニ至リテハ既ニ出來上リタル麵麩ヲ取り扱フ場合ニハ之ニ手垢ノ付カンコトヲ恐レテ其取扱人ヲシ
 テ清潔ナル白色ノ手袋ヲ用ヒシムルコト、セリ

然ルニ所謂『家庭内麵麩製造所』ノ有様如何ト云フニ、其多數ハ右ニ掲ケタル有様ト全ク正反對ニシテ甚タ
 不潔ニシテ、麵麩ヲ取り扱フ所ノモノハ諸設備上清潔ナルコトノ必要ナルヲ感セサルモノ、如シ、今斯ル
 麵麩製造所ノ床ノ清潔ノ度合如何ニ就テ充分ニ視察調査シタル結果左記ノ如キ事實アルコトヲ見出シタ
 リ、曰ク其床カ「セメント」ニテ造ラレタランニハ之ヲ掃除シテ清潔ナラシメンハ最モ困難ナルカ故ニ、實
 際不潔ニ陥ラサルヲ得ス、然ルニ堅質ノ木材ニテ之ヲ張りタル床ハ之ヲ掃除スルコト一層容易ナルカ故ニ
 自カラ清潔ナルモノナリ、元來「セメント」ニテ造リタル床ニテモ其上ヲ堅質ノ板ニテ張りタルトキニハ均
 シク保タレ易キナリ、殊ニ穴藏中ノ同製造所ニ至リテハ然カク成サンコト最モ効用多キモノナリ、且ツ之

三四〇
 レハ小規模ノ麵麩製造所ニモ適用スヘキナリ、但シ現代式ノ大製造所ニ至リテハ「セメント」ノ床ニテ充分ナル効果ヲ奏シ居レリ

今左ニ掲クル所ノ表ハ五百箇所ノ麵麩製造所ニ就テ其重モナルモノヲ示セ

麵麩製造所

所在

建物全部	五
上部ノ床	二八
第一ノ床	三九二
地下室	一五
穴藏	五九
附屬穴藏	一
計	五〇〇
換氣法	
完全	四七一
不完全	二九

計

器械的

天然の

計

空氣流通

優良

可成

不良

皆無

計

光線射入

完全

不完全

計

床ノ構造

計	五〇〇
器械的	三四
天然の	四六六
計	五〇〇
空氣流通	
優良	三九二
可成	八八
不良	一八
皆無	二
計	五〇〇
光線射入	
完全	四七〇
不完全	三〇
計	五〇〇
床ノ構造	三四一

堅材	三四二
「セメント」	三四六
堅材及「セメント」	九〇
松	三六
瓦	二五
堅材及煉瓦石	一
計	五〇〇
床ノ状態	
優良	四七〇
可成	二三
不良	七
計	五〇〇
認可地下室ノ麵麩製造所	一三
認可穴藏ノ麵麩製造所	三六
認可ナキ穴藏麵麩製造所	二四

認可麵麩製造所

計	四二七
五百箇所ニ就テノ清潔平均數	八一・三八
三百八十八名ノ雇人ニ就テノ清潔平均數	八一・二五
雇人ノ員數	一、五〇二

右ノ表ニ據レハ麵麩製造所及斯業ニ從事スル雇人ノ清潔ノ度合ハ餘リニ高キモノト思ハル、ナリ、但シ此等ノ事實ハ記者自カラ視察シタル結果ニアラス

法令ノ要求スル所ニ依レハ凡ソ麵麩製造業ヲ營ムモノハ其筋ヨリ認可ヲ受ケサルヘカラス、然ルニ穴藏内ニ於テ此業ヲ營ムモノハ此認可ヲ受ケサルモノ多キニ居レリ、故ニ此等ノ事ニ就テハ充分ニ取り締ル所ナクンハアルヘカラス

麵麩製造業取締法令ハ果シテ有効ニ勵行セラレ居ルヤ否ヤハ疑問ト謂フヘキナリ、此法令ニ基キテ提起セラレタル訴訟カ充分ニ審理ヲ遂ケラレサルコトアリ、上告ノ結果被告ノ勝訴トナルコトアリ、麵麩製造業改良ニ關スル法令カ斯クノ如キ有様ニテハ實ニ歎カハシキ次第ニテ、斯ル弊害ヲ除去スヘキ新法令ノ必要ナクンハアラス

衛生局ノ行動ハ麵麩製造業ニ對シテ規定ヲ勵行セシムルニ足ラサル所アリ、是レ實ニ歎スヘキノ至リナリ

然レトモ他ノ方面ニ於テ成功シタル所ナクンハアラス、穴藏ニ於ル麵麩製造所ヲ絶滅セシメントシタル計
 畫是レナリ、但シ之ヲ全ク絶滅セシメンハ決シテ容易ノ事ニアラス、此種ノ製造所カ著シク減少シタルハ
 兎ニ角成功ト云ハサルヘカラス、今實例ヲ擧ケテ之ヲ示サンカ、一千九百七年ニ於テハ此種ノ製造所五百
 八十一箇所ナリシカ、一千九百十四年ニ至リテハ著シク減少シテ百八十七箇所トナレリ、其餘ノ穴藏ニ於ル
 麵麩製造所ノ中ニテ六十二箇所ハ、認可期限ノ盡クルト均シク引拂フヘキ協約ヲ爲シテ其業ヲ營ミ居レリ
 麵麩製造業ニ關スル改良ノ方針ハ獨リ其敷地ノミニ限レルモノニアラス、其衛生状態ニモ關セスンハアラ
 ス、既ニ此等ノ改良ニ就テモ著シク進ミタル所ナクンハアラス、縦令ヘ全體ノ上ヨリ打算シ來レハ衛生上ノ
 設備モ尙ホ改良スル所ナクンハアルヘカラス、兎ニ角著シク進歩發達シタルハ亦疑フヘカラサル事實ナリ
 今左ニ掲クル所ノ表ハ麵麩製造所ノ進歩發達ノ度合如何ヲ示シタルモノ是レナリ

麵麩製造所

穴藏ニ於ル麵麩製造所 日、光射入 新設麵麩製造所トシテ認可 サレタル建物設計 申請サレタル所在地ノ調査 濟ノ分	一九〇七年	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年	計	増	減
	一九一一年一月 三十一日 至 一九一二年 二月 一日										
	五八一	四八五	三三三	二九四	二七一	二四〇	二〇三	一八七			
	七四四	八五五	六三三	一〇九三	一、一六四	一、三四二	一、四一九	一、四五四			
	一八六	六五	七六	六〇	四二	五五	四七	三〇	三七三		
		二二八	一九三	一七三	一六八	二二〇	二〇三	一、三六八			
									七〇		三九四

新設麵麩製造所ノ所在地認可願ヲ差シ出シタル場合ニハ、當局者ハ之ヲ調査シテ其結果ヲ報告センコトヲ
 要ス、而シテ其報告ノ内容ハ室内ニ日光ノ射入スル有様、空氣流通及其場所ノ廣サ等ヲ記載スルモノト
 ス、蓋シ麵麩製造所ノ多數ハ狹キニ失シテ不衛生ナルモノナリ、麵麩製造所ヲ新設セントスル場合若ハ從
 來ノ建物ノ模様替ヲシテ麵麩製造所ト爲サントスル場合、其他麵麩製造ニ關スル諸設備ハ皆是レ其筋ノ調
 査ヲ受クルコトヲ要ス、從來窻ノ在リタル所ニ麵麩製造所ヲ設クルコト然ルヘシ其筋ヨリ助言セラル、コ
 ト往々ニシテ之レアリ

各麵麩製造所ニ關シテ報告「カード」ナルモノ、設ケアリ、而シテ此「カード」ニハ適當ナル欄内床壁光線射
 入換氣法及全般ノ衛生状態等ヲ記入スヘキモノトス、又其ノ裏面ニハ床ノ構造設計ヨリ所在地、窓ノ數及
 大サ及窻ノ所在地ヲモ記載センコトヲ要ス

麵麩製造及料理店取締課ニハ一ノ監督アリテ之ヲ總括スヘキモノトス、即チ此監督ハ新築ノ麵麩製造所ヲ
 調査シ、此課ノ全般ノ行動及管轄區視察官ヲ監督スヘキモノトス

麵麩製造所建築上ノ變化及諸設備ノ完成シタル後之ヲ視察センハ飲食物視察官ノ任務ナルヲ適當ナリト
 ス、是レ飲食物取締局ノ事ヲ報告スルニ當リテ麵麩製造所ニ就テ簡短ニ記載スルニ際シテ述ヘタル所ナリ
 キ、斯ル意見ハ其筋ノ嘉納スル所トナリタルヲ以テ麵麩製造所ノ行動、食料ノ製造及其衛生状態如何ヲ視
 察スルノ任務ハ飲食物取締局ニ移サレタリ、然ルニ食料品調製取締上特ニ一層嚴重ナル法令發布セラレタ

リ、此法令ハ因ヨリ麵麩製造上ニモ効力ヲ有スルカ故ニ、此製造上ニ就テ一層嚴重ナル取締ヲ爲サ、ルヘカラス、若シ此等ノ製造上衛生状態ニ關シテ不完全ナルコトアリタランニハ、従前ヨリ尙ホ一層手嚴シク處罰セラルヘキナリ

料理店 料理店ノ種類模様ハ地方ニ依リテ互ニ異ナル所ナクンハアラス、決シテ一定シタルモノニアラサルナリ、但シ當市内ノ如キハ麵麩製造所ト均シク料理店ノ模様ニシテ一般ノ標準トスヘキモノ往々之レナクンハアラス、料理店ノ多數ハ其設備不完全ナルモノナリ、即チ法令規則ノ要求スル如ク清潔ナルモノニアラサルナリ、然レトモ全體ノ上ヨリ打算シテ平均點ヲ採リタランニハ、麵麩製造所ニ比較スレハ一層優等ナリト謂フヘキナリ

凡ソ料理店ノ業ヲ營マント欲スル者ハ先ツ其筋ヨリ認可ヲ受ケサルヘカラス、今新タニ料理店ヲ開カント欲スル者アル場合ニハ、當局者ハ出張シテ其場所ノ適否ヲ視察セサルヘカラス、但シ其之ヲ視察スルノ際光線射入、換氣法及一般ノ衛生状態ニ就テハ特ニ注意シテ視察ヲ要ス、而シテ其建築及諸設備ノ監督ハ衛生局視察官ノ任務タルヘキモノトス、然レトモ既ニ其業ヲ營ミ初メタランニハ飲食物取締局ノ監督ニ屬スヘキモノトス

工場及厩舎取締課

工場 當法令中ノ所謂工場ノ意義如何ト云フニ概ネ左ノ如シ、曰ク衣服、財布、羽毛飾、團扇、造花若ハ

紙卷煙草等ヲ製造シ、變造シ若ハ修繕スル所ノ家屋、室若ハ場所ヲ名ケテ工場ト云フ

今當法令ノ規定スル所ヲ左ニ掲ケン

人ノ居室、寢室、穴藏若ハ地下室等ハ工場トシテ用フルコトヲ得ス、凡ソ工場タルヘキ箇所ハ清潔ニシテ衛生上ニ適セシメンコトヲ要ス

工場認可證ハ大切ニ貯ヘ置クコトヲ要ス、工場認可證ヲ差シ出シタランニハ之ヲ認可スルニ先ンシテ、其工場ニ就テ光線射入、換氣法及一般ノ衛生状態如何ヲ仔細ニ視察調査セサルヘカラス

凡ソ工場内ノ空間ハ職工每一名ニ付五百立方呎ノ割合ナラサルヘカラス、而シテ換氣法ハ職工ノ就業時間中一時間毎ニ四回行ハサルヘカラス

尙ホ工場ノ解釋ニ就テ之ヲ言ハンニ茲ニ工場アリテ右ニ掲ケタル諸物品ヨリ以外ノ物品ヲ製造スル所ナリトセンカ、斯ル工場ハ此法令中ノ所謂工場ニ算入スヘキモノニアラス、州ノ工場取締法ニ從フヘキモノトス

斯クテ工場ヲ大別シテ二種トス、即チ(イ)紙卷煙草工場及(ロ)衣服仕立工場是レナリ、尙ホ再ヒ之ヲ左ノ如ク細別スルコトヲ得ヘキナリ、曰ク好シ斯ル工事ヲ營ムモ一人ノ職工ヲモ用ヒサル者ハ其筋ヨリ認可證ヲ受クルヲ要セス、然レトモ一人若ハヨリ以上ノ職工ヲ雇ヒテ斯ル工事ヲ營ムモノハ其筋ヨリ認可證ヲ受ケサルヘカラス

以上掲ケタル諸種ノ工事ヲ營ム所ハ皆是レ工場ト名クヘキモノナレトモ、其工事ハ持主ノミ之ヲ營ミ賃銀ヲ仕拂ヒテ使用スル雇人ハ一人モ之レナシトセンカ、斯ル工場ハ其筋ヨリ認可ヲ受クルヲ要セス、試ミニ見ヨ認可ヲ受ケタル工場全數ノ三分ノ一ハ皆是レ僅カニ一人ノ雇人アルノミ、而シテ十名以内ノ雇人ヲ有スル者ハ全數ノ四分ノ三以上ニ居レリ

今左ニ示ス所ノ表ハ此等ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキナリ

認可ヲ得タルト否ラサル工場

(一千九百十四年ノ調査)

認可ヲ受ケサル紙巻煙草工場	二二七	認可ヲ受ケサル其他ノ工場	四、〇〇八
(一名ノ雇人ヲモ用ヒサルモノ)		(一名ノ雇人ヲモ用ヒサルモノ)	
認可ヲ受ケタル紙巻煙草工場	三一〇	認可ヲ受ケタル其他ノ工場	四、二九七
左ノ如シ		左ノ如シ	
工場ノ雇人數	工場數	工場ノ雇人數	工場數
一	八三	一	一、四一八
二	四七	二	七二七
三	三九	三	三八四
四	三〇	四	二七二
五	二〇	五	一四九
六	一一	六	一二八

七	一〇	七	九四
八	九	八	八五
九	八	九	七七
一〇	一	一〇	五二
一一	一	一一	四九
一二	三	一二	三六
一三	四	一三	三九
一四	五	一四	四八
一五	二	一五	三三
一六	四	一六	二七
一七	二	一七	二二
一八	二	一八	二九
一九	一	一九	三五
二〇ヨリ五〇ニ至ル	一一	二〇ヨリ五〇ニ至ル	一一二
五〇ヨリ一〇〇ニ至ル	七	五〇ヨリ一〇〇ニ至ル	八三
一〇〇ヨリ五〇〇ニ至ル	二	一〇〇ヨリ五〇〇ニ至ル	一三
五〇〇ヨリ一、〇〇〇ニ至ル	一	五〇〇ヨリ一、〇〇〇ニ至ル	四
一、〇〇〇以上	一	一、〇〇〇以上	四
計	三二〇	計	四、二九七

紙巻煙草工場全數

五三七

其他ノ工場全數

八、三〇五

右二種ノ工場合計

八、八四二

三五〇

工場ハ年々五月一日更ニ認可證ヲ受クルコトヲ要ス、但シ其筋ニ於テハ是レヨリ先キ總テノ工場ニ就テ充分ニ調査セサルヘカラス、其調査事項ハ其所在地ヲ變更シタルヤ、其工場ノ雇人從前ヨリ一層多キヲ加ヘタルヤ、建物若ハ室ノ構造ニ變化ヲ爲シタルヤ、光線ノ射入、換氣法若ハ每一人ニ要スヘキ空間ノ立方呎等ニ變化ヲ生シタルヤヲ確カムルカ如キコト是レナリ、此外認可證ヲ下附スルニ先ンシテ工場内ノ清潔ノ度合及一般ノ衛生状態ヲ調査センコトヲ要ス、一人ノ監督ノ下ニ八名ノ視察官アリテ工場ノ視察調査ニ從事スルモノトス、又壁殊ニ窓、空間、床、天井等ノ模様ヲ調査シ、室ノ立方呎如何ヲ調査シ、工場ニテ使用スヘキ雇人ノ員數ハ各室ニ示シ置キ、光線ノ射入、適當ナル換氣法ニ就テハ格段ニ注意シテ視察センコトヲ要ス、而シテ視察ノ結果斯ル格段ナル事ニ就テ不完全ナル所アリ、且ツ空間ノ立方呎ニシテ法令規定ニ適セサル場合ニ於テハ認可證交付ヲ見合スヘキモノトス、但シ法令規定ニ適スヘク變更シタランニハ之ヲ交付スヘキモノトス

右ノ如キ一般ノ調査ニ差加ヘテ年ヲ通シテ再調査ノ行動ヲ取ルモノアリ、此再調査ニ從事スヘキ視察官ヲ二名ト定ム、再調査ヲ要スヘキ場合ハ不都合ナル箇所ヲ改ムヘシト命令ヲ下シ後、果シテ其命令通りニ改メタルヤ否ヲ調査スルカ如キコト是レナリ

市俄古市ニ於ル工場ノ一般衛生状態ハ甚タ良好ナルコト人ノ想像以上ナリ、而シテ其衛生程度ハ一層大ナル市邑ノ多數カ模倣シテ以テ益スル所アルヘキナリ、世間ノ所謂『苛酷工場』(少額ノ賃銀ニテ長時間職工ニ苦役スルモノヲ云フ)ナルモノハ市俄古ニハ曾テアルナシ、工場ハ殆ント總テ光線ノ射入及空氣流通充分ナラサルハナシ、且ツ大工場ノ數者ハ天然ノ空氣流通ヲ廢シテ器械的換氣法ヲ實行スルニ至レリ

工場雇人ノ勤勉勞働ノ程度如何ハ重ニ衛生状態如何ニ關ス、即チ衛生状態其宜シキヲ得タランニハ雇人能ク勤勉勞働スヘキモ、否ラズンハ其勤勉勞働モ抄々シカラサルカ如キコト是レナリ、工場持主ノ多數ハ既ニ此等ノ事實ヲ知了セルカ故ニ相當ノ行動ヲ取ラスンハアラス、今其行動ノ二三ニ就テ之ヲ云ハンニ光線ノ射入、新鮮ナル空氣ノ供給等皆是レ充分ナリト云フヘキナリ、大工場中ノ或ルモノニ至リテハ其構内ニ治療所ヲ設クルアリ、此治療所ニハ老練ナル看護婦ヲ置キテ諸事ヲ取扱ハシメ、且ツ寢臺、藥品及繃帶等ノ備付アリテ應急手當ヲ爲スニ差シ支ヘナキコト、ナリ居レリ、即チ左マテ甚タシカラサル負傷者アラハ直チニ繃帶ヲ施シテ相當ノ手當ヲ爲シ、輕症ノ疾病ニハ適當ノ藥ヲ與ヘ杯シテ介抱ノ勞ヲ取レリ、故ニ此等ノ職工ハ短時間ノ休養ヲ爲シテ再ヒ其業ニ就クコトヲ得テ醫師ニ謝金ヲ呈スルノ必要ナキナリ、斯ル設備ハ工場主ニ取リテモ益スル所アルハ今更云フヲ要セス

予カ巡視シタル工場中左ノ如キ設備ヲ爲シタル工場アルヲ見タリ、曰ク雇人ヲシテ間食ノ便ヲ得セシメン

カ爲メニ一大食堂ヲ設ケタルコト是レナリ、雇人ニシテ此食堂ニ入りタランニハ「ソツプ」、肉類其他如何ナル食品ニテモ僅カニ數錢ノ實價ヲ拂ヘハ自由ニ食スルコトヲ得ヘキ仕組トナリ居レリ
地下室及穴藏内ノ工場ハ法律上之ヲ禁止スト雖モ、一名若ハ僅カニ數名ノ職工ヲ用フル小工場ハ尙ホ幾干カ存スルモノナクンハアラス、然レトモ其大半ハ既ニ閉鎖サレ、器械的換氣法ノ設備アル少數ノ工場ヲ除クノ外此種ノ工場ハ許可セラレサリシナリ、斯ル穴藏内ニ設ケラレタル工場ハ天然ノ光線更ニ入り來ラス、空氣流通惡クシテ衛生上ニ害アルコト知ルヘキノミ、故ニ其筋ニ於テモ之ヲ閉鎖セシメンコトニ力ヲ盡サル、コト少ナカラサレトモ、全ク之ヲ根絶セシメンハ蓋シ容易ノ事ニアラサルナリ

州立衛生局ニハ工場視察官都合三十名アリテ州ノ工場法ノ規定スル所ニ從ツテ行動スル者ナリ、而シテ此等ノ視察官ノ内幾名カハ市俄古市ニアリテ各種ノ工場全般ノ視察ニ從事シ居レリ、此視察官ノ最モ注意スヘキ事柄ハ工場ノ換氣法、光線ノ射入及傳染病豫防法等是レナリ、又此視察官ノ行動ハ市ノ法令ニ關係ナキ工場ヲ視察スルニアルカ故ニ、市ノ視察官ノ行動ト二重ニナルヘキモノニアラサルナリ

既、既、視、察、官、ナ、ル、モ、ハ、此、課、ノ、行、政、上、ノ、一、ト、シ、テ、既、舍、ノ、構、造、、、清、潔、及、肥、料、等、ノ、視、察、ヲ、爲、ス、モ、ノ、ナ、リ、、、今、之、ニ、關、ス、ル、法、令、ヲ、左、ニ、掲、ゲ、ン、ト、欲、ス

一千九百十三年十一月廿四日ノ制定ニ係ル法令ハ既舍ヨリ生スル肥料ノ取締及處分法ヲ衛生局ノ管轄支配ノ中ニ置キ、且ツ斯ル肥料ヲ容ルヘキ溜坪、箱若ハ其他ノ受容器ハ不滲透ノ材料ニテ作ルカ、若

ハ肥料ノ漏泄セサル金屬ニテ作ルヘク、又戸或ハ覆蓋ヲ設ケテ蠅ノ侵入ヲ豫防スルコトヲ要ス、又此等ノ受容器ノ大サハ七十二時間内ニ既舍ニ於テ生シタル肥料ヲ受ルニ足ルコトヲ要ス、而シテ斯ク受容器ニ入レタル肥料ハ七十二時間毎ニ他ニ移スコトヲ要ス、其之ヲ他ニ移サンニハ掃除人夫ヲ用フヘク、但シ之ニ要スル費用ハ持主ノ自辨タルヘキモノトス、尙ホ此法令ニハ左ノ如キ事ヲ規定セリ曰ク
凡ソ既舍ニシテ二仕切以上ノ仕切ヲ有スルモノハ皆是レ不滲透ノ材料ヲ以テ床ヲ張り、而シテ其汚物ハ近接セル下水へ落スコトヲ要ス

既舍ノ概況ヲ叙述スルニ就テハ左ノ一事ヲ心頭ニ置カサルヘカラス、曰ク既舍ヲ監督支配スル權能ヲ衛生局ニ與ヘラレタルハ僅カニ一ヶ年前ニ過キサリシナリ、市俄古ノ如キ大市邑ノ既舍ヲ改良センニハ餘程ノ時月ヲ費サ、ルヘカラス、僅カニ一ヶ年位ニテハ著ルシキ變化ヲ見サルハ毫モ怪シムニ足ラサル所ナリ
昨年中數名ノ視察官カ既舍視察ニ從事シタリ、而シテ其視察上最モ重要ナル點ハ一般ノ衛生狀態如何、殊ニ肥料受容器ノ恰好有様カ取締規則ニ能ク適合シ居ルヤ否ヲ見定ムルコト是レナリ、斯クテ其視察ノ結果不都合ノ點往々之レアリト雖モ直チニ處罰スルヲ要セス、漸ヲ逐フテ改良スルコソ然ルヘケレ
五百ノ既舍ニ關スル報告ニ就テ研究調査シタル結果左表ノ如キ事實ヲ得タリ

五百ノ既舍ニ就テ知ラレタル狀況

換氣法、修繕及清潔

所在地
野小屋
小路
肥料受容所

厩舎ノ數	仕切ノ數	
二七	一	
二七	二	
一六〇	三ヨリ 五マテ	六ヨリ 十マテ
四三	十一ヨリ マテ十五	十六ヨリ マテ二十
一四	廿一ヨリ マテ三十	卅一ヨリ マテ四十
七	四十一 ヨリ五十	五十一 マテ百
六	百一 ヨリ百五	百五 マテ二百
二	二百一 ヨリ二百五	二百五 マテ三百
一〇	三百一 ヨリ三百五	三百五 マテ四百
三	四百一 ヨリ四百五	四百五 マテ五百
〇	五百一 ヨリ五百五	五百五 マテ六百
一	六百一 ヨリ六百五	六百五 マテ七百

五一
一九一
三五五

「セメント」及煉化石
所用
何モナシ
計
仕切

五〇〇
二五
四七五
五〇〇

床ノ構造
木造
「セメント」
木造及「セメント」
木造及土造
土藏
木造及煉化石
石造

四一五
三四
三六
五六
二
一

何不可優	換氣法	厩舎ノ狀況	床ノ狀況	床ノ排水	床ノ清潔
モナシ 計					
良成良	二五七 二三三 一〇	二五〇 二三五 一五	二一九 二四二 三九	五八 一五一 二八四	七四・六二 七四・六二 七四・六二
五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	七四・六二

三五四

「セメント」及煉化石
 石造 五
 鐵造 三
 土造 一
 狀態計 三四四
 優良 一〇八
 可成 七六
 不良 一六〇
 覆蓋計 三四四
 有 二四九
 無 九五
 排水裝置計 三四四

三五七
 三四四
 九五
 二四九
 三四四
 一六〇
 七六
 一〇八
 三四四
 一
 三
 五
 五

庭内 三五六
 或ル地點 四八
 計 三四四
 種類 五四
 箱 二一六
 溜坪 一一六
 斜溝 二一六
 車臺式 二一六
 桶 二一六
 計 二一六
 構造計 二一六
 木造 二一六
 「セメント」 二一六
 木造及煉化石 二一六
 煉化石 二一六

七
 一〇
 三四
 二七九
 三四四
 二
 五
 五
 一一六
 二一六
 三四四
 五四
 四八
 三五六

有

無

計

受容所ノ設ケナキモノ

厩舎全數

三五八

六

三三八

三四四

一五六

五〇〇

右ニ掲ケタル表ニ據リテ之ヲ考フレハ床ノ清潔ノ度合七四・六二%ト云ヘルハ其他ノ状態ト比較シテ餘リニ高キモノ、如シ、蓋シ厩舎ノ五〇%以上ハ排水ノ設ケナク且ツ床ノ大半ハ木造ニシテ其材料ノ如キモ不滲透質ニアラス、尙ホ其他肥料ノ受容箱ノ如キモ甚タ不完全ナルモノナリ、而シテ又當課ノ視察官カ百四十二箇所ノ厩舎ヲ視察シタルノ結果、肥料受容箱ニシテ蠅ヲ豫防スルノ方法ヲ設ケタルモノハ一モ之レナカリシナリ

厩舎全般ノ上ヨリ之ヲ視レハ其衛生状態如何ニモ不完全ナリト云ハサルヘカラス、排水ノ設ケ全ク之レナキモノアリ、或ハ假令之レアルモ甚タ不充分ナルモノナリ、床ノ材料ハ不滲透質ノモノニアラス、又肥料受容箱ノ如キモ不良ニシテ蠅ヲ豫防スルノ方法はレナキナリ

雜業取締課

今左ニ掲クル所ノモノハ皆是レ雜業取締課ノ監督支配ヲ受ケサルヘカラス、曰ク廢物取扱業、石鹼製造所

糞草所等皆此取締課ニ屬シ、此外私營掃除人ノ如キモ亦此課ノ支配ヲ受クヘキモノトス

廢物取扱業、廢物取扱業ヲ營ムモノ四十箇所アリ、而シテ其内ノ或ルモノハ其規模甚タ廣大ニシテ、屠畜場ノ副産物ヲ以テ諸種ノ物品製造ノ材料ト爲ス所謂廢物利用ノ原則ヲ實現スルモノナリ、試ミニアーモール會社及之ト同様ナル大規模ノ廢物取扱會社ヲ視ヨ、屠殺動物ノ各部分ヲ夫々利用シ居ルニアラス

今廢物取扱業ニ關スル法令ノ規定スル所ヲ左ニ掲ケント欲ス

凡ソ廢物取扱業ヲ營マント欲スルモノハ營業認可證下付願ヲ衛生委員會ヘ提出セサルヘカラス、而シテ其出願書ニ記載スヘキ事項ヲ擧クレバ、營業所ノ所在地建物ノ特種ナル事、其行動スヘキ方法手續等ノ如キモノ是レナリ

營業所ヨリ生スル所ノ惡臭ハ之ヲ消失セシムヘキ方法ヲ取ラサルヘカラス、其之ヲ消滅セシムヘキ方法ハ燃燒セシムルカ凝結セシムルカ若ハ此等ト同一ノ効力アル方法ヲ取ラサルヘカラス、兎ニ角外部ノ空氣中ヘ散逸セシムルコトヲ許サス

何人ト雖モ右ノ如キ廢物ヲ取扱フニ際シテ、人ノ生命及健康上有害ナル瓦斯若ハ蒸發氣ヲ生セシムルコトヲ許サス

大ナル廢物取扱營業者ハ石鹼製造所、膠製造所、肥料製造、磨粉製造等ヲ兼業スルモノ多キニ居レリ、或

ハ「グリセリン」ヲ製造スルアリ、又糞ノ餌食ヲ製造スルアリ、此餌食ハ脂肪ヲ抜き取りタル後乾燥シタル肉類ノ殘物ヨリ製出シタルモノナリ

小規模ノ廢物營業者ニ至リテハ重モニ石鹼製造ニ要スル脂肪ヲ製出スルコトニ從事セリ、但シ其材料ハ料理店及旅館等ヨリ蒐集シタル廢棄物ナリト知ルヘシ

廢物取扱營業所九箇所、石鹼製造所二箇所、肥料製造所二箇所、膠製造所一箇所及鞣革所三箇所ヲ視察シタルニ、小規模ノ廢物營業所二箇所ノ諸設備不完全、其他ハ不潔ナリシカ、第三ニ至リテハ清潔ナル状態ヲ示シ居タリ

視察官カ廢物取扱營業所ヲ視察セシニ概シテ満足スヘキ状態ニテアリシナリ、又此課ノ二名ノ視察官ハ鞣革製造所及肥料積込場ヲ視察シ、二百名ノ私營掃除人ト屠畜者ヨリ生スル屑肉ノ拾收人ヲ監督スルモノトス、尙ホ其管轄ニ屬スヘキ十五箇所ノ石鹼製造所ト二十箇所ノ鞣革製造所之レアリ

私營掃除人、之ニ關スル法令ニ左ノ如キ事ヲ規定セリ、曰ク或ル人若ハ團體ニシテ私營掃除人トシテ營業セントスル時ハ其筋ヨリ認可ヲ受ケサルヘカラス、又營業者一名及之ニ用フル荷車一臺ニ付五弗ツ、ノ稅ヲ納メ、且ツ適當ニ業務ニ從事スヘキ契約書ヲ差シ出スコトヲ要ス

私營掃除人ノ從事スル業務ハ概ネ左ノ如シ、曰ク旅館、料理店、下宿屋、珈琲店等ヨリ生スル塵芥ノ取片付ヨリ、糞便掃除、動植物ノ切屑等ヲ夫々處理スルコト是レナリ

肥料ハ覆被アル荷車ニ積ミ乘セテ或ル停車場へ運送スヘク、此停車場ト云ヘルハ都合十七箇所アリテ之ヨリ汽車ニ積ミ込ミ復タ適當ノ箇所ヨリ船積トシテ地方ノ農夫ニ賣却スルモノナリ、而シテ此等ノ停車場ニハ何レモ皆二名ノ請負師アリテ此等ノ肥料ヲ受ケテ夫々汽車ニ積ミ込ミテ賣却スルノ手順ヲ運フモノトス斯ク肥料ヲ積ミ込ムヘキ停車場ハ常ニ清潔ニナシ置カン事ヲ要ス、旅館、料理店等ヨリ生スル塵芥ハ前ニモ述ヘタル如ク廢物取扱營業者ノ手ニ交付スヘク此等ノ營業者ハ斯ル塵芥ヨリ脂肪ヲ抜き取ルコトナルカ、其塵芥中ニハ肉類ノ分子ヲ多量ニ含有シ居ルカ故ニ、之ヨリ得ヘキ益金ハ拾收ノ實費ヨリ遙カニ多キモノト知ルヘシ

便所、便所ノ清潔法ハ其筋ヨリ認可ヲ得タル下肥汲取人ヲシテ行ハシメサルヘカラス

便所取締ニ關スル法令ハ左ノ如キ事ヲ規定セリ、曰ク便所ノ周邊ハ水ノ外部ニ漏出セサル様ナサルヘカラス、便所ヲ設クヘキ箇所及清潔法ニ注意スヘキ事

個人ト團體タルトヲ問ハス便所内ニ溜リタル汚物ヲ取りテ之ヲ他ニ移スモノハ、下肥汲取人ト見做スヘク而シテ其筋ヨリ之カ認可ヲ受クヘク又市ト結ヒタル契約ヲ履行セサルヘカラス

下肥汲取認可證ニハ汲取費ヲ定メタルカ、其定額ハ下肥一立方呎ニ付十仙ヲ踰ユヘカラサルモノトセリ便所ノ構造取締ニ關スル法令之レアリト雖モ實際ニ於テ行ハレ居ラサルナリ、便所ノ構造タルヤ概シテ其周邊木造ニシテ甚タ不完全ナリト云ハサルヘカラス、苟クモ街路ノ下水管ト聯絡シ得ヘキ家屋ハ皆是レ鉛

管装置ヲ爲シテ右下水管ト聯絡セシメ以テ糞便ヲ流出セシメサルヘカラス、而シテ斯ル地方ニアル現在ノ不完全ナル便所ハ皆之ヲ潰シテ無用タラシメンコトヲ要ス

今ヨリ僅カ數年前ノ調査ニ依ルニ市ノ外部ニ方リテ八千ノ便所アリシカ、今日ニテハ殆ト五〇%ヲ減シテ四千トナレリ、而シテ斯ク減少シタル原因如何ト云フニ下水制度一層廣ク行ハレタルト住民モ亦改良サレタルモノ、ミヲ設立スルニ至リタルトニ歸セスンハアラス、下水流通ノ設ケ之ナキ地方ニ於テ汚穢物蒐集ノ「ダフク」ヲ設クルコトアリト雖モ此等ハ注意ヲ要スル程ノモノニアラサルナリ

告發受理課

此課ハ市民ノ告發ヲ受ケ有害物除却ヲ主トスルモノニシテ、恐ラクハ衛生局ノ諸課中最モ複雑紛糾シタル職責アルモノト謂フヘキナリ、蓋シ此課ノ行動タルヤ法令規則ヲ適用シ且ツ視察官ノ意見裁斷ヲ要スヘキ性質ノモノナリ

此課ノ業務施行上ノ便利ノ爲メ全市ヲ二區ニ大別ス、即チ中央區ト周圍區トニシテ中央區ニハ八地方ヲ有シ周圍區ニハ六地方ヲ有ス、而シテ此兩區共ニ各々一ノ監督ノ下ニアリ、又各地方ニ一名宛ノ視察官ヲ置クモノトス、故ニ此課ノ役員ノ總數ハ十六名ナリト知ルヘシ

告發事件取扱ニ關スル法令、今此法令ノ規定スル所ヲ舉レハ概ネ左ノ如シ

衛生委員ハ其職責上左記ノ如キ事務ヲ取り扱ハンコトヲ要ス、曰ク或ル建物内若ハ或ル地區内ニ衛生上

不都合ナル事實アルコトヲ見出シタル場合ニハ、其建物若クハ地區ノ所有主、現所有者若ハ管理者ヘ向ケテ相當ノ期間ヲ定メテ其期間内ニ其不都合ナル事實ヲ改善スヘキ書面ヲ發送センコトヲ要ス所謂衛生上不都合ナル事實トハ人ノ身體健康上ニ危害ヲ與フヘキモノヲ云フ或ル事業ヲ營ム上ニ於テ斯ル事アルヲ許サス

工場、厩舎、鞣革製造所、廢物取扱營業所及此等ト類ヲ同フスルモノニシテ人ノ健康上ニ害アルヘキ不潔ノ状態ナカラシカ是レ即チ衛生上不都合ナルモノト云フヘキナリ

苟クモ衛生委員ニシテ或ル箇所ニ右ノ如キ衛生上不都合ナル事アルヲ見出シタラン場合ニハ、毎ニ之ヲ改良セシムヘキ命令ヲ發スヘキ權能ヲ有スルモノトス

事務取扱ノ事、衛生上不都合ナル事アルヲ告發スルニ書面、郵便端書、電話若ハ口頭ヲ以テスルアリ、或ハ匿名ニテ其事柄ヲ告發スルモノアリ、但シ告發事件力重大ナル事ニアラス些細ナル事ナランニハ之ヲ調査スルヲ要セス、或ハ告發狀不完全ナルカ爲メ調査上視察官ノ甚タ困難スル場合往々ニシテ之レアリ、例之ヘハ其目的ノ箇所甚タ不確ナルヨリ其近傍ノ數箇所ヲ空シク探シ回ルカ如キコト是レナリ

下級ノ書記二名カ告發ノ受付ヲ爲ス事ナルカ、今試ミニ關係書類ヲ調査シテ視ルニ受ケ付ケタル告發ノ四六%ハ何タル原因モ之レナカリシナリ、此ニ於テカ此告發事件ニ關スル法令ニ能ク通曉セル一層老練ノ書記ヲシテ此任ニ當ラシムルノ必要起ラスンハアラス

今告發取扱上ノ手續ヲ舉レハ概ネ左ノ如シ、曰ク受附書記ハ關係事件ヲ「カード」ニ記載センコトヲ要ス、即チ其事件ノ起リタル工場、營業所ノ所在地及告發事件ノ概要等ヲ記載スルコト是レナリ、又其ノ裏面ニ告發人ノ氏名ヲ記載スヘキモノトス、但シ匿名ノ場合ハ此限ニアラス、斯クテ此等ノ「カード」ハ夫々地方別ニシテ綴チ込ミ置カンコトヲ要ス、此告發「カード」ハ之カ控ヲ作成シテ此控ノ方ヲ綴チ込ミテ局ニ保存シ置キ、其原本ノ方ハ調査用トシテ視察官ノ手ニ交付スヘキモノトス、之ヲ受ケタル視察官ハ實地ニ就テ其事件ノ真相ヲ調査シ其調査ノ結果及之カ善後策ヲモ併セテ報告センコトヲ要ス、斯クテ此等ノ報告ハ綴込「カード」ニ記入スヘク、又衛生上不都合ナル點ヲ改良セシムル事ニ就テハ、夫々責任アル所ヘルニ右改通告スヘキモノトス、但シ此通告書ニハ或ル期間内ヲ期シテ改良セシムヘキ旨ヲ記載センコトヲ要ス、然良スヘキ箇所ヲ再ヒ視察シタル場合ニ右豫定ノ期間既ニ盡キタルニモ拘ラス、何タル改良モ爲サ、リシトセンカ、斯ル場合ニ於テハ衛生委員ヨリ書面ヲ以テ改良ノ督促ヲ爲サ、ルヘカラス、然ルニ其後ノ視察ニ際シテモ尙ホ且ツ改良ニ着手シ居ラストセンカ、即チ起訴擔任ノ書記ヘ回送シテ裁判所ノ處決ヲ仰カサルヘカラス

或ハ告發事件ノ性質カ明カニ他ノ局ニ屬スヘキモノニモ拘ラス、此課ニ來ルコト往々ニシテ之レアリ、斯ル場合ニ於テハ相當ノ局ヘ回送センコトヲ要ス

一千五百ノ告發「カード」ニ就テ調査ヲ遂ケタルニ左ノ如キ事實ヲ得ルハ、趣味アルモノト謂フヘシ

原因ナシノ告發

七二四

匿名ノ告發

一三(百分比例)

原因ナシノ匿名ノ告發

四六(同上)

右ノ調査ニテ左ノ如キ事實モ亦是レ明カニ知ラレタリ、曰ク告發事件ヲ視察官ノ手ニ渡シタル日ヨリ視察官ヨリ調査ノ結果ヲ報告シタル日マテニ經過シタル平均時日ハ六日五ニ當リ、又右調査ノ結果報告ノ日ヨリ衛生上不都合ナル點改正ノ日マテニ經過シタル平均時日ハ六十二日二五ナリシナリ、是レ調査ニ費シタル時日ヲ満足スヘキモノト謂フヘク改正ニ要シタル時日モ亦是レ前年ノ結果ニ比スレハ著シク進歩發達シタルモノト謂フヘキナリ

右告發ノ主旨カ或ハ些細ナル事柄ニシテ取り上ルニ足ラサルモノアリト雖モ、概シテ是レ實際ニ於テ衛生上確カニ危害ノ存スルモノナラサルハナシ

告發事件ノ重大ナルモノハ衛生上ニ危害ヲ與フルコト最モ甚タシキモノ是レナリ、故ニ之ニ對シテ適當ナル改良策ヲ施コサンニハ視察官ノ敏腕ヲ要セサルヘカラス、凡ソ告發事件ヲ調査シ之カ適當ナル改良法ヲ行ハンニハ一ニ是レ視察官タルモノ、手腕ト判斷力トニ俟タサルヘカラス、視察官ノ責任亦重カラスヤ

一千九百十四年中ニ本課ニ於テ告發事件ヲ受ケタルハ二萬二千五百八十二件ニシテ、内被告ニ對シテ通告

ヲ發シタルハ一萬五千七百七十四件、又再視察ヲ爲シタルハ四萬件以上ナリシ
告發事件ハ年々増加シ來レリ、今其實例ヲ左ニ示サン

- 一九一〇年 一五、一〇〇件
- 一九一一年 一六、二〇〇件
- 一九一二年 一九、六〇五件
- 一九一三年 一七、〇七一件
- 一九一四年 二七、五八二件

戸別巡視、戸別巡視ハ衛生上ノ行動中最モ重要ナルモノナレトモ、此方面ニ注意ヲ拂フコト甚タ薄弱ナルモノナリ、蓋シ其重ナル原因ハ視察官ノ員數ノ不足ナルニ歸セサルヘカラス、市俄古市ハ甚タ廣大ニシテ一郭ヲ成セル箇所都合一千三百ヶ所アリ、此等ノ箇所ハ皆是レ衛生上ノ視察ヲ要スヘキモノナリ、然レトモ年々斯ル視察ハ平均百二十箇所ニ過キサルナリ、而シテ此戸別巡視ニ從事スヘキ視察官ハ通常一名ナレトモ、時ニ或ハ二名トナルヘキ場合ナクンハアラス、蓋シ二名トナル場合ハ告發ノ調査事件ノ餘リニ頻繁ナラサル時一名來リテ戸別巡視ヲ幫助スルモノト知ルヘシ

凡ソ視察官ノ巡視ハ右ニ記載シタル箇所ニ止マリテ其他ノ借家等ニハ及ハサルナリ、實際借家巡視ニ關スル法令ハ未タ曾テアラサルナリ

起訴取扱課

起訴取扱課ナルモノハ左記ノ如キ手續ニ從ツテ行動スルモノト知ルヘシ、曰ク本條例ノ規定スル所ニ違犯スルモノアリテ、此犯則者カ衛生局ヨリ通告ヲ受ケ且ツ衛生委員ヨリ注意書ヲ受ケタルニモ拘ラス、依然トシテ其犯則ノ行動ヲ改メサル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テ起訴取扱課カ其行動ヲ始ムルモノトス、今其行動ノ順序如何ト云フニ視察官ノ再調査ノ結果ニ據ルニ犯則ノ行動カ依然トシテ更ニ改ムルコトナカランカ、此再調査ノ視察官ハ其實況ヲ起訴取扱課ノ視察官ノ許ヘ回送スヘク、之ヲ受ケタル視察官ハ其犯則ノ顛末、之カ矯正法及其犯則事件ハ法令中第何條ニ該當スヘキヤ等ヲ一々詳細ニ「カード」ニ記入シテ衛生委員局ヘ回送センコトヲ要ス

斯クテ起訴事件ノ審問當日ヨリ一日若ハ二日前ニ起訴受持ノ視察官タル者ハ、其事件ノ起レル工場等ヘ赴キテ法廷ニ於テ犯則ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキヤヲ確カメンコトヲ要ス

凡ソ衛生局カ主動者トナリテ訴訟ヲ提起セントスル場合ニハ、其全部ヲ舉ゲテ一人ノ視察官ニ委任センコトヲ要ス、即チ其犯則ノ箇所ヲ調査スル事、訴狀ヲ作成スル事及法廷ニ於テ立證スル事等皆是レ一人ノ視察官ニ委任スルコト是レナリ、故ニ他ノ視察官ハ證人トシテ法廷ニ出ル等ノ必要ナキナリ

衛生局カ一千九百十四年ニ取扱フタル訴訟事件ハ二千八百四十八件ナリシカ、内一千八百九十七件ハ左記ノ如ク處分セラレタリシナリ、曰ク犯則ノ確證舉リタルモノ七百四十九件、取下ケ、受理セラレサルモノ、

法廷ノ審問ヲ受ケサル前犯罪事件ヲ矯正シタルカ爲メ衛生局ヨリ訴訟ヲ取り消シタルモノ九百八十二件、訴訟事件トナラス、取下ケ、取消シタルモノ百六十六件ナリシ、而シテ其餘ノ件數ハ最後ノ處分ニ至ラス、尙ホ此内ニハ此年ノ終末ノ月ニ關スル事件ヲモ含ミ居リテ此等ハ裁判所ノ件名簿ニ登ラサリシナリ

書 記 課

本課一般ノ行動ハ書記長ノ指導ノ下ニアルヘク、苟クモ書記長タランモノハ庶務ヲ取り捌キ本課ノ諸記録ヲ日ヲ逐フテ整理センコトヲ要ス、抑モ本課ノ業務タルヤ甚タ廣大ナルモノナリ、一千九百十四年中ニ取リ扱フタル告訴事件ハ二萬一千九百九十一件、通告ヲ發シタルハ三萬六千七百七十四件及裁判官ノ求刑書ヲ取扱フタルコト一萬五千五百五十四件ナリキ

本課ハ左記ノ事項ニ分チテ行動スルモノトス

時間ニ關スル規定、時間ニ關スル規定ヲ分チテ左ノ三項トス

(い)、凡ソ事務員ハ外勤ト内勤トヲ問ハス皆是レ午前九時ニ點呼サルヘキモノトス

(ろ)、外勤ニ屬スル事務員ハ皆是レ日々其行動シタル事柄ニ關シテ報告セサルヘカラス、但シ其行動ニ關スル方法ハ最モ善ク時間ヲ利用シ得ヘキ手順ニ從ハン事ヲ要ス

(は)、内勤ニ屬スル事務員ハ本課内ニ於テ規定ノ形式ニ從ツテ執務時間中其業務ニ從事センコトヲ要ス、右ノ規定中毎朝點呼ノ事ハ後實行セラレサリシモノト見ヘタリ、蓋シ事務員ノ日々ノ報告中ニ其勤務時間

等記載サル、ヲ以テ點呼ノ必要ナケレハナリ

而シテ視察官ノ日々ノ報告「カード」ニハ種々ノ時間ヲ記載スヘキ欄アリ、即チ本課ニ於テ費シタル時間、管轄区内ヲ巡視シタル時間、食事ヲ爲シタル時間、我家ニ於テ執リタル事務ノ時間、及視察シタル種類、試験シタル事柄ヲ記載スヘキ欄、視察若ハ試験シタル各戸ノ實況ヲ記載スヘキ欄ナカルヘカラス、斯クテ此等ノ「カード」ハ好成績ヲ奏セリ

能率記録、本課ハ事務員ノ能率如何ヲ精密ニ知ラント欲シ視察ノ各種類ニ就テ行動ノ最大程度ヲ定メンコトヲ勤メタリシカ、此能率ノ最大程度ヲ定メンコトハ甚タ困難ナルコト、言ハサルヘカラス、視察スヘキ或ル種類ニ至リテハ他ノ種類ヨリ一層多クノ時間ヲ要スヘキモノアリ、且ツ其取調事項ノ困難ナルモノアリ容易ナルモノアリ、一樣ニ見做スヘカラサルモノアリ、此ニ於テカ事務員ノ能率程度調査委員ノ任命ヲ見ルニ至レリ、今此調査委員ノ任務トスル所如何ト云フニ、視察官カ一日間ニ成シ遂クヘキ業務ノ單位ヲ評定スルニ就テ適當ナル標準ヲ定ムルコト是レナリ、而シテ各種ノ視察官ノ能率如何ヲ定メンニハ其業務ニ要スヘキ時間ヲ基礎トナシテ其程度ヲ計算シテ之カ等級ヲ分ツヘキモノトス、而シテ日々成シ遂クヘキ能率ノ單位三十個ヲ一名一日ノ能率ノ最大限度ト定ム、斯クノ如クニシテ視察ノ各種類カ皆不適當ノ割合ニテ其任務ヲ定メラル、カ故ニ視察官タル者ハ各種ノ視察ニ關スル單位ヲ計上シテ能率ノ最大限度ニ達スヘキ様勤メンコトヲ要ス

書類綴込ノ事、本課ノ業務ハ甚タ多端ナルカ故ニ、其關係書類ハ須ラク類別シテ綴込ミ置カントトヲ要ス、即チ其書類綴込ハ二十種ニ類別スヘキモノナリ、類別ノ數甚タ多キカ如シト雖モ業務取扱上斯ク類別シ置ク必要ナクンハアラス、且ツ此等ノ書類綴込ハ時日ヲ逐フテ順序正シク爲シ置カサルヘカラス、否ラズンハ或ル事件ノ顛末如何ヲ探シ求ムル上ニ於テ困難ナクンハアラス

統計表ノ事、本課ノ統計表ハ普通ノ方法ニ從ツテ作成セラル、コトナルカ、抑モ統計表ナルモノハ本課ノ各部門ニ亘リテ其範圍甚タ廣大ナルカ故ニ、器械力ヲ應用シテ之ヲ作成スルノ方法ヲ取ランコトコソ望マシケレ

行政上ノ事

今衛生局ノ行政上ニ就テ研究調査センニ其缺點ト見ルヘキモノナクンハアラス、請フ其數者ヲ左ニ掲ケン

一、衛生局長ハ實際何事ニテモ皆自カラ處理セント欲シ、其事務ノ適當ナル部分ヲ副長及諸監督ニ擔任セシメ居ラサルモノ、如シ、蓋シ局長ノ能力アルコト及活動シテ倦マサルコトハ何人モ首肯シテ異論ナキ所ナリ、然レトモ事ノ大小輕重皆一人シテ處理センコトハ其煩ニ堪ヘサルヘク、又殆ト爲シ得サル所ナルヘシ、苟クモ局長タランモノハ大體樞軸ヲ握リ諸監督屬僚等ヲ統御シ、公衆衛生ニ關スル重要問題ノ發展策ヲ講究スルコソ其本領ナルヘケレ

二、副長ナルモノニハ今一層多クノ權能ヲ與ヘラレタキモノナリ、僅カニ一部局ノ監督ニ止マラス尙ホ進

ンテ數部局ヲモ監督セシムヘキナリ、餘リニ複雑セサル問題ニシテ既ニ先例ノアルモノナランニハ、副長限リニテ處決セシメテ然ルヘキナリ、斯クノ如クナシタランニハ局長ヲシテ些細ナル問題ニ就テ時間ヲ費サシムル煩累ナカルヘキナリ

三、現時諸監督ノ爲ス所如何ヲ見ルニ其時間ノ大部分ヲ局内ニ於テ費シ居ルモノ、如シ、今其二三ヲ左ニ掲ケン、(イ)局ノ常務。(ロ)視察官トノ協議。(ハ)公衆トノ協議。(ニ)局長トノ協議(局長ト面談セン場合ニハ待チ合ス爲メニ空シク長時間ヲ費ヤスコト往々ニシテ之レアリ)。此監督ノ職責如何ハ職務章程ニ記載セラル、如クナルカ、視察官ノ行動如何ヲ一層精密ニ監督セント欲セハ、勢ヒ今一層多ク管轄區ニ出張セサルヘカラス、少ナクモ其勤務時間ノ五〇%ハ此方面ニ費サンコトヲ要ス、又此監督官タルモノハ視察官ヨリ視察ノ實況ヲ報告シテ之カ採決ヲ仰ク場合ニハ、常務トシテ夫々採決ヲ與フヘキナリ、若シ其報告ノ問題ニシテ先例ナク且ツ複雑シタルモノナランニハ、局長、副長若クハ關係課長ト協議ノ上處決センコトヲ要ス

四、現時ノ規定ニ據レハ視察官ハ毎日午前九時局ニ出頭シ前日ノ報告書ヲ夫々整理スルニ一時間ヲ費スコトヲ得ヘク、更ニ當日ノ用務ヲ承ハリ或ハ事務上訓諭セラルヘキ問題ニ就テ協議ヲ遂ケ、同シク十時管轄區ニ向ツテ出張センコトヲ要ス、而シテ視察官ノ報告書ニ據リテ其一週間ノ勤務時間ヲ調査シタルニ、視察官全體ノ上ヨリ打算シテ平均十二時間半トナレリ、但シ其内最モ多キ時間ハ四十時時ニシテ最モ少

キ時間ハ四時間ナリシナリ、然ルニ此等ノ視察官ニシテ實際局ニ於テ時間ヲ費スコト多ク管轄區ニ於テ之ヲ費スコトハ割合ニ少シ、視察官カ其報告ヲ整理スルニ就テハ一時間アレハ足ラン、抑モ視察官ノ勤務ニ就テ責任ヲ有スルモノハ監督是レナリ、苟クモ監督タランモノハ視察官カ管轄區内ニ於テ如何ニ活動シ居ルヤヲ常ニ監視センコトヲ要ス

一千九百十五年ニ於テ衛生局中ニ新機關カ設ケラレタリ、此機關ハ家屋ト衛生トヲ取締ルヘキモノニシテ公衆衛生上利便少ナカラサルナリ、此新機關ノ業務ヲ實行センカ爲メニ市内ヲ三區ニ分割シ各々一名ツ、ノ長ヲ置クコト、シ、其長ハ副局長トシテ活動スルモノナリ、從ツテ衛生局長ハ斯ル業務ニ關スル勞ヲ省キ得ルカ故ニ局務全體ニ就キテ一層能ク監督スルコトヲ得ヘキナリ

予ハ衛生局ノ業務調査ニ關スル報告ニ就テ今終末ヲ告ケントスルニ際シテ左ニ或ル統計表ヲ掲ケント欲ス此表ハ聡カニ衛生局ノ活動力ノ増進セルコトヲ示スモノナリ、併セテ又衛生上ニ關スル事項ノ調査ノ一層行キ届キ居ルコトヲ證明シ得ヘキナリ

數年間ノ調査比較表

鉛毒視察	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
其他ノ視察全數	二八八八六	二六三九九	三〇三八六	三五八〇八	三七三〇〇	三九四九三	四三、七四九
	三六三九八	四二、五三三	四二、三五八	四三、一七五	四三、二八五	四五、三五六	六三、四八五

再視察	四〇、八六八	六六、一七四	七六、三三三	八二、八五五	六七、五〇三	九三、三五一	一〇八、五〇七
共計	一〇六、六五三	一三五、三六五	一四八、八七七	一六〇、八三八	一四八、〇八七	一七八、三〇〇	二二五、二九一

今左ニ掲クル所ノ表ハ役員ノ數ト支出金額ノ増加シタルニ比例シテ、行動ノ程度モ亦増加シタル事實ヲ示スモノナリ

一千九百九年ヨリ一千九百十四年ニ至ル期間ニ於ル衛生局ノ報告ヲ一千九百八年ノ分ト比較シタルモノニシテ、一回ノ視察ニ就テ如何程ノ實費ヲ要シ、業務ノ増進シタル事實ヲ示シタルモノナリ

役員ノ數	一九〇八年	一九〇九年	一九一〇年	一九一一年	一九一二年	一九一三年	一九一四年
全經費、俸給	八八	八九	八七	九〇	一〇五	一〇三	一一六
實費、俸給	一一九、九八〇	一〇六、五九七	一〇三、二五〇	一一〇、九七八	一二九、四四五	一三七、六四〇	一五八、五六〇
俸給増加ノ百分比	一〇〇、八一四	一〇〇、八一〇	一〇三、〇〇七	一一〇、七五八	一一八、五二七	一二七、五八四	一五一、〇二八
視察及再視察ノ度數	一〇六、〇五二	一三五、〇六五	一四八、八七七	一六〇、八三八	一四八、〇八七	一七八、三〇〇	二二五、二九一
業務増加ノ百分比	一〇七	二七	四〇	五一	四〇	六八	一〇三
部局増加ノ百分比	一	一	一	二	一九	一六	三一
每視察ノ實費	〇、九四	〇、七四	〇、六八	〇、六八	〇、八〇	〇、七七	〇、七〇

人命統計局法律訓令等ヲ以テ定メラレタル本局ノ重モナル職責ハ、(一)出生登記、(二)死亡登記、死體處

分ノ取締、及(三)出產及死亡書類ニ就テ統計表ヲ作成スルコト是レナリ
 本局ノ事業ハ經費制限セラレタルカ爲メ甚タ振ハサルナリ、舊記録等ヲ調査シテ其内ヨリ重要事件ヲ見出
 サントスルモ掛員不足スルカ故ニ實行スルコト能ハス、是レ皆經費ノ減少ニ歸セスンハアラス、一千九百
 九年ヨリ一千九百十一年マテノ間ニ本局ノ經費半額ニ減セラレタリ、而シテ其結果業務上一頓挫ヲ來シ今
 尙ホ其惡影響ハ消失セサルナリ

法令規定ノ概略、當局ノ各種ノ業務ヲ論述スルニ先ンシテ當局ニ關係スル法令規定ヲ簡短ニ述ルノ必要ナ
 クンハアラス、是レ種々ノ活動ヲ爲スヘキ權能ヲ明ラカニスヘケレハナリ
 其法令規定ノ概略ヲ擧レハ左ノ如シ

衛生委員ノ職責トシテ或ル必要ナル帳簿ヲ調製センコトヲ要ス、所謂其帳簿トハ此統計局ニ於テ取扱ヘ
 ル業務ヲ夫々洩レナク記載スヘキモノニシテ、例之ハ當市中ノ出產及死亡ヲ登記スヘキ帳簿及各業務上
 必要ナル帳簿ノ類是レナリ、又委員ハ必要ナル用紙ヲ貯ヘ置キ要求ニ應ジテ醫師及產婆等ニ交付センコ
 トヲ要ス

醫師及產婆タラン者ハ其職責トシテ自カラ關係シタル出產事件ニ就テハ、其出產ノ時日及命名等ヲ三十
 日以内ニ統計局ヘ届ケ出テンコトヲ要ス

各醫師若ハ產婆タラン者ハ其職責上自カラ關係シタル患者ノ死亡シタル場合ニハ、書面ニ認メテ衛生局

ヘ届ケ出テンコトヲ要ス、若シ其死因カ検屍ヲ要スヘキモノナランニハ掛官ヨリ其旨届ケ出テンコトヲ
 要ス

死者ヲ埋葬シ若シ火葬ニスヘキ葬儀屋ヲ營業ト爲サント欲スル者ハ必ラス其筋ヨリ認可ヲ受ケサルヘカ
 ラス、若シ認可ヲ經スシテ斯ル業ヲ營ミタラン者ハ犯則者トシテ處罰セラル、モノトス

苟クモ葬儀屋營業ノ認可ヲ受ケント欲スル者ハ衛生委員ノ許ヘ認可願書ヲ提出センコトヲ要ス、而シテ
 其願書ニハ其氏名住所ヲ認ムヘキハ云フマテモナク、自分ハ既ニ認可ヲ受ケタル木乃伊師タル事、及其
 葬儀事務ヲ執行スヘキ箇所等ヲ明記センコトヲ要ス、尙ホ此出願人ハ市ノ法令規則ヲ善ク了知シ、死體
 ヲ他ニ送致シ、埋葬若ハ火葬ニ付スルニ就テノ衛生局ノ法令規則ヲ辨ヘ居ル事、死體取扱ニ關スル衛生
 的方法ニモ能ク通曉シ、死體ヲ木乃伊ニ成ヌヘキ手段ヲ知り、葬儀屋タルノ職責道德上ノ品性及其事務
 ヲ取ルニ適當ナル技倆ヲ有スルコトヲ證明センコトヲ要ス

葬儀ヲ行フヘキ室ハ全ク他ノ室他ノ部分ト聯絡ヲ斷チ居ラサルヘカラス、又外部ヨリ充分ノ空氣善ク流
 通シ來リ光線ノ射入充分ナランコトヲ要ス、又此室ノ床ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ張ランコトヲ要シ外部
 ノ下水ト聯絡シ居ラン事ヲ要ス

埋葬認可證ハ衛生委員若ハ其代理者ヨリ受ケサルヘカラス、若シ斯ル認可證ヲ受ケスシテ病院ヨリ或ル
 死體ヲ他ニ移シ或ハ市内ノ此所ヨリ彼所ニ移シ、火葬ニ付シ又ハ市内ノ或ル穴藏ニ藏メ、若ハ之ヲ埋葬

シ或ハ一旦埋葬シタル者ヲ發掘スル等ノ事アランカ、皆是レ違法者トシテ處罰セラルヘキモノトス
其筋ヨリ認可サレタル葬儀屋ノ外人ヨリ人類ノ死體埋葬ノ儀ヲ願ヒ出ルモ許可セラレサルモノトス
其筋ヨリ認可證ヲ交付セラル、ニアラスンハ墓地若ハ人ノ死體ヲ取り片付クヘキ箇所ノ監督タラン者ハ
死體ヲ埋葬シ若ハ發掘シ或ハ火葬ニ付スルコトヲ許スヘキモノニアラス、凡ソ埋葬證ナルモノハ其用紙
折半スヘキ様ナリ居ルカ故ニ、墓地等ノ監督者ハ其一半ヲ切り取りテ之ヲ受ケタル時ヨリ起算シテ二十
四時間内ニ衛生局ヘ差シ戻サン事ヲ要ス

痘瘡若ハ「ベスト」ニ罹リテ斃レタル者ノ死體ハ、衛生委員ノ編成シタル規定ニ從ツテ衛生局ノ手ニテ埋
葬スヘキモノトス、實布斯熱、傳染性腦脊髓膜炎、猩紅熱、實布埤里亞、麻疹、脾脫疽、幼兒麻痺症、若
ハ癩ニ罹リテ斃レタル者ノ死體ハ棺ニ納メサルニ先ンシテ左ノ如キ手當ヲ爲サンコトヲ要ス、曰ク有力
ナル消毒液ヲ飽和サレタル綿ヲ以テ其死體ノ口、鼻孔等ノ孔口ヲ充分ニ閉鎖シ、而シテ同シク消毒液ヲ
飽和サレタル「シート」ヲ以テ其全身ヲ包ミ蔽ハンコト是レナリ

或ル傳染病ニ罹リテ斃レタル者ノ死體ヲ納ムヘキ棺ハ其下底ノ構造聊カニテモ空氣ノ洩レサル様充分ニ
密閉スヘク、又上部ノ蓋モ同シク嚴重ニ密閉シテ、衛生官ノ認許ヲ受ケサルヘカラス
以上掲ケタル疾病中ノ何レカニ罹リテ死亡シタル者ノ葬儀ヲ行ハントスルノ場合ニ於テ、立チ合フノ必
要ナキモノハ何人ト雖モ立チ入ルコトヲ得ス、但シ死者ノ親戚家族中ノ者ニシテ其生前病床ニ近キ居タ

リシモノハ此限ニアラス、此外葬列等ニ加ハラシテ墓地ニ至レルモ亦此限ニアラス

茲ニ傳染病ニ罹リテ死亡シタル者ノ居タル室内ニ或ル物品アランニ、衛生局ノ手ニテ適當ニ此等ノ物品
ヲ消毒スルニアラスンハ、何人ト雖モ之ヲ其室ヨリ取出スコトヲ得ス

何人ト雖モ人類ノ死體ヲ公衆用ノ車臺ニ載セテ他ニ移シ又運搬スルコトヲ得ス、但シ八歳未滿ノ幼兒ニ
シテ傳染病以外ノ疾病ニ罹リテ死亡シ適當ニ納棺シタルモノハ此限ニアラス

此等ノ事ニ關スル州ノ法律若ハ市ノ法令トシテ完全ナルモノアラス、今差當リ立法局ニ於テ一ノ法案ア
リ、蓋シ此法案ナルモノハ市勢調査局ノ提出ニ係ルモノニ幾干カノ修正ヲ加ヘテ特ニ地方ノ狀況ニ適應セ
シメントシタルモノ是レナリ、而シテ此法案ノ規定スル所ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク凡ソ市俄古市中ニ起レ
ル出産及死亡ノ届書ハ總テ衛生局ニ差出シ、衛生局ハ之ニ就テ二通ノ謄本ヲ作りテ其一ヲ郡書記ノ方ヘ送
付シ他ノ一ヲ局ノ書類中ヘ綴チ込ムヘク、而シテ其原本ハ州衛生局ノ方ヘ送付センコトヲ要スト、此法案
ヲ通過セシメンカ爲メニ種々盡力スル所アリタレトモ反對論者多數ニテ敗レタリ、蓋シ此法案ノ必要ナル
點薄弱ナリシニ因ルナラン

今本局ノ事業如何ヲ研究調査センニハ各種ノ官能ニ從ツテ叙述セン方便利ナルヘシ

出 産 登 記

出産登記ノ機關ハ一千八百九十八年ヨリ一千九百九年マテノ期間ニ在リテハ其行動完全ナリシカ、一千九

百九年ニ至リテ資金甚タ不充分トナリタルカ爲メ其行動大ニ挫折セラレタリ、右ニ述ヘタル改正法案ニシテ通過シタランニハ斯ルコトモナカリシナランニ、事此ニ至ラザリシハ遺憾ナリシ
 斯クテ一千九百九年ヨリ一千九百十一年ニ至ルマテノ期間ハ出産登記ノ事更ニ行ハレザリシカ、一千九百十一年ニ至リテ郡書記ノ手ニテ再ヒ出産登記ヲ取扱フコト、ナリ、從ツテ其登記數モ増進シ終ニ六五%ハ登記セラル、ニ至リタリ、而シテ一千九百十四年ニ至リテハ出産登記ノ全數カ五萬四千ノ多數ニ上リタルカ、内殆ント五%ハ市俄古市外ノ郡部ニ係レルモノナリ、出産登記ニ關スル法律ハ強制的ニ實行セシメンコトコソ望マシケレ

死亡登記及死體處分取締法

死亡證ノ事

死亡届ハ強制的ニ實行セシムヘク又死體ヲ埋葬センニハ適當ナル死亡證ヲ示サ、ルヘカラス、總テ斯ル證書ハ二通ヲ作成シ其一通ハ之ヲ局ニ留メ置キ他ノ一通ハ州衛生局ニ回送スヘク、州衛生局ハ其要點ヲ拔萃シテ更ニ郡書記ノ方ヘ差シ廻サンコトヲ要ス、斯クテ此死亡證ニ記載スヘキ事柄ハ左記ノ如クナランコトヲ要ス、曰ク届出人ノ調印シタル上ニ病院ニ於テ死亡シタランニハ病院ノ監督若ハ病院ノ其他ノ役人、死體ノ検屍官ノ立會ヲ要スル場合ニハ検屍官及葬儀屋等夫々調印センコトヲ要ス、又死者カ生前ニ醫師ノ治療ヲ受ケ居タランニハ其醫師カ死亡ノ主因及從因ヲ死亡證ニ記載シテ調印センコトヲ要ス、又生前醫師ノ

診察ヲ受ケタルコトナカラシカ、斯ル場合ニ於テハ検屍官タルモノ其死因等ヲ記載シテ調印センコトヲ要ス、死亡届ヲ三種ニ分チテ夫々用紙ノ色ヲ變シテ之ヲ區別スルモノトス、死産届書ハ一種異様ノ形式ニ從ハンコトヲ要ス

各死亡届ヲ受理シタル時ハ其日ト時間トヲ書キ加ヘ、左ノ手續ニ從ツテ埋葬證ヲ交付スヘキモノトス
 埋葬證ニハ年ヲ通シテ順次ニ番號ヲ書キ加ヘンコトヲ要ス即チ年ノ一月一日第一ニ交付スルモノヲ第一號トシ夫ヨリ第二號第三號ト順次ニ番號ヲ加ヘルコト是レナリ、且此等ノ埋葬證ハ醫務掛ノ書記ノ手ニ回送スヘク而シテ此書記ハ此證書ニ疾病類別番號ヲ書キ加ヘ、又衛生管轄區ノ番號ト居住區ノ番號(葬儀屋カ此番等ヲ書キ洩シタル場合)ヲ加ヘンコトヲ要ス、又死亡者ノ死因カ特記セラレス其死因カ疾病ニアラサルヤノ疑ヒアラシ場合ニハ、死亡證ヲ作成セル醫師ヲ召喚シテ一層精密ナル事實ヲ問ヒ糺サンコトヲ要ス
 死亡届ノ内死因ノ傳染病ニ屬スルモノハ之ヲ一纏ニ集メテ死者ノ氏名、年齢住所及病名等ニ關スル謄本三通ヲ作成センコトヲ要ス、而シテ其原本ト副本トハ醫事視察局ノ方ヘ送付シ果シテ傳染病トシ届出テタルモノニ相違ナキヤ否ヲ確カメシメンコトヲ要ス

其次ニ本局ニ於テ爲スヘキ事ハ毎日取扱フタル死亡證ノ原本ト副本トヲ夫々整理シテ束ネルコト是レナリ、而シテ其原本ノ方ハ之ヲ別口ニナシ置キ月末ニ及ンテ之ヲ一纏メニナシテ州衛生局長ノ許ヘ送付センコトヲ要ス、日々届出ノ死亡書ハ其摘要ヲ三通ノ謄本トナスヘク、其事柄ハ死亡届ノ番號死者ノ氏名、年齢、

住所、死亡時日等ノ如キ是レナリ、而シテ此等ノ書類ハ氏名ノ「A、B、C」順ニ綴込ミ置カンコトヲ要ス

埋葬證ノ事

死者ノ埋葬證ヲ受ケンニハ適當ニ認メラレタル死亡證ヲ示サ、ルヘカラス、而シテ此埋葬證ナルモノハ二重ノ切取式ニ成リ居レリ二重ノ切取式トハ同一ノ埋葬證ヲ都合三枚（互ニ連ナリ居ルモノ）認メ其第一ト第二ト相連レルモノヲ要求者ニ渡シ第三ハ帳簿ニ殘リテ局ノ記録トナルモノナリ、此埋葬證ハ通常葬儀屋ノ手ニ交付セラル、モノニシテ、葬儀屋ハ之ヲ墓地管理人ニ渡シ管理人ハ其一半ヲ割キ取リテ手元ニ置キ殘リ一半ヲ統計局ヘ差シ返サンコトヲ要ス、統計局ハ斯ク切り取りタル一半ヲ見テ以テ特ニ指定サレタル墓地ニ埋葬ノ手續ヲ結了シタルコトヲ證スルニ足ルヘキナリ、而シテ斯ク切り取りタル紙片ハ決シテ其儘打棄ツヘキモノニアラス、何レモ百枚宛一束ニシテ保存シ置カンコトヲ要ス

市外ニ共同墓地都合七ヶ所アリ此等ノ墓地ニ果シテ幾干ノ人カ埋葬セラレシヤト云フニ近キ頃埋葬セラレシモノ二百二十六名ノ多キニ及ヘリ、試ミニ衛生局ヘ届ケ出テタル數ト比較シ見ルニ恰カモ善ク符合シテ僅カニ一名ノ差タニ之ナキナリ、法令規則ノ善ク勵行セラル、ニアラスンハ焉ンソ能ク斯クノ如クナルヲ得ン市外ニ埋葬スル事、市内ニ於テ死亡シタル者ノ遺骸ヲ市外ニ移シテ埋葬セントスル場合ニハ、普通ノ埋葬證ヨリ稍ヤ異ナリタル埋葬證ヲ受ケサルヘカラス、即チ埋葬證ノ原本ニハ死者ノ氏名、年齢及死因等ヲ記載スヘク、而シテ遺骸附添人ハ之ヲ携ヘテ埋葬地ノ管轄役場ヘ差シ出サンコトヲ要ス、此外棺ヲ入レタル

箱ノ表面ニ葬儀屋ノ著名シタル證明書ヲ貼付シ置カンコトヲ要ス、又埋葬證ノ副本ハ州衛生局ヘ回送シ、自餘ノ殘片ハ正副ト同様ノ事實ヲ記載シ、番號等ヲ附記シ置カンコトヲ要ス

他ノ箇所ニ於テ死亡シタル者ノ遺骸ヲ市内ニ埋葬スル事、死者ニ關スル埋葬證及死亡證等ハ之ヲ受取リテ特別ノ書類綴込及成規ノ埋葬證書類中ヘ編入スヘク、而シテ關係事實ハ皆之ヲ死亡證用紙ヘ寫シ取ランコトヲ要ス、但シ此種ノ事實ヲ記載スヘキ用紙ハ一種ノ色刷ニシタルモノト知ルヘシ

發掘及改葬ノ事、死體埋葬後三十日未滿ナランニハ之ヲ他ニ移サント欲スルニ其手續ハ以上掲ケタル所ニ異ナラス但シ其改葬願ハ葬儀屋ヨリ差シ出サンコトヲ要ス

死體埋葬後三十日以上經過シタルニハ右ノ手續ト異ナル所ナクンハアラス、即チ改葬願ハ葬儀屋ヨリ差シ出スヘク、市内ニ於テ他ノ墓地ヘ改葬セントスル場合ニハ二重ノ埋葬證ヲ得ンコトヲ要ス、即チ二重ノ埋葬證トハ原埋葬地管轄ノ役場ヨリ受ル分ト改葬地所轄ノ役所ヨリ受クヘキモノ是レナリ、而シテ此等ノ願書ハ皆是レ本局ニ保存シ置キ帳簿ハ夫々修正センコトヲ要ス

市内ノ墓地ヨリ其他ノ地方ヘ改葬セント欲スル場合ニハ豫メ先ツ本局、州衛生局及改葬地管轄ノ役所ヨリ認可ヲ受ケサルヘカラス、乃チ特別ノ認可用紙ナルモノヲ調製シテ之ヲ一々關係役所ニ送付シ其承認ト調印トヲ得テ後埋葬證ヲ交付センコトヲ要ス、但シ此埋葬證ノ書式及手續ハ勿論市外埋葬ニ關スル成規ニ從ハンコトヲ要ス

葬儀屋認可ノ事

本局ハ葬儀屋營業認可願ヲ差シ出シタル者アラン場合ニハ、其實地ヲ充分ニ調査シテ差支ヘナシト認メタランニハ之ヲ認可スヘキ權能ヲ有スルモノトス、而シテ此調査員ニ選定セラルヘキ者ハ州ヨリ木伊乃師營業認可證ヲ得タルモノニアラスンハ其被選資格ヲ有セサルナリ、既ニ出願書カ受理セラレ實地ニ就テ調査シタル結果更ニ不都合ナル點ナシト認メラレタランニハ、認可證下付ノ手續ヲ爲スヘク而シテ知事ヨリ之ヲ交付スヘキモノトス、葬儀屋ノ助手ヨリ營業願ヲ差出ス場合モ亦是レ前同様ノ手續ニ從ハンコトヲ要ス、但シ此ノ場合ニ於テハ衛生委員ヨリ認可證ヲ交付スヘク、調査ハ局長ノ任務タルヘキモノトス

葬儀執行所視察ノ事

市ノ法令ニ依リテ葬儀ヲ行フヘキ室ハ或ル衛生状態ニ適合スヘキコトヲ定メタリ、既ニ斯ル法令ノ定メラレタル以上ハ衛生局ハ葬儀屋營業認可證ヲ下付スルニ先ンシテ葬儀屋ノ室ヲ充分ニ視察調査セサルヘカラス、其視察調査ノ結果不都合ナル點ナシト認ムルニアラスンハ認可證ヲ下付スヘカラス、蓋シ此視察調査事業ハ其管轄區取締上最重要ナル事項ノ一ニシテ緻密ナル注意ヲ拂ハサルヘカラス、即チ葬儀屋中ノ一箇所ノミナラス各建物ニ就テ一々調査「カード」ヲ作成シテ報告センコトヲ要ス、若シ其視察調査ノ結果不都合ナル點アルヲ見出シタランニハ規則ニ該當スヘキ様矯正セシメサルヘカラス、否ラスンハ認可證ヲ下付スルコトヲ得ス

傳染病患者死亡ニ關スル埋葬

其他管轄區取締上ニ關スル行動ハ傳染病患者ノ葬亡シタル時之カ埋葬ニ關スルコト是レナリ、傳染病患者ノ死亡シタル場合ニハ視察官タル者其家ニ臨ミテ傳染病取締ニ關スル衛生局ノ規則カ果シテ能ク實行サレ居ルヤ否ヲ見届ケン事ヲ要ス

消毒法ノ事、傳染病患者ノ死亡シタル室ハ衛生局ノ檢疫官出張シテ消毒法ヲ行ハンコトヲ要ス、而シテ其之ヲ行ハンニハ極メテ速カナランコトヲ要ス、即チ其死者他ニ移サレ家族ノ者カ墓場ニ行キタル不在中行ハンコトヲ要ス、而シテ其消毒ノ方法ハ醫事視察局ノ條下ニ記載シタルモノト同一ナリト知ルヘシ

雜種ノ視察ノ事

死者處分取締上ト相關聯シタル事柄ニシテ本局ノ特別ナル視察及行動ヲ要スルコト往々ニシテ之レアリ、局員カ管轄區ニ於テ行動ヲ取ルニ當リテ之ヲ類別スレハ四種アリ、即チ消毒法ヲ行フ事。傳染病ニ罹リテ死亡シタル者ノ埋葬取締ニ關スル事。葬儀屋ノ建物ヲ視察スル事及雜種ノ視察ニ關スルコト是レナリ、斯ク四種ノ類別之レアリト雖モ現今實行サレ居ルモノハ三種ニ過キス

管轄區ノ行動ニ從事スル局員ハ毎朝本局ニ出頭シテ其日ノ業務ノ割當ヲ承リ合セ、而シテ尙ホ其日ノ中電話ニテ追加割當ノ有無ヲ本局ニ問合センコトヲ要ス

管轄區ノ行動ニ從事スル視察官ヨリ差シ出シタル日々ノ報告ハ之ヲ受ケテ業務割當ト引合サンコトヲ要ス

本局ハ他ノ要求ニ應シテ死亡證ノ證明謄本ヲ作成スヘク、而シテ之カ手數料トシテ各謄本ニ就キ五拾仙宛ヲ納メシムヘキモノトス、斯クテ集リタル手數料ハ日々預金傳票ニテ市ノ會計課ニ送付シ、必要ニ應シテ再ヒ引キ出スコトヲ得ヘキモノトス

死亡統計ノ事

一千九百十二年前ニ在リテハ死亡ニ關スル統計表ヲ作成スルニ人ノ手ヲ要シタリシカ、其時ニ至リテ「ほりれりす」法ニ從ツテ之ヲ作成スルコト、ナリ、一ノ私立會社ト契約ヲ取結ヒテ死亡統計ヲ作ラシムルニ至リタリ、然レトモ其結果ニ至リテ完全ナルモノト云フヲ得ス、而シテ一千九百十五年一月以降本局ハ中央統計局ニ依頼シテ死亡統計ヲ作ラシムルコト、セリ、蓋シ中央統計局ハ市ノ諸局ヨリ種々ノ統計作成ヲ依頼セラル、所ナリ

死亡證ヨリ種々ノ關係事實ヲ「カード」ニ移シ取リテ之ヲ中央ニ備ヘ付ケアル器械ニ掛ケテ統計表ヲ作ランコトヲ要ス、抑モ此「カード」ハ先ツ死因ニ從ツテ夫々類別シ各死因ニ關係アル事實ヲ表トナスヘキモノトス、且其中ニハ死者ノ年齢、男女別、國籍、社交上ノ地位等ヲ含メルモノトス、其外兩親ノ生國（兩親ノ出生地ハ當國ナルカ、外國ナルカ及母親ノ出生地等）衛生區及當市ノ住民タルヤ否等ヲ表中ニ加フヘキモノトス

實際死亡ニ關スル概況ハ「ほりれりす」法ニ從ツテ統計表ヲ作成スト雖モ、傳染病月報ニ關スル統計表ハ器械力ニ依ラスシテ手ニ作成スル方一層完全ニシテ且費用モ一層少ナカルヘキナリ

統計掛長、老練ナル統計家ハ掛長トシテ特別ナル表ヲ作り、彼ノ死亡統計ノ如キハ之ヲ類別スルニ圖解ヲ以テシ、一見以テ其要領ヲ得易カラシムル技倆ヲ有スルモノナリ

書類綴込、死亡證ヲ保存センカ爲メニ索引「カード」ヲ調製スヘク此索引「カード」ナルモノハ死者ノ氏名住所ヲ「A、B、C」順ニシタルモノニシテ又年別ニシテ搜索ニ便ナラシム、然レトモ前ニモ述ヘタル如ク成年ノ死亡證ハ索引「カード」ニ成リ居ラサルモノアリ、是レ畢竟スルニ取扱書記ノ足ラサリシニ因ラスンハラス

凡ソ死亡證ハ五百通宛一纏メニシテ穴藏ニ保存スヘク、而シテ斯ク一纏メニシタル日月時ヲ附記シ置カンコトヲ要ス、又死産死亡證ハ他ノ死亡證ヨリ別ニ綴込ミ置カン事ヲ要ス

塵芥廢棄物ニ關スル件

塵芥蒐集ノ事ハ市街取締局ノ司ルヘキ業務ニシテ衛生局ノ所轄ニ屬スヘキモノニアラス、然レトモ此塵芥處分ノ事ハ一千九百十三年七月三十日ヲ以テ發セラレタル市會ノ命令ニ從ツテ衛生委員ノ手ニ屬スルコト、ナレリ、蓋シ塵芥處分ノ事タルヤ一般ノ衛生上ニ關スルカ故ニ斯クアリテコソ至當ナルヘケレ、一千九百五年ヨリ以前ニ在リテハ塵芥廢棄物ノ處分ニ就テ秩序立チタル方法之レナク、市外各所ノ空地ニ投棄セ

ラレタルナリシカ、同年ニ至リテ市俄古掃除會社ト契約ヲナシテ塵芥廢棄物ノ處分ヲ爲サシムルコトナレリ、此市俄古掃除會社ト云ヘルハ私立ニシテ市ヨリ之カ爲メニ一ケ年間ニ支拂フ金額ハ四萬七千五百弗ニ登レリ、而シテ市ト此會社ト取結ヒタル第二ノ契約カ一千九百十三年九月ヲ以テ滿期トナリシカ、夫レヨリ數ケ月間兩者ノ間協議ヲ遂ケタル結果市カ此會社ノ全部ヲ買ヒ取リテ其事業ヲ衛生局ノ管轄タラシメタリ

塵芥蒐集ノ事

當市ニ於テ蒐集サレタル每一人ニ就テノ塵芥量ハ之ヲ他ノ大市邑ニ比較スレハ一層少量ナルモノナリ、例之ハ他ノ市邑ニ於テ蒐集サレタル塵芥量ハ一ケ年每一人ニ就テ百五十封度乃至百六十封度ナリシカ、市俄古市ニ於テハ同シク一人當リ僅カニ百四封度ニ過キサリシナリ、斯クノ如キ次第ニテ同市ノ市街取締局ニ於テ一ケ年間ニ取扱フタル塵芥量ハ殆ント十二萬四千八百噸ナリシナリ、斯ク市俄古市ノ塵芥量カ他ノ市邑ニ比較シテ一層少ナキニ就キテ其原動力ナクンハアルヘカラス、今其原動力ノ數者ヲ左ニ掲ケン、(イ)外國人カ内地人ヨリ一層多キ事。(ロ)種々ノ建物ノ所有者ノ費用ヲ以テ塵芥ヲ處分スル事、即チ旅館、料理店、珈琲店、下宿屋、間貸家屋等ノ塵芥ヲ個人タル市街掃除人ノ蒐集スル事。(ハ)塵芥ヲ打チ棄テ易キ大ナル空地ノ屋敷内ニアル事。(ニ)市外地ニ塵芥ヲ蒐集スル方法ノ不完全ナル事等是レナリ凡ソ屋内ニ生スル塵芥ヲ蒐集スルニ夫々規定ヲ設ケテ速カニ之ヲ他ニ移シ最モ速カニ最後ノ處分ヲ爲スハ

市立清潔法取締局ノ最モ重要ナル職責ト謂ツヘキナリ、今本局ノ行動ヲシテ完全ナラシメンニハ左記ノ事柄具備セサルヘカラス、曰ク資金ノ充分ナル事、適當ナル機關ノ設ケラル、事、設備ノ全キ事、行動力衛生上ニ適シ且經濟上ニ適スル事及公衆ノ協力アル事是レナリ

方法、既ニ前段ニモ述ヘタル如ク一家屋ノ所有者若ハ管理者タランモノハ其筋ヨリノ命令ニ從ツテ金屬製ノ塵芥箱ヲ備ヘ付ケンコトヲ要ス、且此箱ニハ空氣ノ洩レサル蓋ヲ設ケサルヘカラス、又借家人タルモノハ灰其他ノ廢棄物ト塵芥トヲ區別シ置カンコトヲ要ス

塵芥蒐集ノ便ヲ計ランカ爲メニ當市ヲ左ノ如ク區分セリ、曰ク三十五箇所ノ小區ニテ夫々蒐集シタルモノヲ一層大ナル四區ニ取纏メ、而シテ二箇所ノ塵芥積込場ニ送り同所ヨリ市ノ南部ナル塵芥堆積所ニ送りテ夫々處分スルモノナリ

右二箇所ノ塵芥積込場ト云ヘルハ市俄古河畔ニアリテ人口甚タ稠密ナル所ナルカ、凡ソ塵芥ノ殆ント三分ノ二ハ取扱ハル、モノトス、斯クテ塵芥箱ヨリ鶴嘴ヲ以テ端艇ニ搔キ入レ其空箱ハ荷車ニ積ミ込ムモノトス、而シテ此端艇ニモ塵芥箱アリテ之ニ塵芥ヲ入ル、コトナルカ、是レハ晝間ニ行フヘキモノニシテ午後遅ク曳船ニシテ塵芥取扱所ニ送致シ、同所ニ達シタレハ其箱ノ塵芥ヲ明ケテ同所ノ塵芥大桶ニ移スヘク、而シテ其空箱ハ之ヲ洗フテ再ヒ端艇ニ乗セ夜間元ノ積込場ヘ送り返シ翌日ノ用ニ供スヘキモノトス

右四區ノ内塵芥取扱所ニ近キ箇所ノ塵芥等ハ直接ニ曳船トシテ同取扱所ニ送致スヘク、從ツテ塵芥荷車ハ

午後一時頃ヨリ續々到着シテ夫々處分セラルヘキモノトス

市ノ南端ニ屬スル方面(小區ノ八、九及三十二モ此内ニ包含ス)ニ於テハ塵芥ノ量甚タ僅少ニシテ之ヲ塵芥取扱所マテ送り届ケルニ其費用多ク掛リテ殆ント堪フルコト能ハス此ニ於テカ同所ニ送致セスシテ「かるーめつと」湖ノ周邊ナル低窪ノ地ヘ打ち棄テルコト、セリ、然レトモ現時每一時間ニ百噸ノ塵芥ヲ焼却スヘキ箇所ヲ設ケツ、アルカ故ニ、今二三ヶ月ヲ經タランニハ實行セラルヘキナリ

塵芥ヲ蒐集スヘキ荷車ハ二頭立ノ馬車ニシテ其車臺ニハ鐵板製ノ箱アリテ塵芥ヲ積ミ入ル、所トセリ、其箱ノ大サハ四立方「ヤード」ニシテ同シク鐵製ノ蓋アリ、其箱ノ一方ヲ開閉スヘキ様造リアリテ停車場ニ達シタランニハ此一方ヲ開キテ鶴嘴ニテ塵芥ヲ掻キ出シ他ノ容器ニ積ミ替ヘテ汽車ニ積ミ込ムモノトス、斯クテ塵芥取扱所ニ達シタル時モ亦同様ノ手續ニテ積ミ卸スモノトス

右ノ如キ有様ニテ塵芥馬車ヲ運搬セントスル途中塵芥ノ散逸セサル様又惡臭ノ他ニ洩レサル様注意センコトヲ要ス

塵芥蒐集ノ事ハ總テ管轄區監督ノ指揮ノ下ニ行動スヘク荷車ヘ塵芥ヲ積卸シノ事ハ通常御者ノ取扱フヘキモノナレトモ、塵芥ノ量餘リニ多大ナル場合ニハ助手トシテ臨時一名ノ労働者ヲ雇ヒ入ル、事ヲ得ヘシ、右ノ荷車及鐵箱ハ市ノ所有ニ屬スレトモ之ニ要スル一組ノ馬匹ト御者トハ臨時雇入ル、モノトス、斯クテ塵芥蒐集ニ用フル荷車ノ數ハ平均冬季ハ百七十五臺、夏季ハ二百二十五臺ニシテ季節ニ從ツテ甚タシキ異

動ナクンハアラス、七、八、九及十ノ四ヶ月間ハ冬季ニ比較シテ殆ント倍數ト謂フヘキナリ

塵芥蒐集ニ要スル費用(塵芥處分ニ要スル費用ハ算入セス)ハ一ケ年間ニ四十五萬二千弗ニ及ヘリ

塵芥處分ノ事

大市邑ノ塵芥ヲ適當ニ處分セントハ須ラク研究調査スヘキ一大問題タラス、今夫レ市俄古市ノ塵芥處分ノ事ハ一ノ私立塵芥取扱會社ト契約シテ之ヲ處分シ來リシカ、最早其契約期限モ盡キタルニ依リ市ニ在リテハ之カ爲メニ大ニ考フル所アリテ終ニ「オスボルン」、「フヒーザーストン」會社ヲシテ市俄古市ノ塵芥蒐集及處分ニ關シ適當ナル方法ヲ研究調査セシムルコト、セリ

著シキ廣サヲ有スル市邑ニ於テ塵芥ヲ處分センニハ之ヲ焼却スルカ若ハ廢物利用ノ方法ヲ取ルカ、二者ノ内何レニカ從ハスンハアラス、彼ノ空地杯ヘ抛擲スルハ決シテ宜シキヲ得タルモノニアラス、合衆國ノ大市邑ノ如キハ廢物利用法ニ從フモノ多キニ居レリ、處分スヘキ塵芥ノ量甚タ多大ナル場合ニハ焼却法ヨリハ一層利益多カルヘキナリ、是レ他ナシ脂肪若ハ脂肪滓等甚タ多ケレハナリ

塵芥處分法ノ一ハ右ニモ述ヘタル如ク廢物利用法是レナリ、尙ホ此方法ヲ分チテ烹煮乾燥ノ二種トス、而シテ烹煮法トハ塵芥ヲ沸煮シテ之ヲ分解シ液體、脂肪ノ如キハ壓搾ヲ加ヘテ之ヲ拔キ取ルモノトス、又乾燥法トハ直接ニ熱氣ヲ加ヘテ之ヲ乾燥シ其乾燥シタル物ヘ石腦油ヲ加ヘテ脂肪ヲ拔キ取ルヘキモノトス、市俄古市ニ於テ個人タル掃除人夫カ旅館及料理店等ヨリ蒐集シタル少量ノ塵芥ハ烹煮法ニ從ヒ、廣ク市ニ

テ蒐集シタルモノハ乾燥法ニ從フコト、セリ

廢物利用法ニ從ツテ塵芥ヲ處分セントスル場合ニハ、公衆衛生上ニ危害ヲ及ホサ、ル様及適當ナル裝置ヲナシテ行動スヘキ様注意セサルヘカラス、其周邊ノ住民ヨリ苦情ノ起ラサル様心カケサルヘカラス、其建物及敷地内ハ總テ清潔ナランコトヲ要ス、總テ塵芥ニ屬スルモノハ甚タシク積ミ重ネテ腐敗セシムヘカラス、蠅ヲ養成セシムヘカラス、凡ソ塵芥ヲ取扱ハンニハ出來得ヘキ丈ク器械力ニ依ランコトヲ要ス

廢物利用法ニ從ツテ塵芥ヲ處分スルニ就テ通常反對論ノ起ルハ其惡臭ヲ放ツコト是レナリ、即チ其蒐集シタル儘ノ塵芥ニシテ未タ何タル手數ヲモ掛ケサル場合ニ發スル惡臭、乾燥法ヲ行フ場合ニ發スル瓦斯ノ惡臭ノ如キ是レナリ、然レトモ塵芥處分法ノ適否如何ハ其建物ノ構造及其行動ノ方法如何ニ基カسنハアラス、今諸市邑ノ塵芥處分ヲ見ルニ其大半ハ私設會社ノ手ニ委ネサルハナシ、而シテ斯ル私設會社ハ或ル限ラレタル時期ニ於テノミ之ヲ取扱ヒ、且ツ總テ費用ノ嵩ムヲ恐ル、カ故ニ其建物ト云ヒ設備ト云ヒ決シテ完全ナルモノニアラス、其他公衆衛生杯ニハ注意ヲ拂フヘキモノニアラス

以上述ヘタル事實ハ殊ニ市俄古塵芥處分會社ニ適スヘキモノナリ、同市ノ塵芥ハ契約締結ノ上同會社ノ請負フ所ナルカ、其衛生上ニ適セサルコト甚タシク隣接シタル地方ノ住民ヨリ苦情ノ起ルハ固ヨリ當然ノ事ナリ、其蒐集シタル塵芥ハ適當ナル箇所ニ一纏メニナリ居ラス、場内各所ニ散亂シ居ル有様ニテ之ヨリ發スル惡臭ハ遠距離ノ箇所ニアリテモ尙ホ且ツ堪ヘ得ヘカラサル程ナリシ

應急塵芥處分法

私立會社ノ組織ニ係ル塵芥處分團體ヲ買收スルノ商議遲疑決セサル所ヨリ、一千九百十三年十月一日ニ至リテ市ノ塵芥處分ニ關スル一時的の方法ヲ取ルノ止ムヲ得サルニ至レリ、乃チ其塵芥處分ヲ爲スヘキ場所ト選定セラレタルハ元煉瓦製造所ニシテ現今不用トナリシモノナルカ、此箇所ニハ粘土ヨリ成レル大ナル空洞アリテ塵芥ヲ置ク所ニハ最モ適當ナル箇所ト謂ツヘキナリ、而シテ其設備ノ必要ナルモノニ就テ之ヲ云ハンニ、鶴嘴、塵芥ヲ沸煮スル「タンク」、酸液ヲシテ塵芥ニ混和セシムヘキ「タンク」及鐵路等はレナリ、斯クテ塵芥處分所ハ開始セラレタリ

而シテ塵芥處分ノ方法ヲ簡短ニ述レハ左ノ如シ、曰ク塵芥ヲ烹煮シタル後凍凝シ居ラン場合ニハ、塵芥ノ入りタル儘ノ箱ヲ熱湯ヲ盛りタル「タンク」ノ中ニ浸スヘク、而シテ其塵芥ハ更ニ桶ノ中ニ移サンコトヲ要ス、但シ其桶ノ上部二呎丈ハ空所ニナシ置クヘキモノトス、斯クテ此桶ニ一%ノ酸液、生水鹽酸、硫酸ノ同量ヲ入レテ十二時間其儘ニナシ置カンコトヲ要ス、此桶ノ下底ニハ數個ノ穴アリテ之ヨリ塵芥中ノ水分ハ漏泄スヘク、而シテ其塵芥ノ乾燥シタル時「バケツ」ニテ抄ヒ取り鶴嘴ニテ掻キ廻シ塵芥處分所ヘ送致スヘク列車ニ積ミ込ムコトヲ要ス、斯クテ塵芥處分所ニ到達シタランニハ彼ノ塵芥溜ナル穴ノ下底ニ厚サ一呎ノ割合ニテ分配スヘク、穴ノ下底一面ニ一呎ノ厚サニテ分配サレタランニハ、次ニ灰ヲ半呎乃至二呎ノ厚サニテ塵芥ノ全面ヲ蔽フヘク、夫レヨリ塵芥ト灰トヲ交ルヘク層々相重ネンコトヲ要ス、但シ兩者ノ厚サハ